

# **天理・大和高田・葛城地域 循環型社会形成推進地域計画**

**平成 28 年 1 月 12 日**

**天理市・大和高田市・葛城市・山添村・三郷町・安堵町・  
川西町・三宅町・上牧町・広陵町・河合町**



## もくじ

<b>1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項</b>	
(1) 対象地域.....	2
(2) 計画期間.....	2
(3) 基本的な方向.....	2
(4) 広域化の検討状況.....	3
<b>2. 循環型社会形成推進のための現状と目標</b>	
(1) 一般廃棄物等の処理の現状 .....	4
(2) 生活排水処理の現状 .....	4
(3) 一般廃棄物等の処理の目標 .....	5
(4) 生活排水処理の目標 .....	6
<b>3. 施策の内容</b>	
(1) 発生抑制、再使用の推進 .....	7
(2) 処理体制.....	8
(3) 処理施設等の整備 .....	9
(4) 施設整備に関する計画支援事業 .....	10
(5) その他の施策 .....	11
<b>4. 計画のフォローアップと事後評価</b>	
(1) 計画のフォローアップ .....	11
(2) 事後評価及び計画の見直し .....	11

様式1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1(平成28年度)

様式2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成28年度)

様式3 地域の循環型社会形推進のための施策一覧(今後行う施策)

参考資料様式1-1 施設概要(マテリアルリサイクル推進施設系)

参考資料様式1-2 施設概要(有機性廃棄物リサイクル推進施設系)

参考資料様式2 施設概要(熱回収施設系)

参考資料様式5-1~2 施設概要(浄化槽系)

参考資料様式6-1~2 計画支援概要

- 添付資料1 対象地域図
- 添付資料2 ごみの分別区分
- 添付資料3 現有施設の概要
- 添付資料4 構成市町村別のごみ排出・処理状況のフロー（平成26年度）
- 添付資料5 天理市及び山添村の生活排水の処理状況フロー（平成26年度）
- 添付資料6 構成市町村における一般廃棄物等の実績及び目標
- 添付資料7 構成市町村別のごみ排出・処理状況のフロー（平成31年度）
- 添付資料8 天理市及び山添村の生活排水の処理状況フロー（平成31年度）
- 添付資料9 構成市町村の家庭ごみにおける分別区分と処理方法（現状・将来）
- 添付資料10 現状と将来のトレンドグラフ

## 天理・大和高田・葛城地域循環型社会形成推進地域計画

奈良県 天理市  
大和高田市  
葛城市  
山添村  
三郷町  
安堵町  
川西町  
三宅町  
上牧町  
広陵町  
河合町

平成28年1月12日

※「天理・大和高田・葛城地域循環型社会形成推進地域計画」（以下「本計画」という。）  
は、以下の地域計画をまとめ、変更したものである。

①天理市・山添村・川西町・三宅町循環型社会形成推進地域計画  
(平成24年1月10日)

計画期間：平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）

②大和高田市地域循環型社会形成推進地域計画

（平成23年12月26日、平成24年12月6日変更）

計画期間：平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）

③葛城市・広陵町地域循環型社会形成推進地域計画（第2期）

（平成25年12月24日）

計画期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日

## 1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

### (1) 対象地域

構成市町村名：天理市・大和高田市・葛城市・山添村・三郷町・安堵町・川西町・三宅町・上牧町・広陵町・河合町  
面積：256.90 km<sup>2</sup>（平成26年全国都道府県市区町村面積調）  
人口：298,783人（平成27年10月末現在）

#### 【内訳】

市町村名	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)
天理市	86.42	67,197
大和高田市	16.48	67,547
葛城市	33.72	37,076
山添村	66.52	3,853
三郷町	8.79	23,250
安堵町	4.31	7,641
川西町	5.93	8,785
三宅町	4.06	7,088
上牧町	6.14	23,064
広陵町	16.30	34,924
河合町	8.23	18,358
合計	256.90	298,783

### (2) 計画期間

本計画は平成24年4月1日から平成31年3月31日までの7年間を計画期間とする。なお、目標の達成状況や社会情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

### (3) 基本的な方向

天理・大和高田・葛城地域（以下「本地域」という。）は、天理市、大和高田市、葛城市、山添村、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、上牧町、広陵町及び河合町の地域で、奈良県の北部に位置している。

本地域のごみ処理の現状は表1に示すとおりに行っており、3R施策を進めている。今後は、ごみ減量・分別・再資源化に向けた取り組みや環境への負荷が低減された持続可能な社会を目指した取り組みを進めていく。

また、家庭からの生活排水が公共用水域に与える影響を少なくするため、集合処理施設の整備に適さない地域においては、合併処理浄化槽の整備を進める。

表1 本地域のごみ処理状況一覧

市町村名	ごみ種類	処理施設等	処理方法
天理市	可燃ごみ	天理市クリーンセンター	焼却→埋立
	資源ごみ	天理市クリーンセンター	選別圧縮等→資源化
	不燃・粗大ごみ	天理市クリーンセンター	破碎選別→焼却・資源化・埋立
大和高田市	可燃ごみ	大和高田市クリーンセンター	焼却→埋立
	資源ごみ	大和高田市クリーンセンター	選別圧縮等→資源化
	不燃・粗大ごみ	大和高田市クリーンセンター	破碎選別→焼却・資源化・埋立
葛城市	可燃ごみ	新庄クリーンセンター	焼却→埋立
	資源ごみ	新庄クリーンセンター・當麻クリーンセンター・民間委託	選別圧縮等→資源化
	不燃・粗大ごみ	民間委託	破碎選別→焼却・資源化・埋立
山添村	可燃ごみ	天理市クリーンセンター	焼却→埋立
	資源ごみ	民間委託	選別圧縮等→資源化
	不燃・粗大ごみ	天理市クリーンセンター	破碎選別→焼却・資源化・埋立
三郷町	可燃ごみ	三郷町清掃センター	焼却→埋立
	資源ごみ	三郷町清掃センター・民間委託	選別圧縮等→資源化
	不燃・粗大ごみ	三郷町清掃センター	破碎選別→焼却・資源化・埋立
安堵町	可燃ごみ	安堵町環境美化センター	焼却→埋立
	資源ごみ	民間委託	選別圧縮等→資源化
	不燃・粗大ごみ	民間委託	破碎選別→焼却・資源化・埋立
川西町	可燃ごみ	天理市クリーンセンター	焼却→埋立
	資源ごみ	天理市クリーンセンター	選別圧縮等→資源化
	不燃・粗大ごみ	天理市クリーンセンター	破碎選別→焼却・資源化・埋立
三宅町	可燃ごみ	天理市クリーンセンター	焼却→埋立
	資源ごみ	天理市クリーンセンター	選別圧縮等→資源化
	不燃・粗大ごみ	天理市クリーンセンター	破碎選別→焼却・資源化・埋立
上牧町	可燃ごみ	上牧町塵芥焼却場	焼却→埋立
	資源ごみ	民間委託	選別圧縮等→資源化
	不燃・粗大ごみ	民間委託	破碎選別→焼却・資源化・埋立
広陵町	可燃ごみ	クリーンセンター広陵	RDF炭化→資源化
	資源ごみ	リサイクルプラザ	選別圧縮等→資源化
	不燃・粗大ごみ	リサイクルプラザ	破碎選別→焼却・資源化・埋立
河合町	可燃ごみ	河合町清掃工場	焼却→埋立
	資源ごみ	河合町清掃工場	選別圧縮等→資源化
	不燃・粗大ごみ	河合町清掃工場	破碎選別→焼却・資源化・埋立

#### (4) 広域化の検討状況

本地域内のごみ処理施設については、広陵町の施設を除いて施設稼働が20年以上を経過しており、それぞれ施設の老朽化が目立っている状況にある。

「奈良県ごみ広域化計画」では、天理市、旧月ヶ瀬村、旧都祁村、山添村、川西町、三宅町、田原本町で構成する山辺ブロックで広域による処理施設整備を目指すこととなっていたが、旧月ヶ瀬村及び旧都祁村は奈良市と合併し、田原本町は他の市と事務組合を設立して共同処理を行っている。また、葛城市と広陵町が属する葛城ブロックは4市4町で構成され広域による処理施設整備を目指しているが、既存施設の耐用年数の違いや既に新施設の整備を計画していた自治体もあり、足並みが揃っていない状況である。

これらの状況を踏まえ、本地域では継続的かつ安定的なごみ処理を行うために、施設整備を進める必要がある。

## 2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成 26 年度の一般廃棄物の排出・処理状況は図 1 に示すとおりである。

総排出量は 106,622 トンであり、再生利用される「総資源化量」は 17,685 トン、リサイクル率（＝総資源化量／（計画処理量+集団回収量））は 16.6% である。中間処理による減量化量は 74,477 トンであり、排出量の約 75% が減量化されている。また、排出量の 14.5% にあたる 14,460 トンを埋立処分している。なお、中間処理量のうち焼却量は 80,140 トンである。本地域の焼却施設では、余熱利用を行っていない。

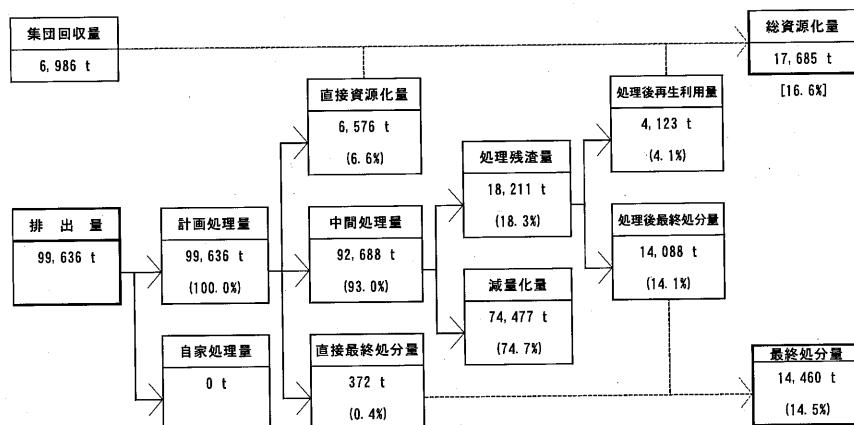


図 1 一般廃棄物（ごみ）の排出・処理状況フロー（平成 26 年度）

※ 市町村別の排出・処理状況のフロー（平成 26 年度）は、添付資料 4 に示す。

### (2) 生活排水処理の現状

天理市及び山添村における平成 26 年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は、以下のとおりである。

生活排水処理対象人口は、図 2 に示すとおり全体で 71,500 人であり、水洗化人口は 63,817 人、汚水衛生処理率 89.2% である。

し尿発生量は 1,439kL/年、浄化槽汚泥発生量は 4,320kL/年であり、自家処理を除いた処理・処分量（＝収集・運搬量）は 5,759kL/年である。

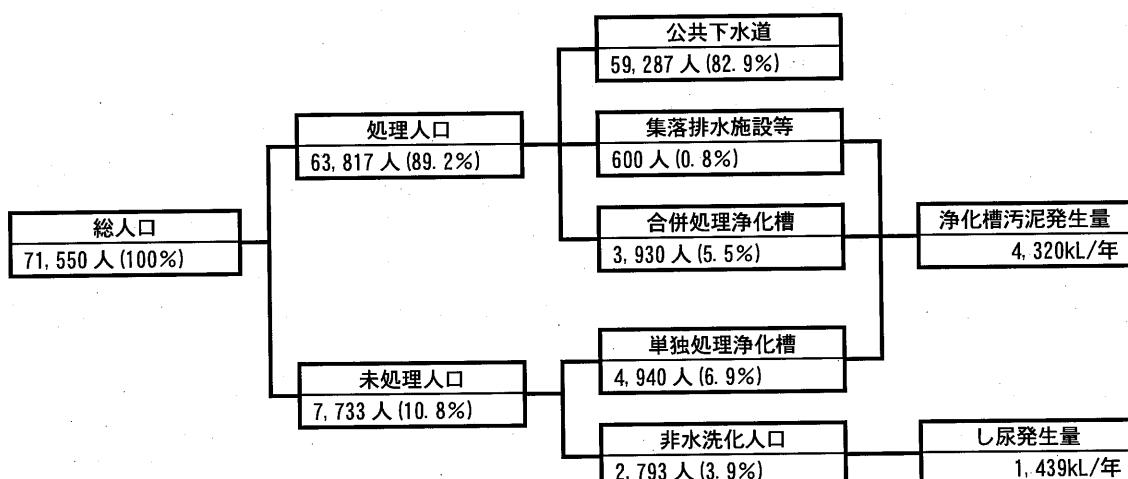


図 2 生活排水の処理状況フロー（平成 26 年度、天理市・山添村）

※ 各市村別の処理状況フローは参考資料 5 に示す。

### (3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表2のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

対象地域については添付資料1、構成市町村別には添付資料6、現状と将来のトレンドグラフについては添付資料10参照。

表2 減量化、再生利用に関する現状と目標

指標		現状(割合※1) (平成26年度)	目標(割合※1) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	30,596 t	27,570 t (-9.9%)
	1事業所当たりの排出量※2	3.06 t/事業所	2.73 t/事業所 (-10.8%)
	家庭系 総排出量	69,040 t	67,556 t (-2.1%)
	1人当たりの排出量※3	199 kg/人・年	194 kg/人・年 (-2.5%)
合計 事業系+家庭系		99,636 t	95,126 t (-4.5%)
再生利用量	直接資源化量	6,576 t (6.6%)	6,957 t (7.3%)
	総資源化量	17,685 t (16.6%)	18,475 t (18.1%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	74,477 t (74.7%)	69,832 t (73.4%)
最終処分量	埋立最終処分量	14,460 t (14.5%)	13,611 t (14.3%)

※1 割合については、排出量が現状(平成26年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)

・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

#### 《指標の定義》

排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く) [単位:トン]

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位:トン]

熱回収量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位:MWh]

減量化量：中間処理量と処理後の残渣量の差 [単位:トン]

最終処分量：埋立処分された量 [単位:トン]

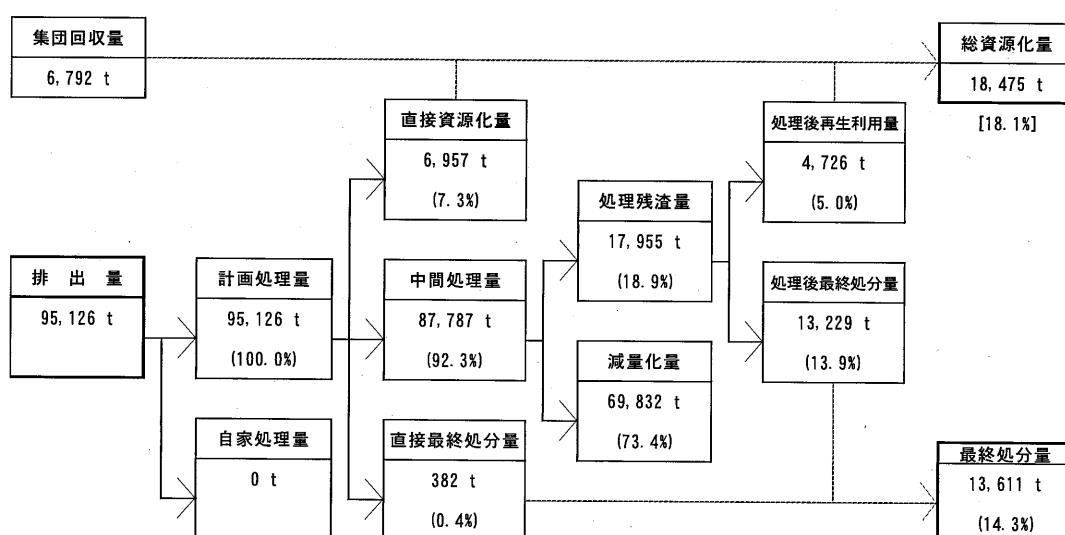


図4 目標達成時的一般廃棄物(ごみ)の排出・処理状況フロー(平成31年度)

※ 市町村別の排出・処理状況のフロー(平成31年度)は、添付資料7に示す。

#### (4) 生活排水処理の目標

天理市及び山添村における生活排水処理については、表3に掲げる目標のとおり、合併処理浄化槽の整備を進めていくものとする。

表3 生活排水処理に関する現状と目標

		平成26年度実績	平成31年度目標
処理形態別人口	公共下水道	59,287人(82.9%)	61,244人(87.5%)
	合併処理浄化槽等	8,870人(12.4%)	6,225人(8.9%)
	農業集落排水施設等	600人(0.8%)	960人(1.4%)
	未処理人口	2,793人(3.9%)	1,537人(2.2%)
	合計	71,550人	69,966人
し尿 ・ 汚泥 の量	汲み取りし尿量	1,439キロットル	879キロットル
	浄化槽汚泥量	4,320キロットル	3,240キロットル
	合計	5,759キロットル	4,119キロットル

※ 各市村別は、参考資料8に示す。

### 3. 施策の内容

#### (1) 発生抑制、再使用の推進

##### ア. 有料化（施策番号11）

本地域における有料化に関しては、表4に示すとおりである。

表4 本地域における有料化の施策一覧

市町村名	ごみ種類	現状	今後
天理市	家庭系ごみ	(有料化は未実施)	今後導入に向けて検討
	事業系ごみ	処理手数料を徴収 (16円/kg)	必要に応じて見直し検討
大和高田市	家庭系ごみ	可燃・粗大ごみの有料化実施	継続
	事業系ごみ	処理手数料を徴収 (67円/5kg)	継続
葛城市	家庭系ごみ	(有料化は未実施)	今後導入に向けて検討
	事業系ごみ	処理手数料を徴収 (可燃物: 15円/kg)	継続
山添村	家庭系ごみ	(有料化は未実施)	今後導入に向けて検討
	事業系ごみ	処理手数料を徴収 (16円/kg)	必要に応じて見直し検討
三郷町	家庭系ごみ	(有料化は未実施)	今後導入に向けて検討
	事業系ごみ	(処理手数料は未徴収)	必要に応じて導入を検討
安堵町	家庭系ごみ	(有料化は未実施)	今後導入に向けて検討
	事業系ごみ	(処理手数料は未徴収)	必要に応じて導入を検討
川西町	家庭系ごみ	可燃・不燃・粗大・資源ごみの有料化実施	継続
	事業系ごみ	処理手数料を徴収 (16円/kg)	必要に応じて見直し検討
三宅町	家庭系ごみ	可燃・不燃・粗大ごみの有料化実施	継続
	事業系ごみ	処理手数料を徴収 (16円/kg)	必要に応じて見直し検討
上牧町	家庭系ごみ	可燃・不燃・粗大ごみの有料化実施	継続
	事業系ごみ	持込ごみとして処理手数料を徴収 (15円/kg)	継続
広陵町	家庭系ごみ	可燃・不燃・資源ごみ（その他プラ）の有料化実施	継続
	事業系ごみ	処理手数料を徴収	継続
河合町	家庭系ごみ	可燃・不燃ごみの有料化実施	継続
	事業系ごみ	処理手数料を徴収 (15円/kg)	継続

##### イ. 環境教育、普及啓発、助成（施策番号12）

環境教育では、小学生を対象としたごみ処理施設の見学などの環境教育を行っており、今後も継続していく。

普及啓発では、ごみ収集日程表やごみの出し方、環境活動やイベント情報、ごみ処理事業の実態等について広報・パンフレットやインターネット等を用いて、住民に積極的に情報提供を行い、ごみに関する問題意識の共有や理解の促進に努めていくものとする。

本地域の構成市町村のほとんどが、団体による自主的集団回収や生ごみ処理容器等の購入に対して助成している。したがって、更なるごみの減量や資源化を推進していくために、今後も継続していくものとする。

##### ウ. マイバッグ運動・レジ袋対策（施策番号13）

買い物袋の持参を徹底するように啓発及び指導を行い、ごみの発生量を抑制するとともに、ごみの減量化の意識向上を図るものとする。

## 工. 生活排水対策（施策番号 14）

家庭から発生される汚泥負荷量の削減のため、次の啓発活動の強化を図るものとする。

- ・広報活動の実施
- ・廃油ポット、三角コーナーネット、拭取紙等の排出抑制用品の普及
- ・無リン洗剤、石けんの使用

### （2）処理体制

#### ア. 家庭ごみの処理体制の現状と今後（施策番号 21）

構成市町村における現状・将来の分別区分及び処理方法は、参考資料 9 に示すとおりである。

本地域内のごみ処理施設の老朽化に伴い適正な処理が困難になる恐れが生じるため、今後新たな施設の整備をするとともに、焼却施設で発生する余熱を有効に利用していくものとする。

#### イ. 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後（施策番号 22）

今後とも家庭ごみの分別区分に準じ、処理・処分を行う。なお、事業系一般廃棄物を減量するため、今後も引き続き分別指導を行うものとする。

#### ウ. 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後（施策番号 23）

現状は産業廃棄物の処理を行っておらず、今後も行わないものとする。

## 工. 生活排水処理の現状と今後（施策番号 24）

天理市及び山添村における生活排水の処理については、引き続き、下水道や農業集落排水処理施設等の集合処理施設が整備されていない人口散在地域等で合併処理浄化槽の整備を進めていく。

## オ. 今後の処理体制の要点

- ◆天理市と大和高田市が中心となり、将来的なごみの適正処理や資源化を推進するため、新たなりサイクルセンター及びエネルギー回収型廃棄物処理施設整備の計画支援事業を進めていく。
- ◆葛城市においては、老朽化した2つの焼却施設を統合した、熱利用のできる焼却施設と、不燃ごみや粗大ごみを破碎分別する施設、そして剪定枝等の破碎堆肥化施設の整備を進めていく。
- ◆事業系一般廃棄物を減量するため、分別指導を継続して実施していく。
- ◆天理市及び山添村における生活排水の処理は、集合処理施設が整備されていない人口散在地域等で合併処理浄化槽の整備を継続的に進めていく。

### (3) 处理施設等の整備

#### ア. 廃棄物処理施設

上記(2)の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表5のとおり必要な施設整備を行う。

表5 整備する処理施設

事業番号	施設整備種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	マテリアルリサイクル推進施設	葛城市クリーンセンター整備事業	8t/日	葛城市當麻120番地	H26～H29
2	有機性廃棄物リサイクル推進施設	剪定枝等破碎堆肥化施設整備事業	3t/日	葛城市笛堂282番地	H28～H30
3	熱回収施設	葛城市クリーンセンター整備事業	50t/日	葛城市當麻120番地	H26～H29

#### (整備理由)

- 事業番号1 既存施設の能力不足、リサイクル率の向上
- 事業番号2 可燃ごみ減量、リサイクル率の向上
- 事業番号3 既存施設の老朽化、熱回収率の向上

#### イ. 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、表6及び表7のとおり行う。

表6 合併処理浄化槽への移行計画【天理市】

事業番号	事業	直近の整備済基数(基) (平成26年度)	整備計画基数 (基)	整備計画人口 (人)	事業期間
4	浄化槽設置整備事業	45	7	35	H24～H30

表7 合併処理浄化槽への移行計画【山添村】

事業番号	事業	直近の整備済基数(基) (平成26年度)	整備計画基数 (基)	整備計画人口 (人)	事業期間
5	浄化槽設置整備事業	879	18	54	H28～H30

(4) 施設整備に関する計画支援事業

ア. 廃棄物処理施設

(3) アの施設整備及び新施設整備に先立ち、表8のとおり計画支援事業を行う。

表8 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
6 1	剪定枝等破碎堆肥化施設整備事業（事業番号2）に係る基本設計等調査業務	施設設計計画等	H27～H28
6 2	天理市・大和高田市等における新エネルギー回収型廃棄物処理施設・新リサイクルセンター整備事業に伴う調査設計業務	生活環境影響調査	H28～H30
6 3	天理市・大和高田市等における新エネルギー回収型廃棄物処理施設・新リサイクルセンター整備事業に伴う調査設計業務	施設整備基本計画	H28
6 4	天理市・大和高田市等における新リサイクルセンター整備事業に伴う調査設計業務	地質調査	H29
	天理市・大和高田市等における新エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業に伴う調査設計業務	地質調査	H29
6 5	天理市・大和高田市等における新エネルギー回収型廃棄物処理施設・新リサイクルセンター整備事業に伴う調査設計業務	民間活力導入可能性調査	H29
6 6	天理市・大和高田市等における新エネルギー回収型廃棄物処理施設・新リサイクルセンター整備事業に伴う調査設計業務	施設整備基本設計	H29～H30

## (5) その他の施策

その他、地域の循環型社会の形成及び廃棄物の適正処理を推進するため、次の施策を実施していく。

### ア. 再生利用品の需要拡大事業（施策番号 7 1）

容器包装廃棄物等の資源化ルートを確保し、再商品化製品等の需要が拡大するよう、分別収集されるものの品質向上や事業者におけるリサイクル製品の開発、製造、販売等の促進について周知を図る。

### イ. 廃家電等のリサイクルの普及・啓発（施策番号 7 2）

廃家電等（家電リサイクル法対象品目、パソコン）のリサイクルについては、家電リサイクル法に基づく適切な回収、再商品化がなされるよう、引き続き関連団体や小売店などと協力し、普及啓発を行う。

### ウ. 不法投棄対策（施策番号 7 3）

不法投棄增加による環境への悪影響は全国的な社会的問題であり、不法投棄場所のみではなく、その周辺地域の環境破壊が懸念される。

そのため、その対策として住民と行政が一体となった体制で監視し、地域住民からの通報の呼びかけを強化することで不法投棄の早期発見、未然防止を図っていくものとする。

### エ. 災害時の廃棄物処理に関する事項（施策番号 7 4）

災害時には、一度に多量の廃棄物が発生するため、周辺市町村や県及び国等との連携による処理体制の確保を図っているものとし、他の地域において災害が発生したときには、速やかに支援が行えるような体制を構築していくものとする。

## 4. 計画のフォローアップと事後評価

### (1) 計画のフォローアップ

本地域では、計画の進捗状況を毎年把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、天理市、大和高田市、葛城市、山添村、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、上牧町、広陵町、河合町、奈良県及び国との意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

### (2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとめた時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。



# 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1（平成28年度）

## 1 地域の概要

(1)地域名	奈良県 天理・大和高田・葛城地域
(4)構成市町村等名	天理市、大和高田市、葛城市、山添村、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、上牧町、広陵町、川西町、三宅町、安堵町、川西町、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、上牧町、広陵町、河合町
(5)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	
①組合を構成する市町村：天理市、大和高田市、山添村、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、上牧町、広陵町、河合町	②設立（予定）年月日：平成28年4月1日
③設立されない場合、今後の見通し：—	

2 減量化、再生利用の現状と目標  
※ 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

年 指標・単位	過去の状況・現状					目標 平成31年度 (見込み)	
	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)		
排出量	事業系 総排出量(トン) 1事業所当たりの排出量(トン)/事業所	28,772 2.61	27,582 2.63	30,101 3.02	31,766 3.18	30,596 3.06	27,570 (H28比 -10%) 2.73
	家庭系 総排出量(トン) 1人当たりの排出量(kg/人)	72,453 209	71,617 209	69,852 202	68,967 199	69,040 199	67,556 (H26比 -2%) 194
	合計 事業系家庭系排出量合計(トン)	101,225	99,199	99,953	100,733	99,636	95,126 (H26比 -5%)
再生利用率	直接資源化量(トン) 総資源化量(トン)	6,319 (6%) 19,452 (18%)	6,319 (6%) 19,452 (16%)	5,984 (6%) 17,409 (6%)	6,297 (6%) 17,772 (16%)	6,576 (7%) 17,685 (17%)	6,957 (7%) 18,475 (18%)
中間処理による減量化量	熱回収量(年間の発電電力量 MWh)	—	—	—	—	—	—
最終処分量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	77,277 (76%)	74,502 (75%)	74,721 (75%)	74,093 (74%)	74,477 (75%)	69,832 (73%)
※別添資料として「現状と将来のトレンドグラフ(添付資料10)」を添付した。	埋立最終処分量(トン)	13,811 (14%)	15,137 (15%)	15,490 (16%)	16,279 (16%)	14,460 (15%)	13,611 (14%)

3 現有施設の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	実施主体	現有施設の内容			更新、廃止、新設の内容			備考		
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定期	形式及び新設理由	施設竣工予定期	処理能力(単位)	
焼却施設	葛城市	機械化バッチ式	有	20t/日	S53.4	H23.9 廃止	老朽化・更新	准連続式	H29.4	50t/日
焼却施設	葛城市	ストーカ式(准連続)	有	52t/日	S48.4	H29.4	老朽化・更新	准連続式	H29.4	50t/日
焼却施設	天理市	ストーカ式	有	220t/日	S57.3	H35	老朽化・集約	老朽化・集約	H35	統合処理能力にはRDF量を含む
焼却施設	大和高田市	ストーカ式	有	150t/日	S61.3	H35	老朽化・集約	老朽化・集約	H35	
焼却施設	三郷町	ストーカ式(准連続)	有	40t/日	H2.4	H35	老朽化・集約	老朽化・集約	(未定)	次期計画にて整備予定
焼却施設	安堵町	ストーカ式(准連続)	有	20t/日	H13.10	H35	老朽化・集約	老朽化・集約	H35	(未定)
焼却施設	上牧町	機械化バッチ式	有	15t/日	S46.3	H35	老朽化・集約	老朽化・集約	H35	
焼却施設	河合町	機械化バッチ式	有	30t/日	S52.4	H35	老朽化・集約	老朽化・集約	H35	
ごみ燃料化施設	広陵町	RDF炭化	有	35t/8h	H19.3	H35	老朽化・集約	老朽化・集約	H30.9	新庄クリーンセンター跡地に建設
有機性産業物リサイクル推進施設	葛城市						老朽化能力不足 貯蔵技等の設備の減量、リサイクル施設	新庄クリーンセンター跡地に建設	3t/日	
粗大ごみ処理施設	大和高田市	衝撃圧縮せん断式	有	30t/5h	S58.3					継続利用
カゴピッキン処理施設	大和高田市	選別・圧縮・貯留	無	1400~600kg/h	H4.9					継続利用
ペットボトル処理施設	大和高田市	圧縮・梱包・貯留	無	300kg/h	H23.3					継続利用
リサイクル施設	葛城市	選別・圧縮・梱包・減容・貯留	有	4.2t/5h	H15	H29.4 老朽化・更新 <small>※外注先: 岐阜県多治見市</small>	老朽化・更新	H29.4	8t/日(充てん率)	継続利用
粗大ごみ処理施設	天理市	せん断・回転破砕方式	有	50t/5h	S52.5	H35	老朽化・集約	老朽化・集約	(未定)	次期計画にて整備予定
リサイクル施設	天理市	選別・圧縮・貯留	無	2.1t/5h	H10.12	H35	老朽化・集約	老朽化・集約	H35	(未定)
リサイクル施設	広陵町	破碎・選別・圧縮・貯留	有	9.9t/5h	H19.3	H35	老朽化・集約	老朽化・集約	H35	
マテリアル推進施設	広陵町	保管施設・啓発施設	有	625m <sup>2</sup>	H23.4					継続利用
破碎施設	三郷町	破碎	有	9t/5h	H2.3					継続利用
リサイクル施設	三郷町	選別・圧縮・梱包	有	4t/5h	H9					継続利用
粗大ごみ処理施設	河合町	破碎	有	6t/5h	H3.4					継続利用
リサイクル施設	河合町	被袋・選別・圧縮・梱包	有	4t/5h	H15					継続利用
最終処分場	天理市	サンドイッチ・セル方式	有	94,500m <sup>3</sup>	H6.3					継続利用
し尿処理施設	天理市	高負荷脱窒素方式	有	57tL/日	H4.10					継続利用

※ 別添資料として「対象地域図(添付資料1)」を添付した。

4 生活排水処理の現状と目標【天理市・山添村】

年 指標・単位	過去の状況 現状					目標 平成31年度
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
総 人 口	72,671	72,186	72,397	71,830	71,550	69,966
公 共 下 水 道	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は污水処理人口普及率	58,815 80.9%	58,776 81.4%	58,844 81.3%	58,833 82.0%	59,287 82.9%
合 併 处 理 淨 化 槽	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は污水処理人口普及率	4,062 5.6%	4,002 5.5%	4,046 5.6%	3,962 5.5%	3,930 5.5%
集 落 排 水 施 設 等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は污水処理人口普及率	600 0.8%	600 0.8%	600 0.8%	600 0.8%	960 1.4%
未 处 理 人 口	汚水衛生処理人口	9,194 12.7%	8,808 12.3%	8,907 12.3%	8,375 11.7%	7,733 10.8%

5 淨化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容(H26現在)			更新、廃止、新設の内容			備考
		基 数	處理人口	開始年度	基 数	處理人口	目標年度	
淨化槽設置整備事業	天理市	45	202	H13.4	7	35	H31	H24～H30
淨化槽設置整備事業	山添村	879	2,715	H3.9	30	150	H31	H27～H31



循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2（平成28年度）

事業種別	事業名称	事業主体 構成 市町 村名	規 模	事業期間 交付期間	総事業費(千円)						交付対象事業費(千円)						備考					
					平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度						
○再生利用に関する事業	リサイクルセンター	1 葛城市 天理市他 (未定)	8 l/日	H26	2,450,000	0	0	650,985	664,803	472,712	529,500	132,000	2,450,000	0	0	650,985	664,803	472,712	529,500	132,000		
新リサイクルセンター	2 葛城市 天理市他 (未定)	3 l/日	H28	H30	1,580,000	0	650,985	664,803	262,712	1,500	1,580,000	0	650,985	664,803	262,712	1,500	1,500	1,500	1,500			
剪定枝等破碎肥化施設											210,000	528,000	132,000	870,000	0	0	210,000	528,000	132,000	528,000	132,000	
○燃回収等に関する事業	熱回収施設	3 葛城市 天理市他 (未定)	1 l/日	H26	3,640,000	0	0	987,900	1,287,354	1,363,246	1,500	0	3,640,000	0	0	987,900	1,287,354	1,363,246	1,500	0		
新エネルギー回収型廃棄物処理施設											987,900	1,287,354	1,363,246	1,500	3,640,000	0	987,900	1,287,354	1,363,246	1,500	0	
○浄化槽に関する事業	浄化槽設備整備	4 天理市	7 基	H24	H30	20,662	3,046	0	0	4,404	4,404	4,404	4,404	14,562	1,242	0	0	3,330	3,330	3,330		
浄化槽設備整備	5 山添村	30 基	H27	H31	7,870	3,046			1,206	1,206	1,206	1,206	2,898	1,242			414	414	414	414		
○その他(施設整備に 関する計画支援業務)	基本設計等調査業務 (事業番号2)					298,000	0	0	0	8,490	119,510	105,000	65,000	298,000	0	0	0	8,490	119,510	105,000	65,000	
生活環境影響調査 (新エネルギー回収型廃棄物処理施設・新リサイクルセン ター)	61 葛城市 天理市他 (未定)	12,792							8,490	42,510			51,000				8,490	42,510				
施設整備基本計画 (新エネルギー回収型廃棄物処理施設・新リサイクルセン ター)	62 天理市他 (未定)	165,000							55,000	55,000	55,000	165,000					55,000	55,000	55,000	165,000		
地質調査	63 天理市他 (未定)	22,000							22,000				22,000				22,000					
地質調査	64 天理市他 (新エネルギー回収型廃棄物処理施設)	15,000								15,000				15,000				15,000				
民間活力導入可能化調査 (新エネルギー回収型廃棄物処理施設・新リサイクルセン ター)	65 天理市他 (未定)	15,000									15,000							15,000				
施設整備基本設計 (新エネルギー回収型廃棄物処理施設・新リサイクルセン ター)	66 天理市他 (未定)	20,000									10,000							10,000				
格付支援業務	67 天理市他 (新エネルギー回収型廃棄物処理施設・新リサイクルセン ター)	0									10,000	10,000	20,000	0				10,000	10,000	10,000	20,000	
合 計						6,408,662	3,046		0	1,638,885	1,965,051	1,959,872	640,404	201,404	6,402,552	1,242	0	1,638,885	1,958,977	1,959,872	639,330	200,330



### 樣式 3

## 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧（今後行う施策）

施策種別	事業番号	施策の名称	施策の内容	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画							備考		
					開始	終了		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化	実施していない自治体では導入に向けた検討を行い、実施している自治体では継続していく。	全市町村	H24	H30	×	導入の検討及び継続									
	12	環境教育、普及啓発、助成	ごみの減量やリサイクルを推進するため、普及啓発などを今後も継続して行う。					継続									
	13	マイバッグ運動・レジ袋対策	スーパー等と協力して、マイバック運動やレジ袋配布の自粛を推進していくものとする。					推進の継続									
	14	生活排水対策	汚濁負荷量の削減のため、啓発活動の強化を図る。					普及啓発									
処理体制の構築、変更に関するもの	21	家庭系ごみの処理体制	今後新たな施設の整備とともに、焼却施設で発生する余熱を有効に利用していくものとする。	全市町村	H24	H30	×	ごみ処理システムの構築・検討									
	22	事業系ごみの処理体制	家庭ごみの分別区分に準じ、収集、処理を行う。					継続									
	23	一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物	産業廃棄物は今後も処理を行わないものとする。					継続									
	24	生活排水処理	引き続き、集合処理施設が整備されていない地域で合併処理浄化槽の整備を進めていく。					整備の推進									
処理施設の整備に関するもの	1	リサイクル施設の整備	葛城市リサイクルセンターの建設工事	葛城市	H26	H29	○	建設工事							新庄CCの分体撤去工事を含む		
	2	有機性廃棄物リサイクル推進施設の整備	葛城市堆肥センターの建設工事					解体									
	3	熱回収施設の整備	葛城市クリーンセンターの建設工事	葛城市	H26	H29	○	建設工事									
	4	マテリアルリサイクル施設の整備	新リサイクルセンターの建設工事					(○)									
	5	エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備	新エネルギー回収型廃棄物処理施設の建設工事	天理市他			(○)										
	6	浄化槽整備	公共用水域の水質保全のため、浄化槽の普及を図る。					継続							H31以降で実施		
	7	浄化槽整備	公共用水域の水質保全のため、浄化槽の普及を図る。	山添村	H24	H30	○	整備普及							H31以降で実施		

### 樣式 3

## 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧（今後行う施策）

## 施設概要（マテリアルリサイクル推進施設系）

都道府県名 奈良県

(1) 事業主体名	葛城市
(2) 施設名称	葛城市クリーンセンター（リサイクル施設）
(3) 工期	平成26年度～平成29年度
(4) 施設規模	処理能力 8 t／日（現状施設は4.2 t／日）
(5) 処理方式	破碎選別施設 ストックヤード等
(6) 地域計画内の役割	廃棄物リサイクル処理システムの構築
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	無

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその利用計画	
---------------------	--

「ごみ固体燃料化施設」を整備する場合

(9) 固体燃料の利用計画	
---------------	--

「ストックヤード」を整備する場合

(10) ストック対象物	
--------------	--

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	
(12) 事業計画額	1, 580, 000千円

## 施設概要（有機性廃棄物リサイクル推進施設系）

都道府県名 奈良県

(1) 事業主体名	葛城市
(2) 施設名称	葛城市堆肥センター
(3) 工期	平成28年度～平成30年度
(4) 施設規模	処理能力 3 t／日
(5) 処理方式	剪定枝等破碎堆肥化施設
(6) 地域計画内の役割	廃棄物リサイクル処理システムの構築
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその利用計画	
---------------------	--

「ごみ固化燃料化施設」を整備する場合

(9) 固形燃料の利用計画	
---------------	--

「ストックヤード」を整備する場合

(10) ストック対象物	
--------------	--

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	
-----------------------	--

(12) 事業計画額	, 870, 000千円
------------	--------------

## 施設概要（熱回収施設系）

都道府県名

奈良県

(1) 事業主体名	葛城市		
(2) 施設名称	葛城市クリーンセンター（熱回収推進施設）		
(3) 工期	平成 26 年度～平成 29 年度		
(4) 施設規模	焼却施設：処理能力 50 t／日 (25 t／16h × 2 炉)		
(5) 形式及び処理方式	准連続式ストーク方式		
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無	有 (発電効率 % )	無
	2. 熱回収の有無	有 (熱回収率 10% )	無
(7) 地域計画内の役割	廃棄物リサイクル処理システムの構築		
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	有		

## 「灰溶融施設」を整備する場合

(9) スラグの利用計画	
--------------	--

## 「高効率原燃料回収施設」を整備する場合

(10) 発生ガス回収効率及び発生ガス量	
(11) 回収ガスの利用計画	
(12) 事業計画額	3, 640, 000 千円

## 施設概要（浄化槽系）

都道府県名 奈良県

(1) 事業主体名	天理市
(2) 事業名称	浄化槽整備設置事業
(3) 事業の実施目的及び内容	より良い生活環境の向上と自然環境の保全に努め、清流の復活と清潔な街づくりを目指す。
(4) 事業期間	平成24年度～平成30年度
(5) 事業対象地域の要件	「浄化槽設置整備事業実施要綱」において ア 下水道計画外 (イ) 水質汚濁防止法 重点地域 イ 下水道整備が当面の間見込まれない下水道計画区域 (イ) 水質汚濁防止法 重点地域
(6) 事業計画額	交付対象事業費 2,898千円

## ○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の設備規模

## 【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
6～7人槽	7基(35人分)	基	2,898千円	7,870千円	2,898千円
8～10人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
11～20人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
21～30人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
31～50人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
51人槽以上	基(人分)	基	千円	千円	千円
改築	基				
計画策定調査費					
合計	7基(35人分) 改築を除く	基	2,898千円	7,870千円	2,898千円

## 施設概要（浄化槽系）

都道府県名 奈良県

(1) 事業主体名	山添村
(2) 事業名称	浄化槽整備設置事業
(3) 事業の実施目的及び内容	目的：住民の住環境の整備ときれいな川を確保し生活環境保全のため。浄化槽を設置し生活排水を適正に処理することを目的とする。 内容：浄化槽設置整備事業における、国庫補助指針に適応する機種。 (窒素又は磷除去能力を有する高度処理型の浄化槽)
(4) 事業期間	平成27年度～平成31年度
(5) 事業対象地域の要件	水道水源の流域（昭和32年法律第161号）第2条第1項に規定する自然公園法等すぐれた自然環境を有する地域
(6) 事業計画額	交付対象事業費 14,580千円

## ○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の設備規模

## 【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
6～7人槽	30基(150人分)	基	14,580千円	15,990千円	14,580千円
8～10人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
11～20人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
21～30人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
31～50人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
51人槽以上	基(人分)	基	千円	千円	千円
改築	基				
計画策定調査費					
合 計	30基(150人分) 改築を除く	0基	14,580千円	15,990千円	14,580千円

## 計画支援概要

都道府県名

奈良県

(1) 事業主体名	葛城市		
(2) 事業目的	剪定枝等破碎堆肥化施設整備のため		
(3) 事業名称	剪定枝等破碎堆肥化施設整備		
(4) 事業期間	平成27年度～平成28年度		
(5) 事業概要	解体実施設計 基本計画 実施設計等		
(6) 事業計画額	51,000千円		

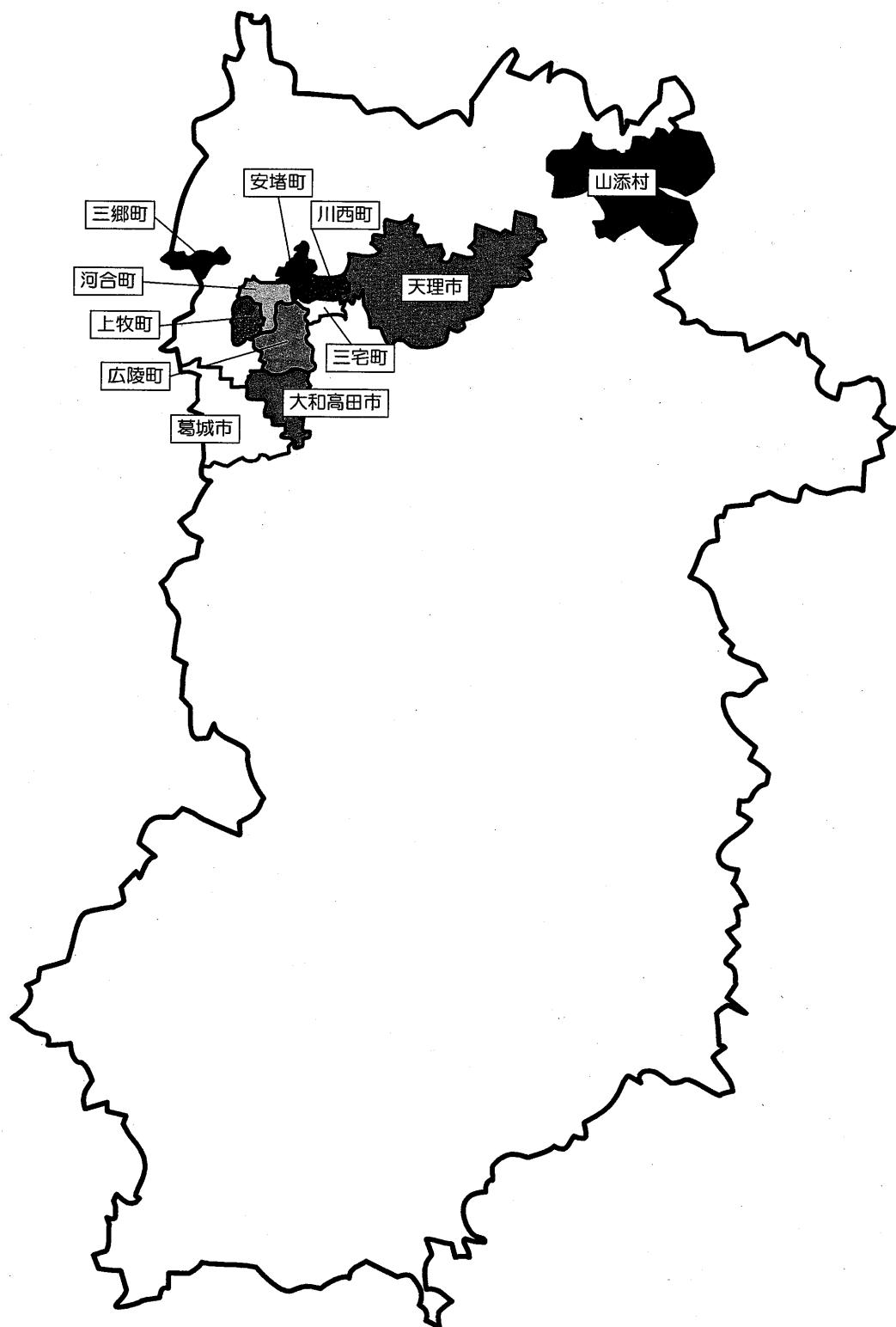
## 計画支援概要

都道府県名 奈良県

(1) 事業主体名	天理市他				
(2) 事業目的	新リサイクルセンター及び新エネルギー回収型廃棄物処理施設整備のため				
(3) 事業名称	生活環境影響 調査	施設整備 基本計画	地質調査	民間活力導入 可能性調査	施設整備 基本設計
(4) 事業期間	平成28年度 ～平成30年度	平成28年度	平成29年度	平成29年度	平成29年度 ～平成30年度
(5) 事業概要	現地調査・予測・評価 (H31も継続)	施設の基本構想 及び基本計画	建設予定地の地質調査	事業運営方式などの調査・検討	施設の基本設計など
(6) 事業計画額	165,000千円	22,000千円	30,000千円	10,000千円	20,000千円



●添付資料1 対象地域図



●添付資料2 ごみの分別区分

市町村 種類	天理市	大和高田市	葛城市	山添村	三郷町	安堵町	川西町	三宅町	上牧町	広隆町	河合町	
可燃ごみ	①燃やせるごみ	①燃えろごみ	①燃えるごみ	①燃えるごみ	①燃やせるごみ	①燃えろごみ	①燃やせるごみ	①燃えろごみ	①燃やすごみ	①燃やすごみ	①燃やすごみ	
不燃ごみ	②燃やせないごみ	—	③燃えないごみ	—	②燃やせないごみ ・燃えないとごみ ・組大ごみ ・有害ごみ	②燃やせないごみ ・燃えないとごみ ・組大ごみ ・有害ごみ	②燃やせないごみ ・燃えないとごみ ・組大ごみ ・有害ごみ	②燃やせないごみ ・燃えないとごみ ・組大ごみ ・有害ごみ	②燃やせないごみ	②燃やせないごみ	②燃やさないごみ	
粗大ごみ	②粗大ごみ	③粗大ごみ	④粗大ごみ	⑤粗大ごみ	⑥粗大ごみ	⑦粗大ごみ	⑧粗大ごみ	⑨粗大ごみ	⑩粗大ごみ	⑪粗大ごみ	⑫粗大ごみ	
資源ごみ	③資源ごみ ・プラスチック製 容器包装 ・ペットボトル ・新聞・雑誌・段ボール ・ビン・缶 ・その他のプラスチック 容器包装 ・新規・雑誌 ・紙・ビン ・ダンボール	③資源ごみ ・ペットボトル ・ビン・缶 ・白色レーベル ・新規・雑誌・段ボール ・牛乳パック ・古着類 【営業地区のみ】 ・紙・ビン ・新聞・雑誌類 ・ダンボール ・牛乳パック ・白色レーベル ・古着類 ・飲料用ののみ	③資源ごみ ・ペットボトル ・ビン・缶 ・白色レーベル ・新規・雑誌類 ・紙・ビン ・ダンボール ・アルミ缶 ・ペットボトル ・牛乳パック ・ガラスびん ・ガラスビン ・プラスチック製 容器類 ・発泡スチロール類	③資源ごみ ・ペットボトル ・ビン・缶 ・白色レーベル ・新規・雑誌類 ・紙・ビン ・ダンボール ・牛乳パック ・古布類 ・牛乳パック ・ガラスびん ・ガラスビン ・プラスチック製 容器類 ・発泡スチロール類								
その他	—	④わざもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
有害ごみ	⑤有害ごみ	⑤有害ごみ	⑤有害ごみ	—	—	⑤有害ごみ	—	—	—	—	—	
地域集団回収	・新聞紙、チラシ ・雑誌類 ・ダンボール ・コピーユニット ・タンボール ・牛乳パック等	・新聞紙、チラシ ・雑誌 ・コピーユニット ・タンボール ・牛乳パック ・紙パック ・アルミ缶 ・衣類等	・新聞紙、チラシ ・雑誌 ・コピーユニット ・タンボール ・牛乳パック ・紙パック ・牛乳パック等	・新聞紙、チラシ ・雑誌 ・コピーユニット ・タンボール ・牛乳パック ・紙パック ・牛乳パック ・アルミ缶 ・スチール缶								

### ●添付資料3 現有施設の概要

#### ①焼却施設

実施主体	葛城市
名称	新庄クリーンセンター
所在地	葛城市笛堂282番地
竣工年月	昭和53年4月
処理能力	52t/日 (52t/16h × 1炉)
処理方式	准連続燃焼式焼却炉(ストー式)
処理対象物	可燃ごみ、可燃性残渣

実施主体	天理市
名称	天理市環境クリーンセンター(ごみ焼却施設)
所在地	天理市嘉幡町180番地
竣工年月	昭和57年3月
処理能力	220t/日 (110t/24h × 2炉)
処理方式	全連続燃焼式焼却炉(ストー式)
処理対象物	可燃ごみ、可燃性残渣

実施主体	大和高田市
名称	大和高田市クリーンセンター(一般焼却炉)
所在地	大和高田市今里川合方23番地
竣工年月	昭和61年3月
処理能力	150t/日 (75t/24h × 2炉)
処理方式	全連続燃焼式焼却炉(ストー式)
処理対象物	可燃ごみ、可燃性残渣

実施主体	三郷町
名称	三郷町清掃センター
所在地	生駒郡三郷町勢野2141番地
竣工年月	平成2年4月
処理能力	40t/日 (20t/16h × 2炉)
処理方式	准連続燃焼式焼却炉(ストー式)
処理対象物	可燃ごみ、可燃性残渣

実施主体	安堵町
名称	安堵町環境美化センター
所在地	生駒郡安堵町笠目326番地の1
竣工年月	平成3年
処理能力	20t/日 (10t/16h × 2炉)
処理方式	准連続燃焼式焼却炉(ストーク式)
処理対象物	可燃ごみ

実施主体	上牧町
名称	上牧町塵芥焼却場
所在地	香芝市上中511-1番地
竣工年月	昭和47年
処理能力	15t/日 (15t/8h × 1炉)
処理方式	機械化バッチ式
処理対象物	可燃ごみ

実施主体	河合町
名称	河合町清掃工場
所在地	北葛城郡河合町大字山坊683番地1
竣工年月	昭和52年4月
処理能力	30t/日 (15t/8h × 2炉)
処理方式	機械化バッチ式
処理対象物	可燃ごみ、可燃性残渣

## ②ごみ燃料化施設

実施主体	広陵町
名称	クリーンセンター広陵(ごみ燃料化(炭化)施設)
所在地	北葛城郡広陵町大字古寺81番地
竣工年月	平成19年2月
処理能力	35t/8h
処理方式	ごみ燃料化(炭化)方式
処理対象物	可燃ごみ、可燃性残渣

③リサイクルセンター

実施主体	天理市
名称	天理市環境クリーンセンター(粗大ごみ処理施設)
所在地	天理市嘉幡町180番地
竣工年月	昭和52年5月
処理能力	50t/5h
処理方式	せん断、回転破碎方式
処理対象物	粗大ごみ

実施主体	天理市
名称	天理市環境クリーンセンター(資源化施設)
所在地	天理市嘉幡町180番地
竣工年月	平成10年12月
処理能力	2.1t/5h
処理方式	選別、圧縮、貯留
処理対象物	資源ごみ

実施主体	大和高田市
名称	粗大ごみ処理施設
所在地	大和高田市今里川合方23番地
竣工年月	昭和58年3月
処理能力	30t/5h
処理方式	衝撃圧縮せん断式
処理対象物	粗大ごみ処理施設

実施主体	大和高田市
名称	カンビン処理施設
所在地	大和高田市今里川合方23番地
竣工年月	平成4年9月～
処理能力	400～600kg/h
処理方式	破碎、選別、圧縮
処理対象物	カン、ビン

実施主体	大和高田市
名称	ペットボトル処理施設
所在地	大和高田市今里川合方23番地
竣工年月	平成23年3月
処理能力	300kg/h
処理方式	圧縮、梱包
処理対象物	ペットボトル

実施主体	葛城市
名称	當麻リサイクルセンター
所在地	葛城市當麻120
竣工年月	平成15年
処理能力	4.2t/5h
処理方式	選別、圧縮、梱包
処理対象物	資源ごみ

実施主体	三郷町
名称	三郷町清掃センター(破碎施設)
所在地	生駒郡三郷町勢野2141番地
竣工年月	平成2年3月
処理能力	9t/5h
処理方式	破碎
処理対象物	不燃ごみ

実施主体	三郷町
名称	三郷町清掃センター
所在地	生駒郡三郷町勢野2141番地
竣工年月	4t/5h
処理能力	4t/日
処理方式	選別、圧縮、梱包
処理対象物	ペットボトル

実施主体	河合町
名称	河合町清掃工場
所在地	北葛城郡河合町大字山坊683番地1
竣工年月	平成3年4月
処理能力	6t/5h
処理方式	破碎、選別
処理対象物	粗大ごみ

実施主体	河合町
名称	河合町清掃工場
所在地	北葛城郡河合町大字山坊683番地1
竣工年月	平成15年
処理能力	4t/5h
処理方式	破袋、選別、圧縮、梱包
処理対象物	資源ごみ

実施主体	広陵町
名称	クリーンセンター広陵(リサイクルプラザ)
所在地	北葛城郡広陵町大字古寺81番地
竣工年月	平成19年2月
処理能力	9.9t/5h
処理方式	破碎、選別、圧縮、梱包
処理対象物	不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ

④最終処分場

実施主体	天理市
名称	山辺広域一般廃棄物第2最終処分地
所在地	山辺郡山添村中峰山地内
竣工年月	平成6年3月
埋立面積	10,500m <sup>2</sup>
埋立容量	94,500m <sup>3</sup>
埋立対象物	焼却残渣(残灰)
浸出水処理能力	50m <sup>3</sup> /日
浸出水処理方式	前処理調整+Ca除去+生物学的脱窒処理+凝集沈殿処理+砂ろ過・活性炭吸着処理+滅菌処理

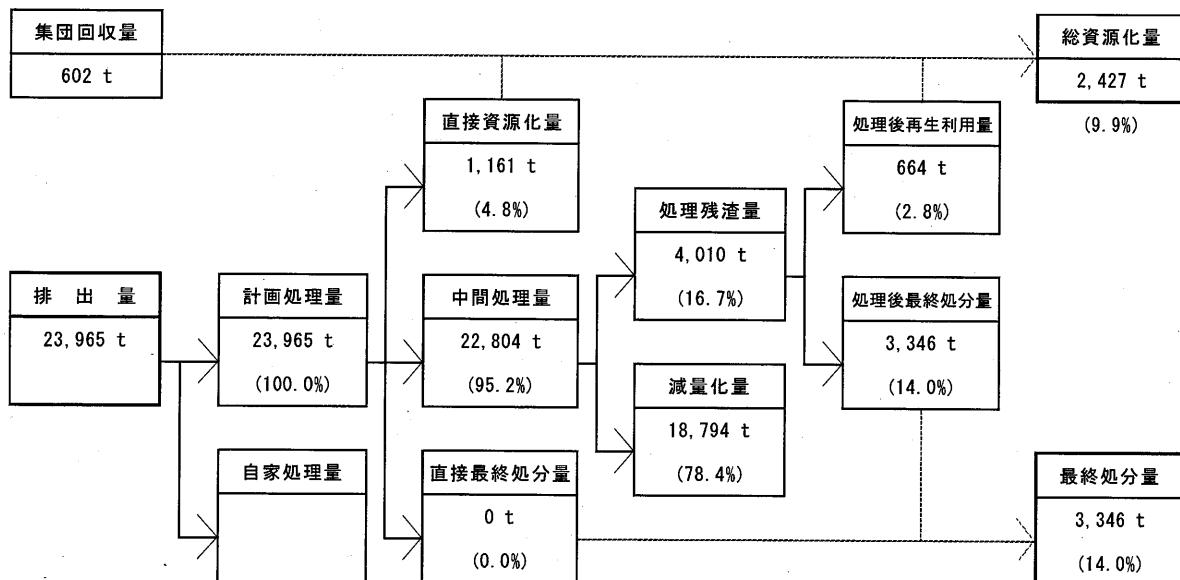
⑤し尿処理施設

実施主体	天理市
名称	天理市環境クリーンセンターし尿処理施設
所在地	天理市嘉幡町180番地
竣工年月	平成4年10月
処理能力	57kL/日
処理方式	高負荷脱窒素処理方式

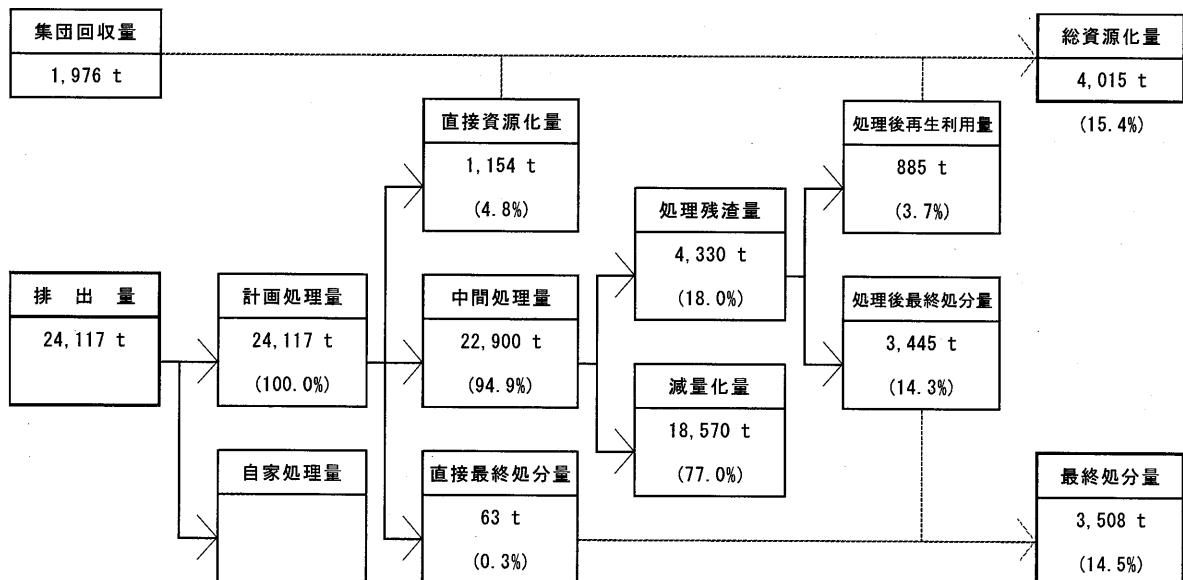
●添付資料4

構成市町村別のごみ排出・処理状況のフロー（平成26年度）

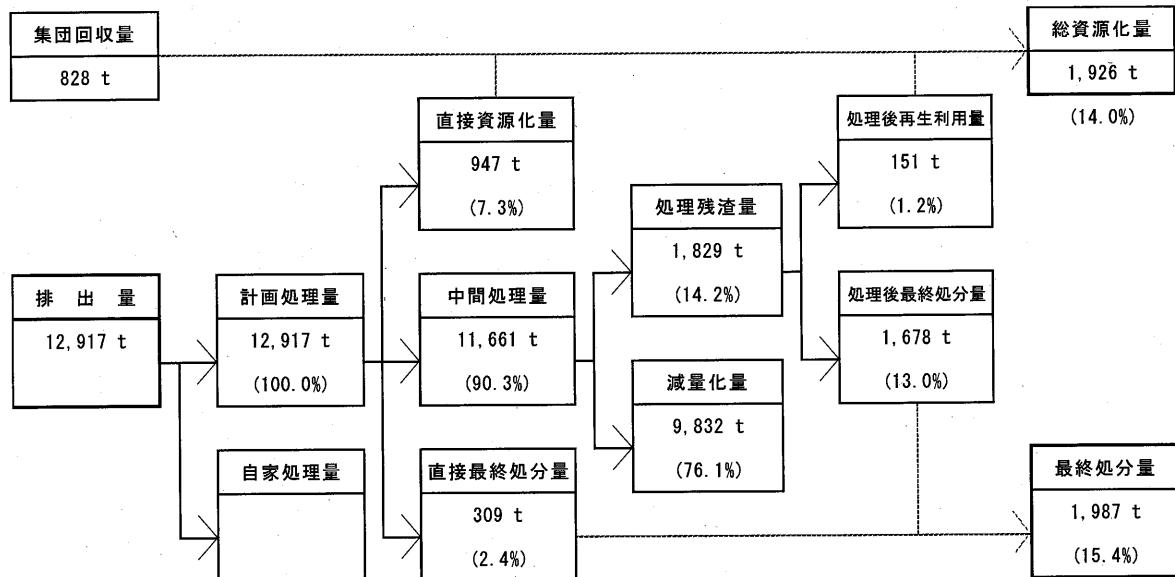
①天理市



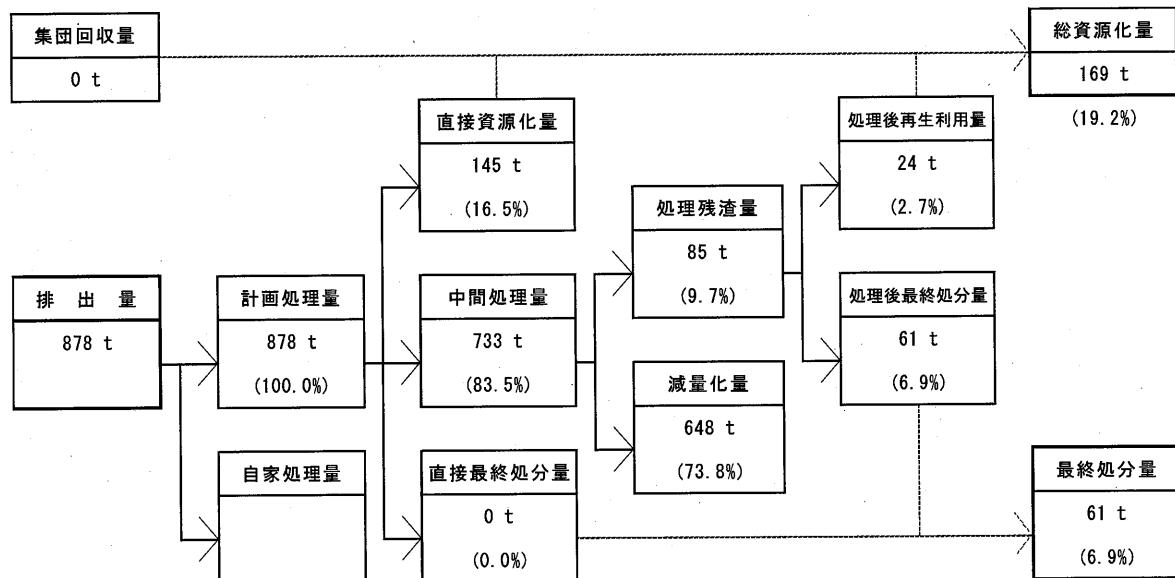
②大和高田市



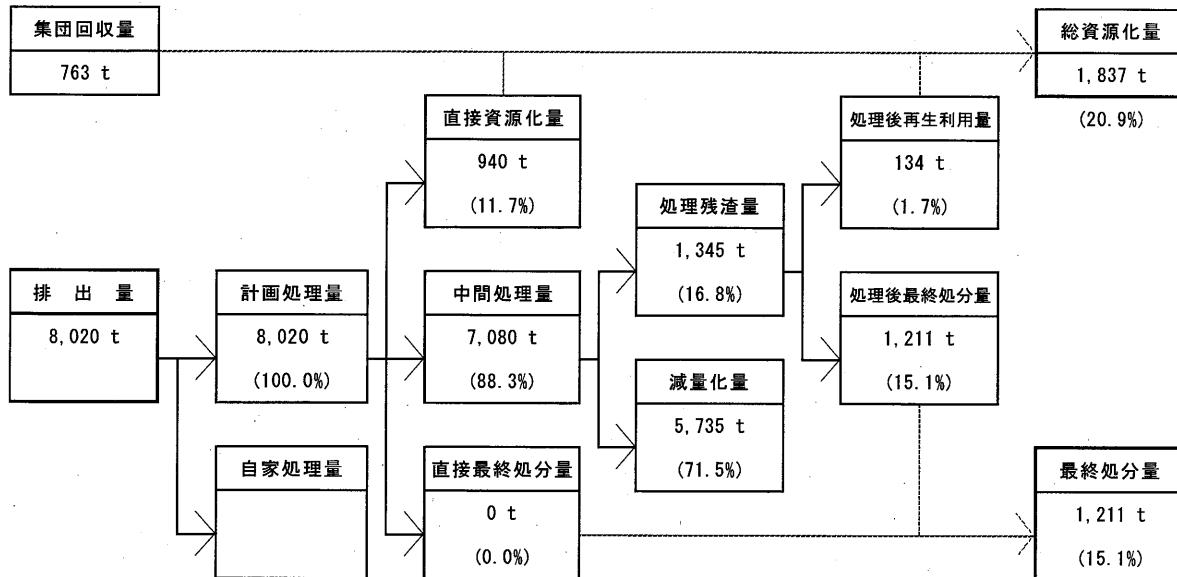
③葛城市



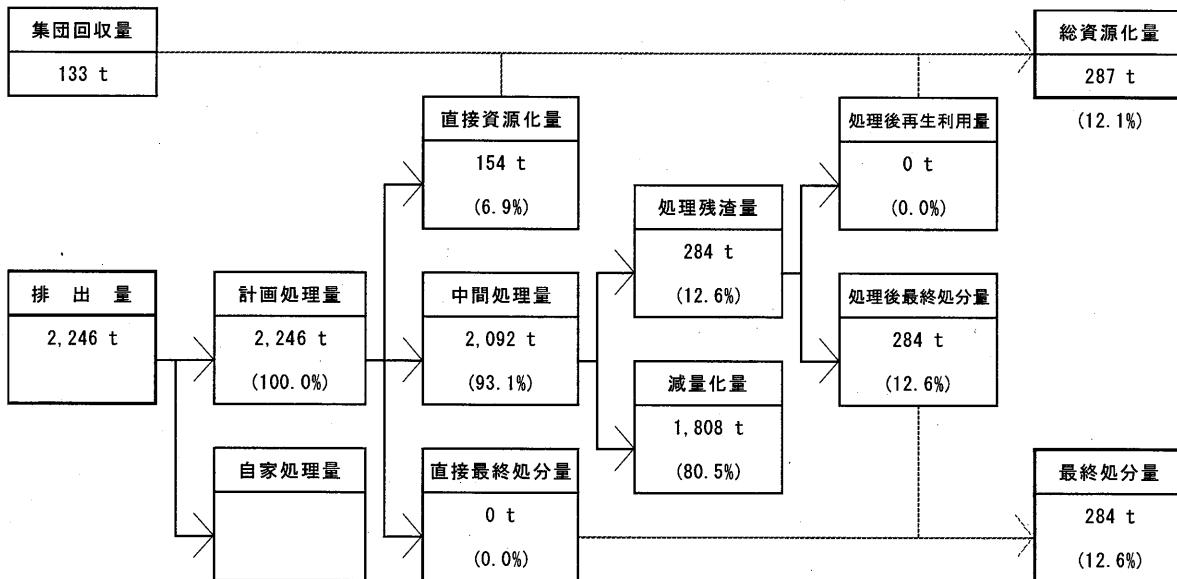
④山添村



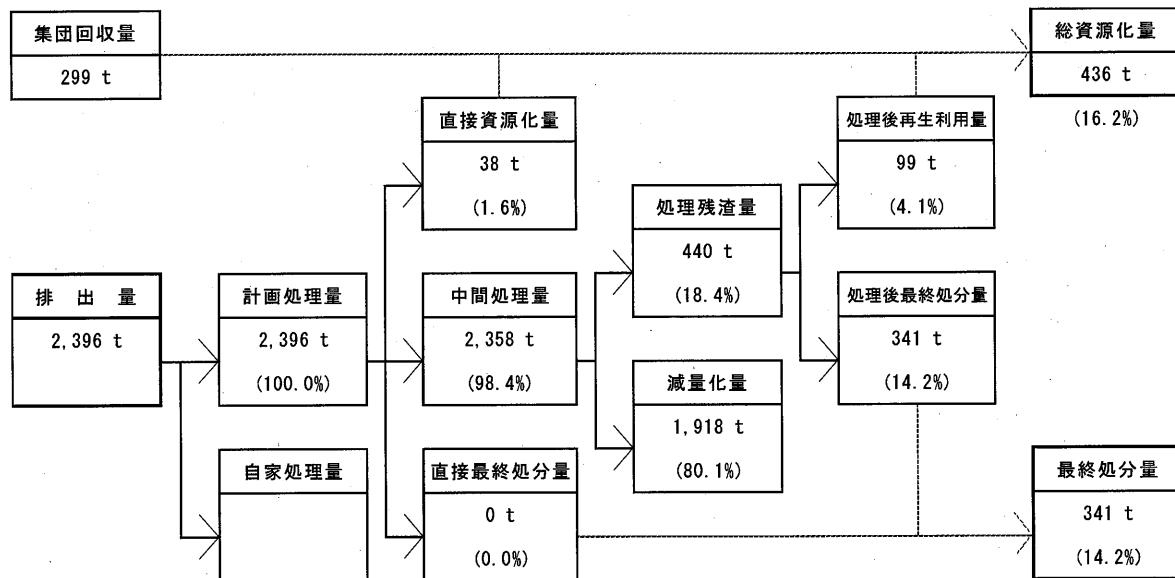
⑤三郷町



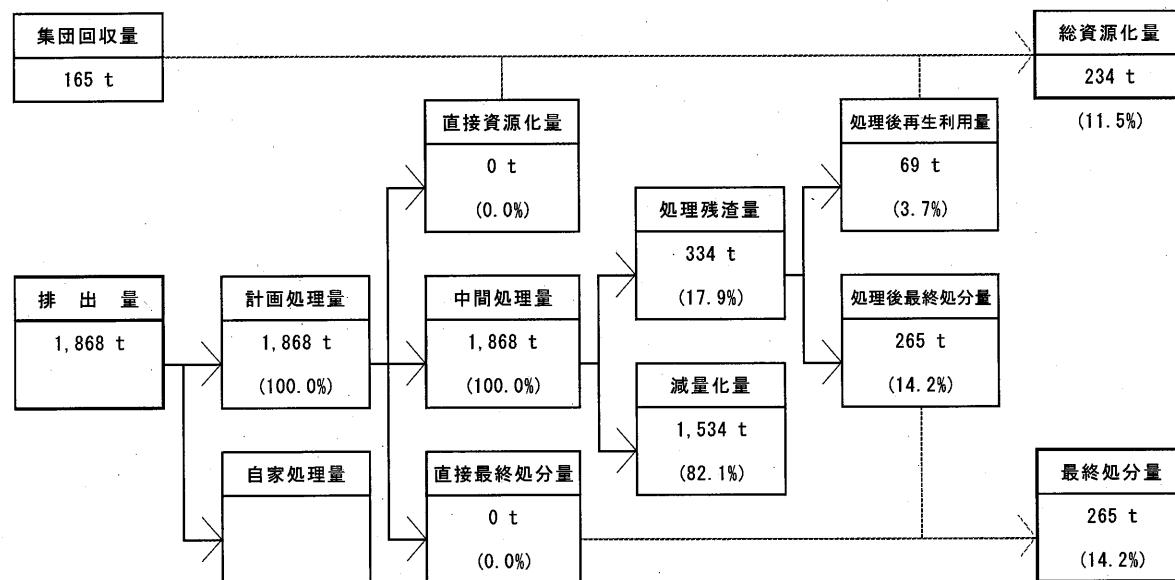
⑥安堵町



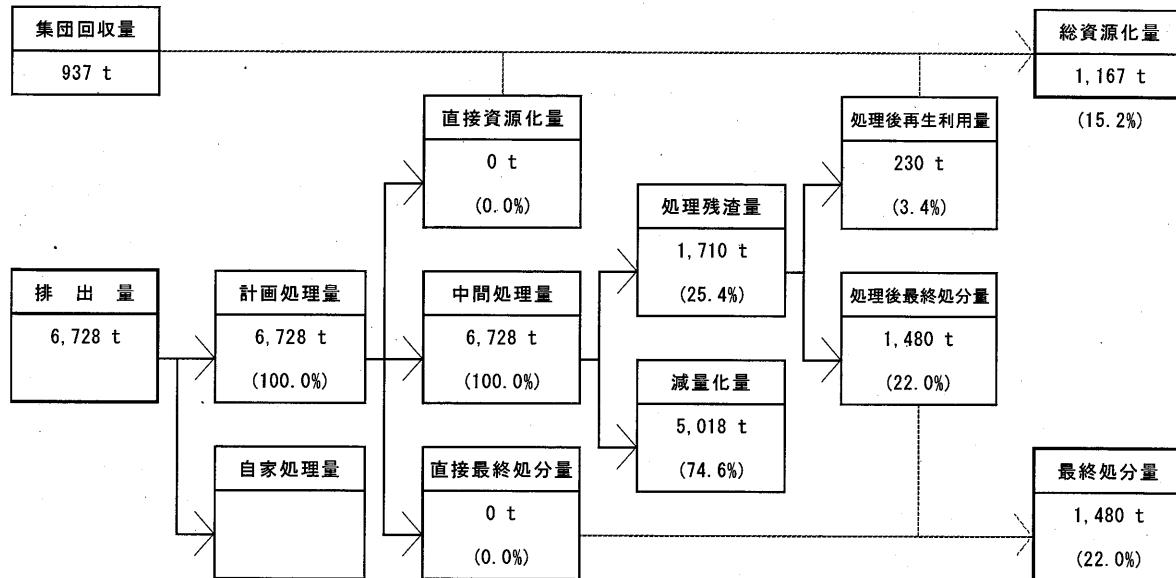
⑦川西町



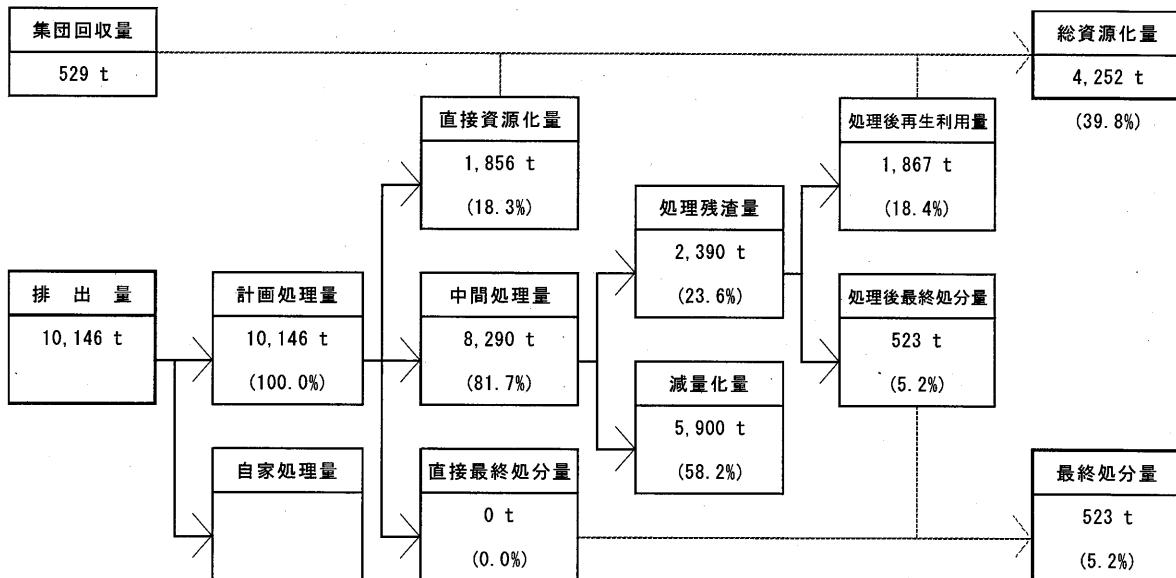
⑧三宅町



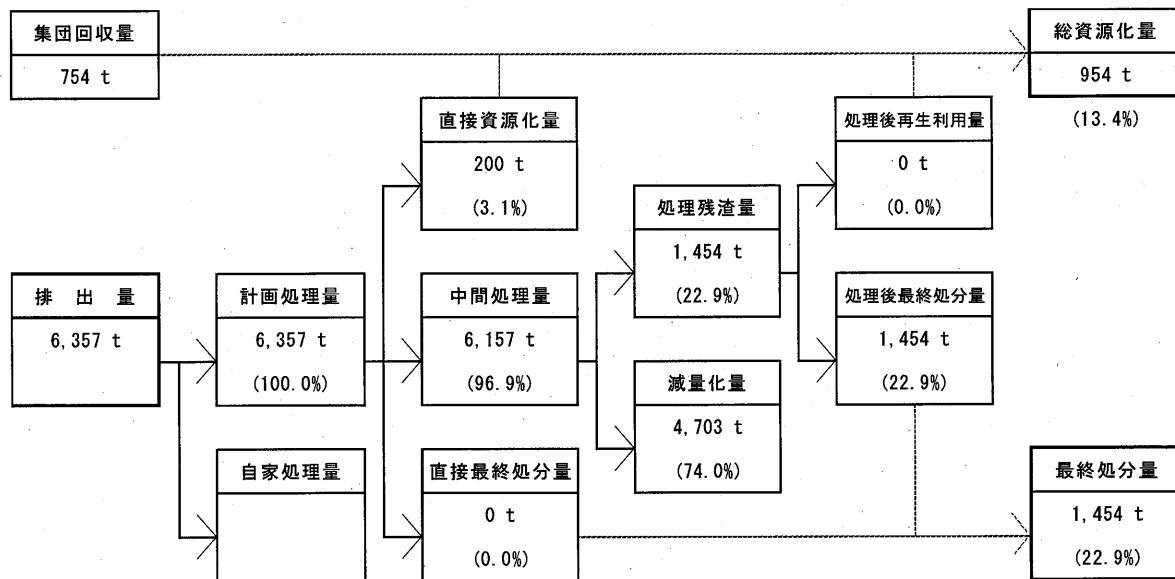
⑨上牧町



⑩広陵町



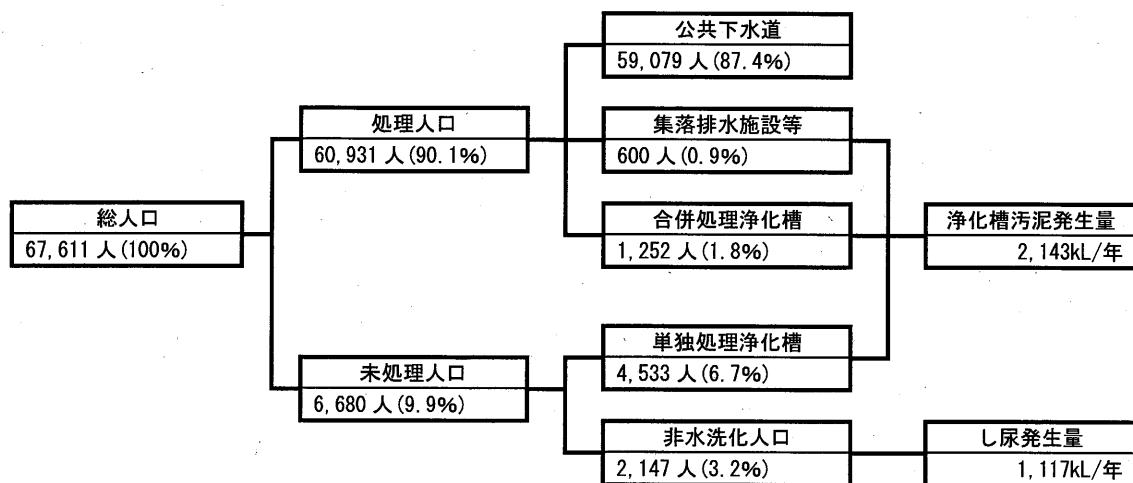
⑪河合町



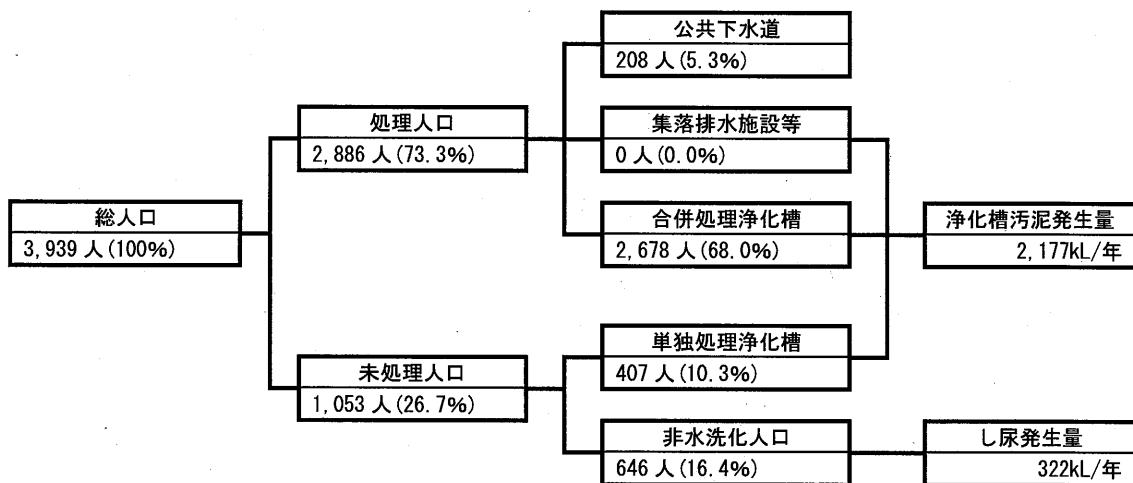
## ●添付資料5

### 天理市及び山添村の生活排水の処理状況フロー（平成26年度）

#### ①天理市



#### ②山添村



●添付資料6  
構成市町村における一般廃棄物等の実績及び目標

①天理市

指 標		現 状(割合※1) (平成26年度)	目 標(割合※1) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	8,358 t	7,902 t ( -5.5%)
	1事業所当たりの排出量※2	3.03 t/事業所	2.86 t/事業所 ( -5.6%)
	家庭系 総排出量	15,607 t	15,244 t ( -2.3%)
	1人当たりの排出量※3	231 kg/人・年	205 kg/人・年 ( -11.3%)
合 計 事業系+家庭系		23,965 t	23,146 t ( -3.4%)
再生利用量	直接資源化量	1,161 t (4.8%)	1,139 t (4.9%)
	総資源化量	2,427 t (9.9%)	2,388 t (10.1%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	18,794 t (78.4%)	18,128 t (78.3%)
最終処分量	埋立最終処分量	3,346 t (14.0%)	3,224 t (13.9%)

※1 割合については、排出量が現状(平成 26 年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

※2 (1 事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)  
・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1 人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

②大和高田市

指 標		現 状(割合※1) (平成26年度)	目 標(割合※1) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	8,985 t	8,490 t ( -5.5%)
	1事業所当たりの排出量※2	3.60 t/事業所	3.40 t/事業所 ( -5.6%)
	家庭系 総排出量	15,132 t	14,516 t ( -4.1%)
	1人当たりの排出量※3	222 kg/人・年	196 kg/人・年 ( -11.7%)
合 計 事業系+家庭系		24,117 t	23,006 t ( -4.6%)
再生利用量	直接資源化量	1,122 t (4.7%)	1,094 t (4.8%)
	総資源化量	3,983 t (15.3%)	3,862 t (15.5%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	18,602 t (77.1%)	17,671 t (76.8%)
最終処分量	埋立最終処分量	3,508 t (14.5%)	3,378 t (14.7%)

※1 割合については、排出量が現状(平成 26 年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

※2 (1 事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)  
・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1 人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

③葛城市

指 標		現 状(割合※1) (平成26年度)	目 標(割合※1) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	4,102 t	3,207 t (- -21.8%)
	1事業所当たりの排出量※2	3.46 t/事業所	2.71 t/事業所 (- -21.7%)
	家庭系 総排出量	8,815 t	7,957 t (- -9.7%)
	1人当たりの排出量※3	209 kg/人・年	161 kg/人・年 (- -23.0%)
合 計 事業系+家庭系		12,917 t	11,164 t (- -13.6%)
再生利用量	直接資源化量	947 t (7.3%)	1,343 t (12.0%)
	総資源化量	1,926 t (14.0%)	3,074 t (25.4%)
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	9,832 t (76.1%)	7,484 t (67.0%)
最終処分量	埋立最終処分量	1,987 t (15.4%)	1,552 t (13.9%)

※1 割合については、排出量が現状(平成 26 年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

※2 (1 事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)  
・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1 人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

④山添村

指 標		現 状(割合※1) (平成26年度)	目 標(割合※1) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	0 t	0 t
	1事業所当たりの排出量※2	0.00 t/事業所	0.00 t/事業所
	家庭系 総排出量	878 t	818 t (- -6.8%)
	1人当たりの排出量※3	223 kg/人・年	190 kg/人・年 (- -14.8%)
合 計 事業系+家庭系		878 t	818 t (- -6.8%)
再生利用量	直接資源化量	144 t (16.4%)	131 t (16.0%)
	総資源化量	168 t (19.1%)	153 t (18.7%)
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	649 t (73.9%)	608 t (74.3%)
最終処分量	埋立最終処分量	61 t (6.9%)	57 t (7.0%)

※1 割合については、排出量が現状(平成 26 年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

※2 (1 事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)  
・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1 人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

⑤三郷町

指 標		現 状(割合※ <sup>1</sup> ) (平成26年度)	目 標(割合※ <sup>1</sup> ) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	1,605 t	1,533 t ( -4.5%)
	1事業所当たりの排出量※ <sup>2</sup>	3.87 t/事業所	3.69 t/事業所 ( -4.7%)
	家庭系 総排出量	6,415 t	6,435 t ( .3%)
	1人当たりの排出量※ <sup>3</sup>	232 kg/人・年	232 kg/人・年 ( .0%)
合 計 事業系+家庭系		8,020 t	7,968 t ( -.6%)
再生利用量	直接資源化量	940 t (11.7%)	946 t (11.9%)
	総資源化量	1,837 t (20.9%)	1,822 t (20.9%)
熱回収量	熱回収量（年間の発電電力量）	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	5,735 t (71.5%)	5,681 t (71.3%)
最終処分量	埋立最終処分量	1,211 t (15.1%)	1,206 t (15.1%)

※1 割合については、排出量が現状(平成 26 年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

※2 (1事業所当たりの排出量)= {(事業系ごみの総排出量)-(事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)  
・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1人当たりの排出量)= {(家庭系ごみの総排出量)-(家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

⑥安堵町

指 標		現 状(割合※ <sup>1</sup> ) (平成26年度)	目 標(割合※ <sup>1</sup> ) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	0 t	0 t
	1事業所当たりの排出量※ <sup>2</sup>	0.00 t/事業所	0.00 t/事業所
	家庭系 総排出量	2,244 t	2,195 t ( -2.2%)
	1人当たりの排出量※ <sup>3</sup>	289 kg/人・年	269 kg/人・年 ( -6.9%)
合 計 事業系+家庭系		2,244 t	2,195 t ( -2.2%)
再生利用量	直接資源化量	153 t (6.8%)	146 t (6.7%)
	総資源化量	286 t (12.0%)	276 t (11.9%)
熱回収量	熱回収量（年間の発電電力量）	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	1,807 t (80.5%)	1,766 t (80.5%)
最終処分量	埋立最終処分量	284 t (12.7%)	283 t (12.9%)

※1 割合については、排出量が現状(平成 26 年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

※2 (1事業所当たりの排出量)= {(事業系ごみの総排出量)-(事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)  
・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1人当たりの排出量)= {(家庭系ごみの総排出量)-(家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

⑦川西町

指 標		現 状(割合※1) (平成26年度)	目 標(割合※1) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	431 t	412 t ( -4.4%)
	1事業所当たりの排出量※2	1.30 t/事業所	1.24 t/事業所 ( -4.6%)
	家庭系 総排出量	1,965 t	1,935 t ( -1.5%)
	1人当たりの排出量※3	224 kg/人・年	211 kg/人・年 ( -5.8%)
合 計 事業系+家庭系		2,396 t	2,347 t ( -2.0%)
再生利用量	直接資源化量	38 t (1.6%)	37 t (1.6%)
	総資源化量	436 t (16.2%)	427 t (16.2%)
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	1,918 t (80.1%)	1,880 t (80.1%)
最終処分量	埋立最終処分量	341 t (14.2%)	334 t (14.2%)

※1 割合については、排出量が現状(平成 26 年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

※2 (1 事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)  
・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1 人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

⑧三宅町

指 標		現 状(割合※1) (平成26年度)	目 標(割合※1) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	250 t	234 t ( -6.4%)
	1事業所当たりの排出量※2	1.02 t/事業所	0.95 t/事業所 ( -6.9%)
	家庭系 総排出量	1,618 t	1,514 t ( -6.4%)
	1人当たりの排出量※3	225 kg/人・年	215 kg/人・年 ( -4.4%)
合 計 事業系+家庭系		1,868 t	1,748 t ( -6.4%)
再生利用量	直接資源化量	0 t ( .0%)	0 t ( .0%)
	総資源化量	234 t (11.5%)	221 t (11.6%)
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	1,534 t (82.1%)	1,428 t (81.7%)
最終処分量	埋立最終処分量	265 t (14.2%)	254 t (14.5%)

※1 割合については、排出量が現状(平成 26 年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

※2 (1 事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)  
・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1 人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

⑨上牧町

指 標		現 状(割合※ <sup>1</sup> ) (平成26年度)	目 標(割合※ <sup>1</sup> ) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	2,334 t	2,204 t ( -5.6%)
	1事業所当たりの排出量※ <sup>2</sup>	5.29 t/事業所	5.00 t/事業所 ( -5.5%)
	家庭系 総排出量	4,394 t	4,204 t ( -4.3%)
	1人当たりの排出量※ <sup>3</sup>	189 kg/人・年	183 kg/人・年 ( -3.2%)
	合 計 事業系+家庭系	6,728 t	6,408 t ( -4.8%)
再生利用量	直接資源化量	0 t (.0%)	0 t (.0%)
	総資源化量	1,167 t (15.2%)	1,093 t (15.0%)
熱回収量	熱回収量（年間の発電電力量）	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	5,018 t (74.6%)	4,778 t (74.6%)
最終処分量	埋立最終処分量	1,480 t (22.0%)	1,410 t (22.0%)

※1 割合については、排出量が現状(平成 26 年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

※2 (1 事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)  
・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1 人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

⑩広陵町

指 標		現 状(割合※ <sup>1</sup> ) (平成26年度)	目 標(割合※ <sup>1</sup> ) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	1,853 t	1,741 t ( -6.0%)
	1事業所当たりの排出量※ <sup>2</sup>	1.43 t/事業所	1.34 t/事業所 ( -6.3%)
	家庭系 総排出量	8,293 t	8,558 t ( 3.2%)
	1人当たりの排出量※ <sup>3</sup>	141 kg/人・年	140 kg/人・年 ( -.7%)
	合 計 事業系+家庭系	10,146 t	10,299 t ( 1.5%)
再生利用量	直接資源化量	1,856 t (18.3%)	1,916 t (18.6%)
	総資源化量	4,252 t (39.8%)	4,303 t (39.8%)
熱回収量	熱回収量（年間の発電電力量）	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	5,900 t (58.2%)	5,968 t (57.9%)
最終処分量	埋立最終処分量	523 t (5.2%)	531 t (5.2%)

※1 割合については、排出量が現状(平成 26 年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

※2 (1 事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)  
・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

※3 (1 人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

⑪河合町

指 標		現 状(割合※1) (平成26年度)	目 標(割合※1) (平成31年度)
排出量	事業系 総排出量	1,955 t	1,847 t ( -5.5%)
	1事業所当たりの排出量※2	4.04 t/事業所	3.82 t/事業所 ( -5.4%)
	家庭系 総排出量	4,402 t	4,180 t ( -5.0%)
	1人当たりの排出量※3	238 kg/人・年	226 kg/人・年 ( -5.0%)
合 計 事業系+家庭系		6,357 t	6,027 t ( -5.2%)
再生利用量	直接資源化量	215 t (3.4%)	205 t (3.4%)
	総資源化量	969 t (13.6%)	856 t (12.8%)
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	4,688 t (73.7%)	4,440 t (73.7%)
最終処分量	埋立最終処分量	1,454 t (22.9%)	1,382 t (22.9%)

※1 割合については、排出量が現状(平成 26 年度)に対する割合、その他が排出量に対する割合とする。

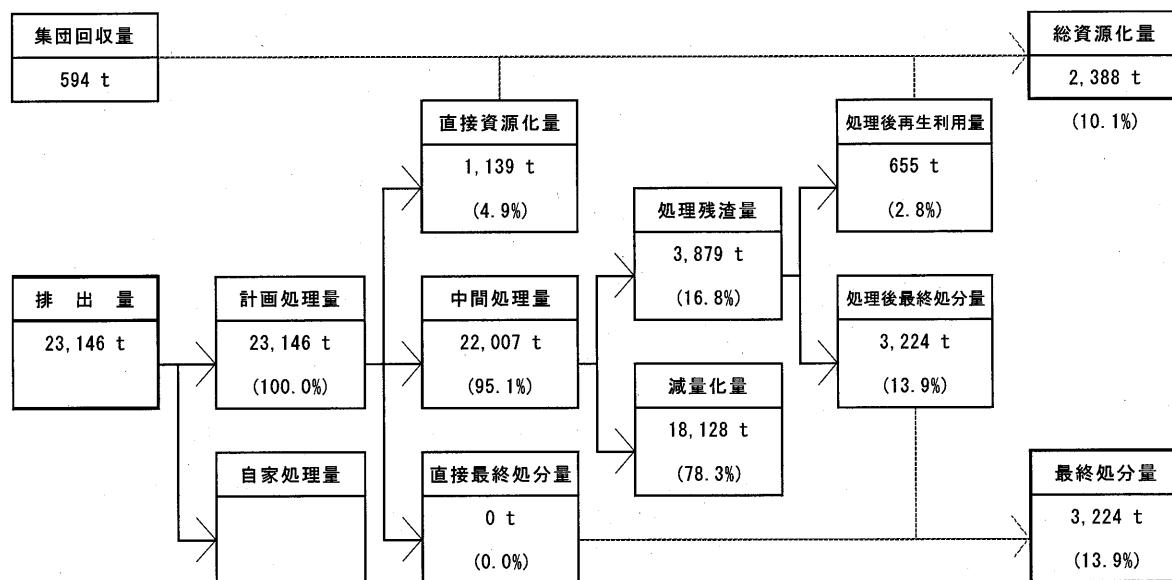
※2 (1 事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源回収量)} ÷ (事業所数)

・事業所数は過去の実績に基づく推計より算出した。

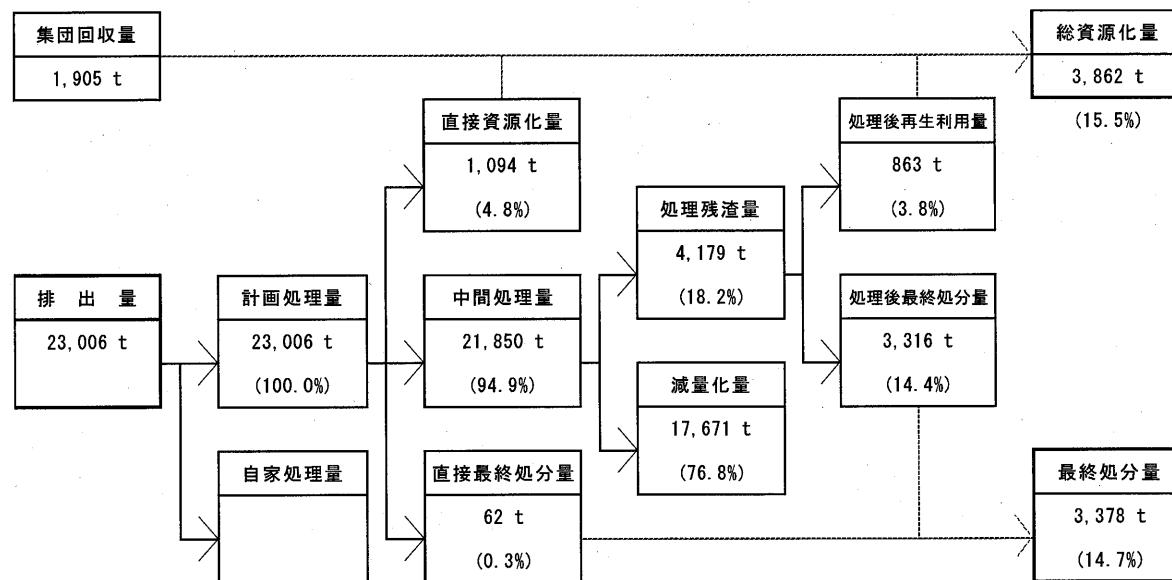
※3 (1 人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源回収量)} ÷ (人口)

●添付資料7  
構成市町村別のごみ排出・処理状況のフロー（平成31年度）

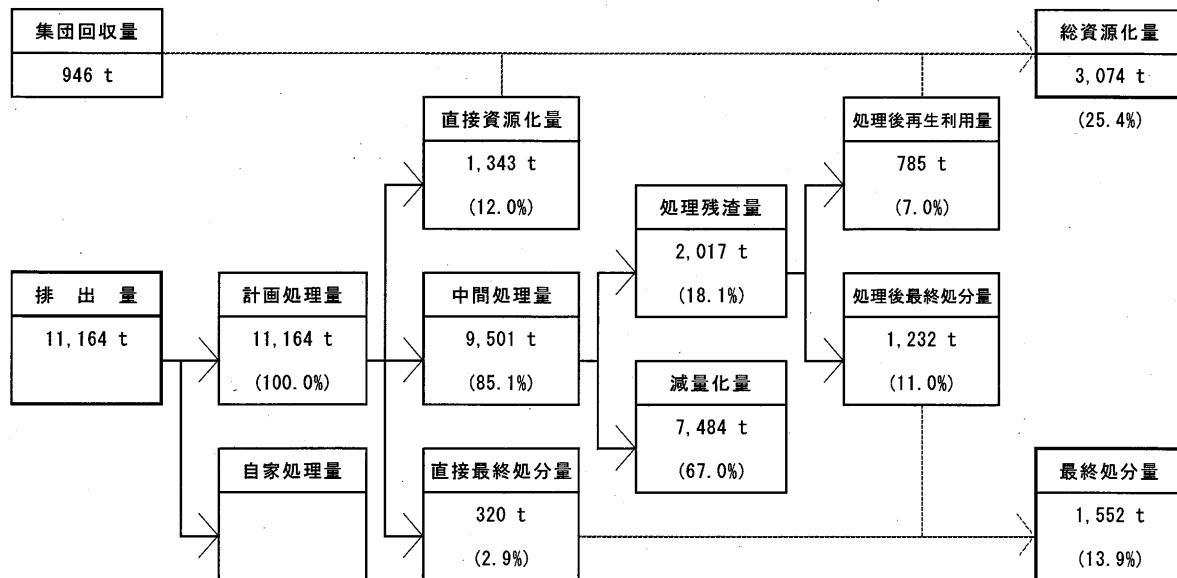
①天理市



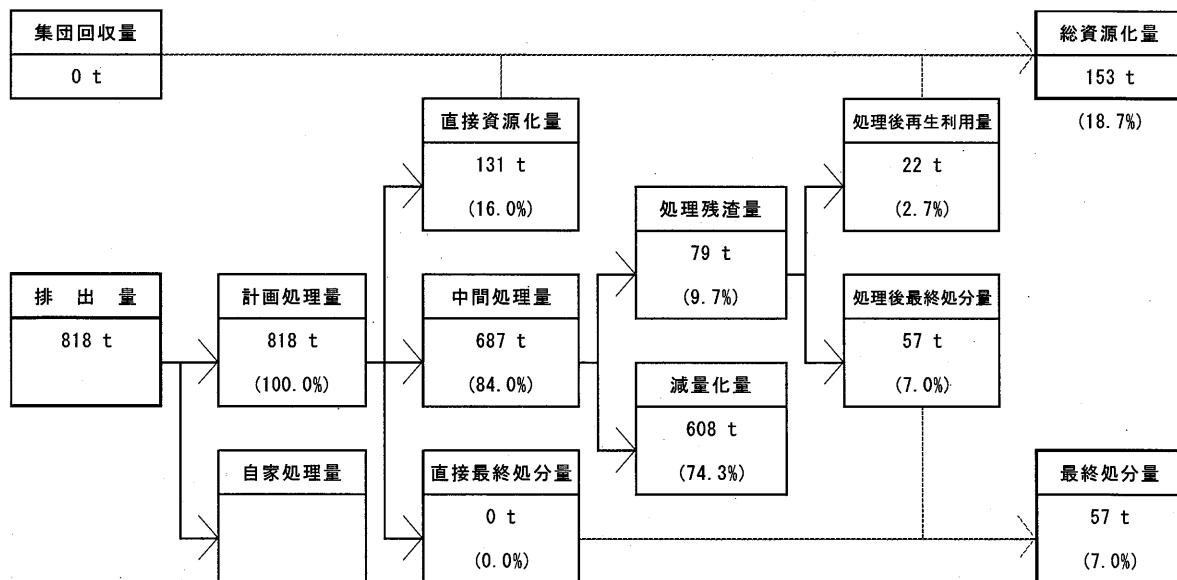
②大和高田市



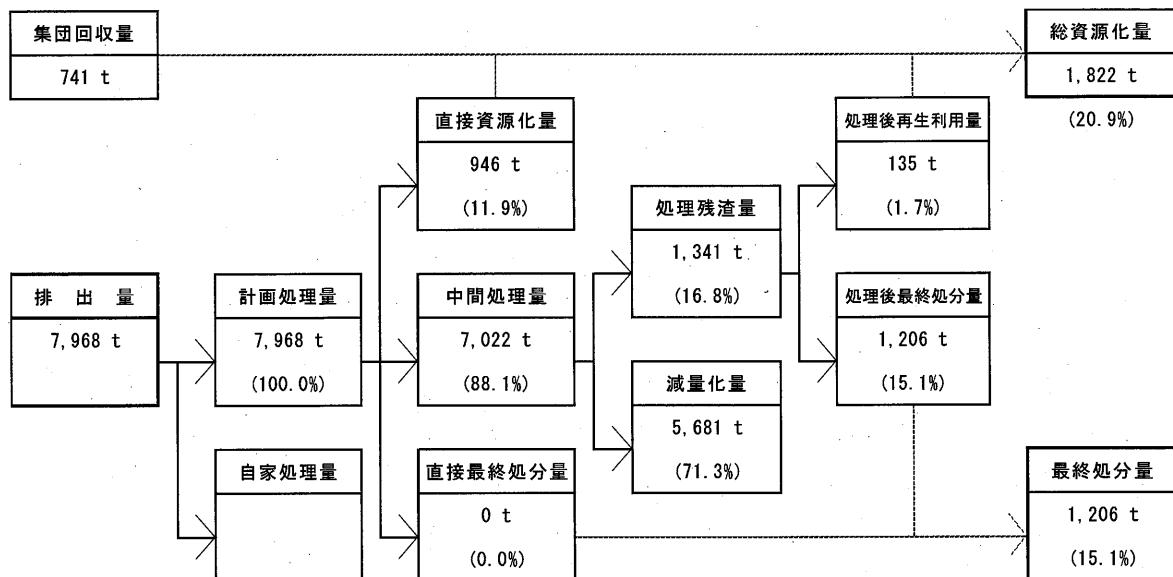
③葛城市



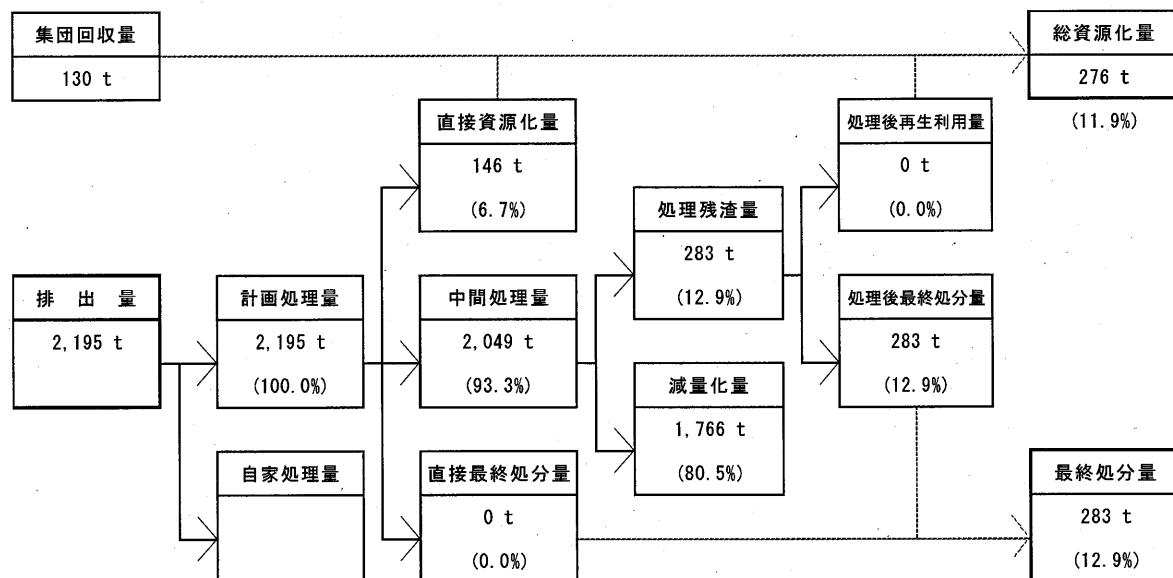
④山添村



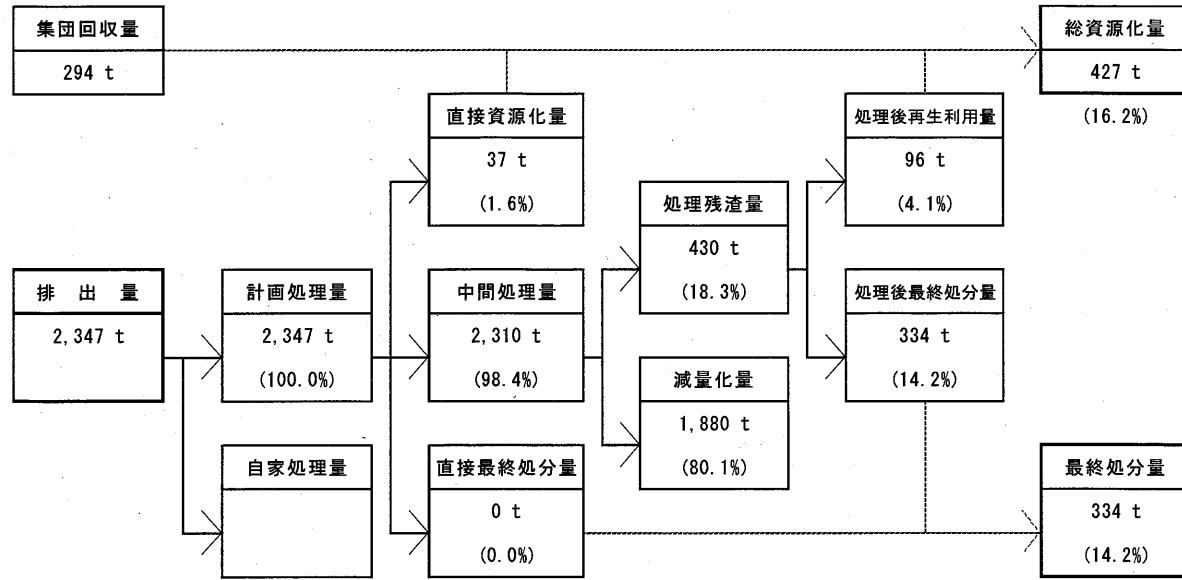
⑤三郷町



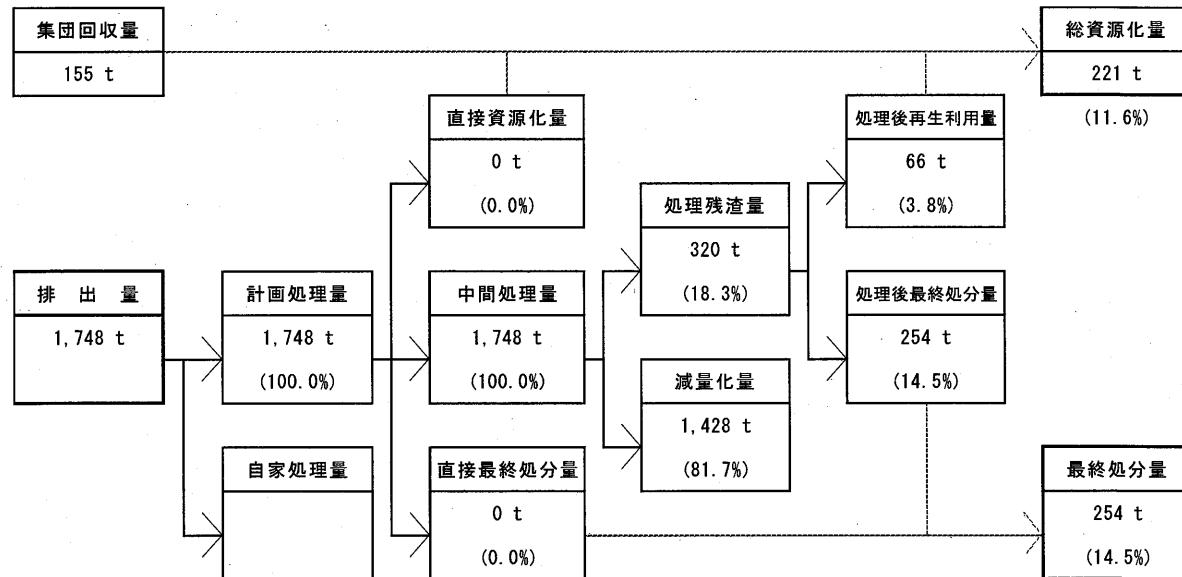
⑥安堵町



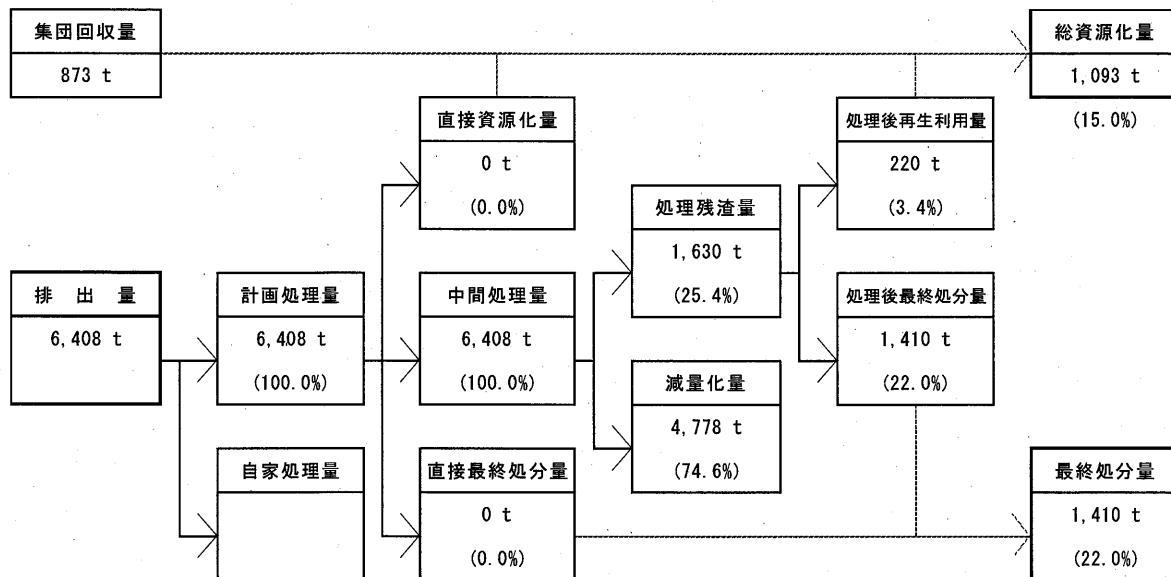
⑦川西町



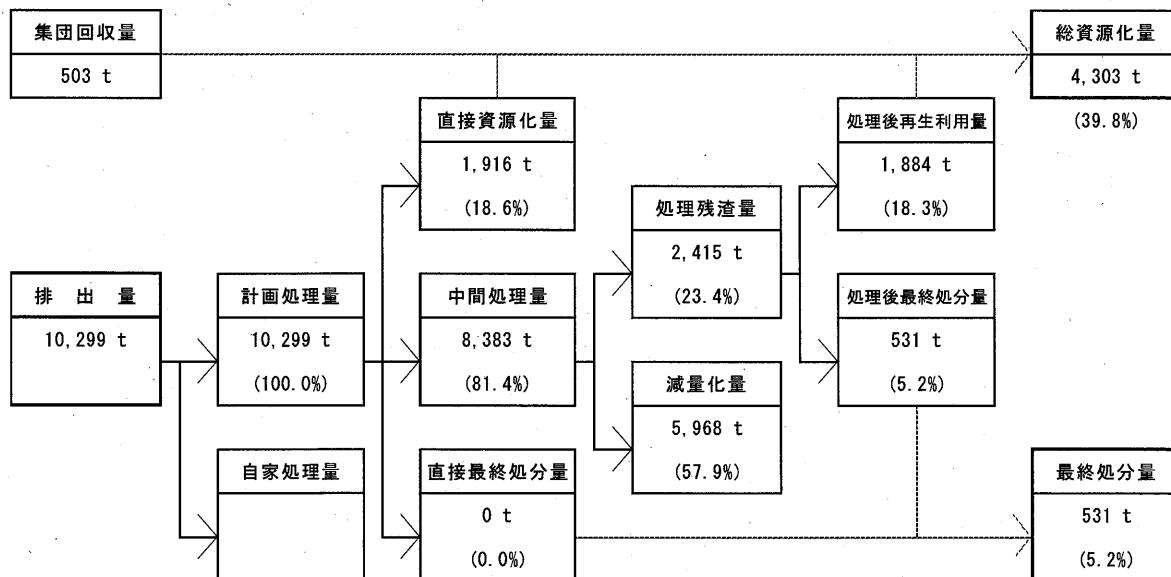
⑧三宅町



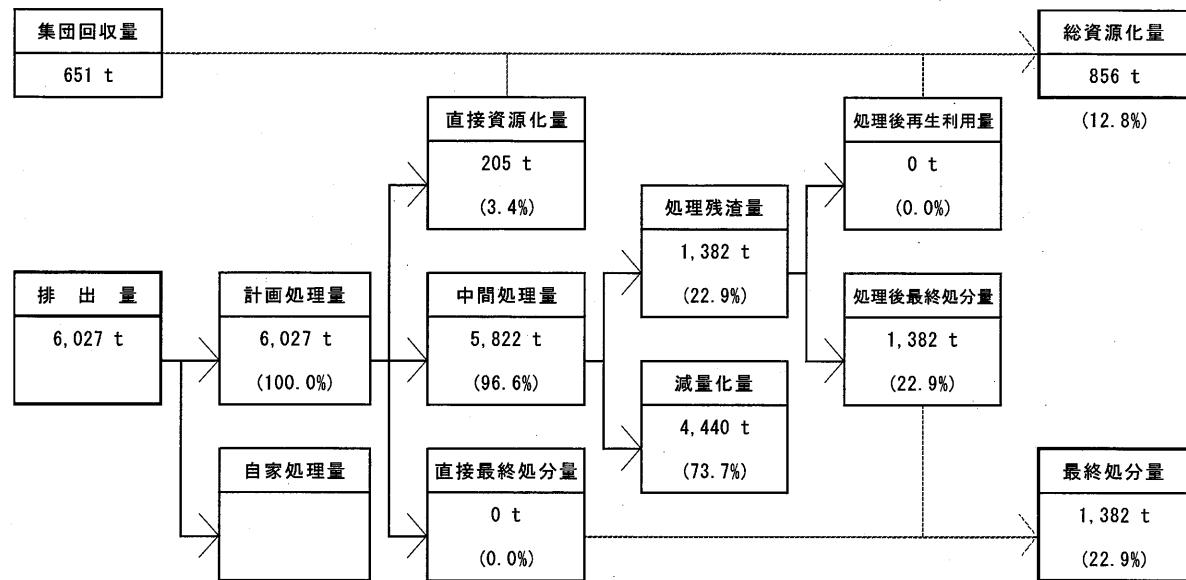
⑨上牧町



⑩広陵町



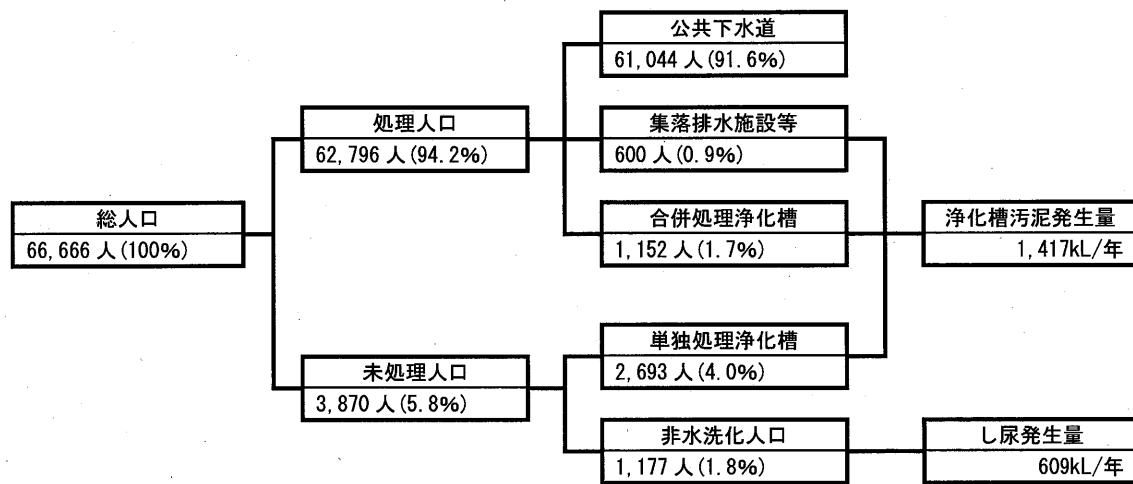
⑪河合町



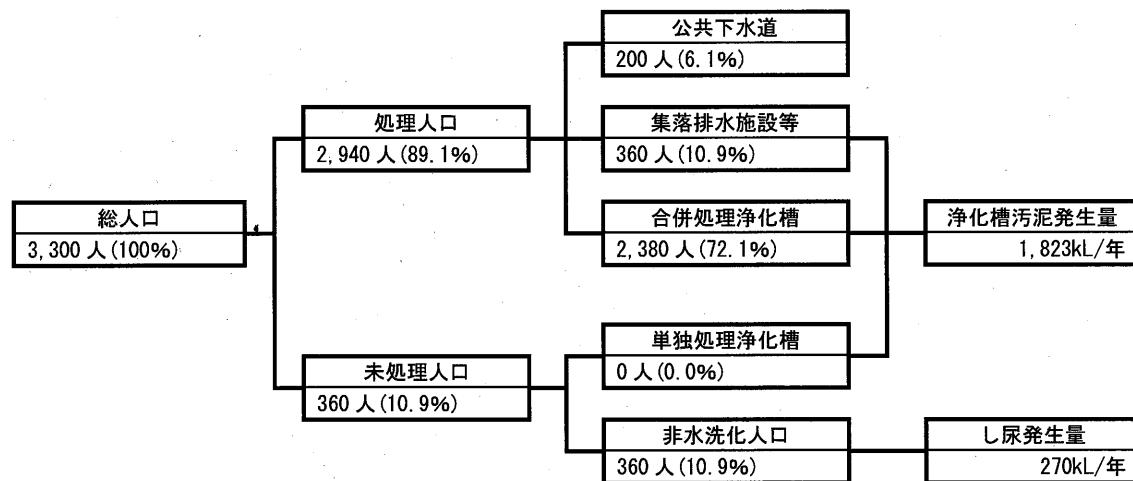
## ●添付資料8

### 天理市及び山添村の生活排水の処理状況フロー（平成31年度）

#### ①天理市



#### ②山添村



## ●添付資料9

### 構成市町村の家庭ごみにおける分別区分と処理方法（現状・将来）

#### ①天理市

##### 天理市 家庭ごみの分別区分と処理方法（現状・将来）

現 状(平成26年度)				今 後(平成31年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)	処理方法		処理施設等 一次処理	処理実績 (トン)
					二次処理		
燃やせるごみ	焼却	天理市環境クリーンセンター (ごみ焼却施設)	11,845	燃やせるごみ	焼却	熱回収	(焼却灰)山辺広域一般廃棄物第2最終処分地、大阪湾フェニックス
燃やせないごみ	破碎・選別	天理市環境クリーンセンター (粗大ごみ処理施設)	628	燃やせないごみ	破碎・選別	資源化	天理市環境クリーンセンター (粗大ごみ処理施設)
粗大ごみ			153	粗大ごみ			(処理残渣)焼却
有害ごみ		処理委託	3	有害ごみ	処理委託	処理委託	
資源ごみ	プラスチック製容器包装 発泡スチロール 新聞・雑誌・ダンボール 牛乳パック 古着類 飲料用カン・飲料用びん ペットボトル(飲料用のみ)	資源化 天理市環境クリーンセンター (資源化施設)	1,473	資源ごみ	資源化	天理市環境クリーンセンター (資源化施設)	1,453
		処理委託		牛乳パック	選別・貯留		
				古着類	貯留		
				飲料用カン・飲料用びん	選別・圧縮		
				ペットボトル(飲料用のみ)	処理委託	処理委託	

## ②大和高田市

大和高田市 家庭ごみの分別区分と処理方法(現状・将来)

現 状(平成26年度)				今 後(平成31年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)
						一次処理	二次処理
燃えるごみ	焼却	クリーンセンター(一般焼却炉)	11,993	燃えるごみ	焼却	熱回収 クリーンセンター(一般焼却炉) (焼却灰)大阪湾フェニックス	11,472
粗大ごみ	破碎・選別	クリーンセンター(粗大ごみ処理施設)	105	粗大ごみ	破碎・選別	資源化 クリーンセンター(粗大ごみ処理施設) (鉄分売却)	101
資源物	かん・びん	クリーンセンター(カン・ビン処理施設)	1,968	かん・びん	選別・圧縮 クリーンセンター(カン・ビン処理施設) (売却・委託)	1,898	1,898
	ペットボトル	クリーンセンター(ペットボトル処理施設)		ペットボトル	選別・圧縮・梱包 クリーンセンター(ペットボトル処理施設) (委託)		
	紙類	(直接売却)		紙類	(直接売却) (直接売却)		
	蛍光灯	(委託)		蛍光灯	(委託)		
	乾電池			乾電池	(委託)		
	プラ・トレイ			プラ・トレイ			
	廃食用油	(売却・製油)		廃食用油	(売却・製油)		
	われもの(不燃)	埋立 (委託)	63	われもの(不燃)	埋立 —	(委託) —	60

③葛城市

現 状(平成26年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)
燃やせるごみ	焼却	新庄クリーンセンター	7,261
燃やせないごみ	埋立・資源化	委託	309
資源ごみ	白色トレイ ペットボトル かん、びん 紙類・布類	資源化  委託  (燃やせないごみに含む)	947
電池・乾電池 (その他)	その他		
粗大ごみ	埋立・資源化		298

今 後(平成31年度)					
分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績 (トン)	
		一次処理	二次処理		
燃やせるごみ	焼却	熱回収	葛城市クリーンセンター	焼却灰(埋立)	5,285
農業・剪定残渣	資源化	堆肥化	葛城市堆肥化センター	焼却	700
プラスチック製容器包装ごみ	資源化	圧縮		協会	360
燃やせないごみ	複合	破碎・分別他		可燃(焼却)、金属(資源化)、残渣(埋立)	320
資源ごみ	白色トレイ ペットボトル かん、びん 紙類・布類	資源化 選別・圧縮・梱包 選別・圧縮 選別・圧縮	葛城市クリーンセンター	協会 協会 委託、協会 委託	983
電池・乾電池 (その他)	資源化	その他	委託	一	(燃やせないごみに含む)
粗大ごみ	資源化	破碎・選別・圧縮	葛城市クリーンセンター	可燃(焼却)、金属(資源化)、残渣(埋立)	309

## ④山添村

山添村 家庭ごみの分別区分と処理方法(現状・将来)

現 状(平成26年度)				今 後(平成31年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)
						一次処理	二次処理
燃えるごみ	焼却	天理市環境クリーンセンター(ごみ焼却施設)	649	燃えるごみ	焼却	熱回収	(焼却灰)山辺広域一般廃棄物第2最終処分地、大阪湾フェニックス
燃えないごみ	破碎・選別	天理市環境クリーンセンター(粗大ごみ処理施設)	63	燃えないごみ	破碎・選別	資源化	天理市環境クリーンセンター(粗大ごみ処理施設)
粗大ごみ			21	粗大ごみ			(処理残渣)焼却
資源ごみ	新聞・雑誌・ダンボール等	資源化	委託	新聞・雑誌・ダンボール等	資源化	委託	129
	古着類			古着類			
	カン・ビン			カン・ビン			
	ペットボトル			ペットボトル			
	プラスチック製容器包装			プラスチック製容器包装			
	発泡スチロール			発泡スチロール			

## ⑤三郷町

三郷町 家庭ごみの分別区分と処理方法(現状・将来)

現 状(平成26年度)				今 後(平成31年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)
						一次処理	二次処理
燃やせるごみ	焼却	三郷町清掃センター(焼却施設)	5,160	燃えるごみ	焼却	一	(焼却灰)大阪湾フェニックス
燃やせないごみ、粗大ごみ	破碎・選別	三郷町清掃センター(破碎施設)	266	燃やせないごみ、粗大ごみ	破碎・選別	資源化	三郷町清掃センター(破碎施設)
資源ごみ	ペットボトル	資源化	委託	ペットボトル	資源化	委託	728
	廃プラスチックごみ			廃プラスチックごみ			
	白色トレイ			白色トレイ			
	カン・ビン			カン・ビン			
	古紙類			古紙類			
	古布類			古布類			
	剪定枝			剪定枝			

## ⑥安堵町

安堵町 家庭ごみの分別区分と処理方法(現状・将来)

現 状(平成26年度)				今 後(平成31年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)
						一次処理	二次処理
燃えるごみ	焼却	安堵町環境美化センター	2,052	燃えるごみ	焼却	安堵町環境美化センター (焼却灰)大阪湾フェニックス	2,012
燃やせないごみ	複合	委託	154	燃やせないごみ	複合	委託	151
粗大ごみ			38	粗大ごみ	複合	委託	32

## ⑦川西町

川西町 家庭ごみの分別区分と処理方法(現状・将来)

現 状(平成26年度)				今 後(平成31年度)				
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	
						一次処理	二次処理	
燃やすごみ	焼却	天理市環境クリーンセンター (ごみ焼却施設)	1,669	燃やすごみ	焼却	熱回収	天理市環境クリーンセンター (ごみ焼却施設) (焼却灰)山辺広域一般廃棄物第2最終処分地、大阪湾フェニックス	1,642
燃やせないごみ	破碎・選別	天理市環境クリーンセンター (粗大ごみ処理施設)	116	燃やせないごみ	破碎・選別	資源化	天理市環境クリーンセンター (粗大ごみ処理施設) (処理残渣)焼却	114
粗大ごみ			29	粗大ごみ				28
有害ごみ				有害ごみ				
資源ごみ	プラスチック製容器包装 発泡スチロール 新聞・雑誌・ダンボール 牛乳パック 古着類 飲料用カン・飲料用ひん ペットボトル(飲料用のみ)	処理委託 資源化 天理市環境クリーンセンター (資源化施設)	(燃やせないごみに含む) 94	資源化	処理委託 貯留 選別・貯留 貯留 選別・圧縮 処理委託	天理市環境クリーンセンター (資源化施設) 天理市環境クリーンセンター (資源化施設) 天理市環境クリーンセンター (資源化施設) 天理市環境クリーンセンター (資源化施設) 天理市環境クリーンセンター (資源化施設)	(燃やせないごみに含む) 92	

## ⑧三宅町

三宅町 家庭ごみの分別区分と処理方法(現状・将来)

現 状(平成26年度)				今 後(平成31年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)
燃えるごみ	焼却	天理市環境クリーンセンター(ごみ焼却施設)	1,364	燃えるごみ	焼却	熱回収	(焼却灰)山辺広域一般廃棄物第2最終処分地、大阪湾フェニックス
燃えないごみ	破碎・選別	天理市環境クリーンセンター(粗大ごみ処理施設)	97	燃えないごみ	破碎・選別	資源化	天理市環境クリーンセンター(粗大ごみ処理施設)(処理残渣)焼却
粗大ごみ			31	粗大ごみ			
有害ごみ				有害ごみ			(燃やしないごみに含む)
資源ごみ	プラスチック製容器包装			資源化	處理委託	處理委託	
	発泡スチロール				處理委託	處理委託	
	新聞・雑誌・ダンボール				貯留		
	牛乳パック	天理市環境クリーンセンター(資源化施設)	70		資源化	天理市環境クリーンセンター(資源化施設)	
	古着類				選別・貯留		
	飲料用カン・飲料用びん				貯留		
	ペットボトル(飲料用のみ)	處理委託			選別・圧縮		

## ⑨上牧町

上牧町 家庭ごみの分別区分と処理方法(現状・将来)

現 状(平成26年度)				今 後(平成31年度)			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)
可燃ごみ	焼却	上牧町塵芥焼却場	3,349	可燃ごみ	焼却	一	上牧町塵芥焼却場(焼却灰)大阪湾フェニックス
不燃ごみ	複合		726	不燃ごみ	複合		
粗大ごみ			56	粗大ごみ			
資源ごみ	ペットボトル			資源化	委託	委託	
	カン類				資源化	一	
	ビン類						
	食品トレイ		225				

## ⑩広陵町

広陵町 家庭ごみの分別区分と処理方法(現状・将来)

現 状(平成26年度)				今 後(平成31年度)					
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)		
						一次処理	二次処理		
燃やごみ	RDF炭化	クリーンセンター広陵	4,645	燃やごみ	炭化	PDF炭化	—	4,811	
燃やさないごみ	破碎・選別		258	燃やさないごみ	複合	破碎・選別・圧縮	可燃(焼却)、金属(資源化)、残渣(埋立)	267	
粗大ごみ			482	粗大ごみ				499	
資源ごみ	白色トレイ	資源化	2,397	白色トレイ	資源化	圧縮	クリーンセンター広陵	2,482	
	その他プラスチック製容器包装			その他プラスチック製容器包装		圧縮			協会
	ペットボトル			ペットボトル		圧縮			協会
	かん、びん			かん、びん		選別			委託、協会
	紙類・布類			紙類・布類		選別			売却
電池・乾電池(その他)	その他	委託	電池・乾電池(その他)	資源化	その他	委託	—		
その他(プラ)	複合	委託	その他(プラ)	複合	焼却・埋立	委託	—	160	

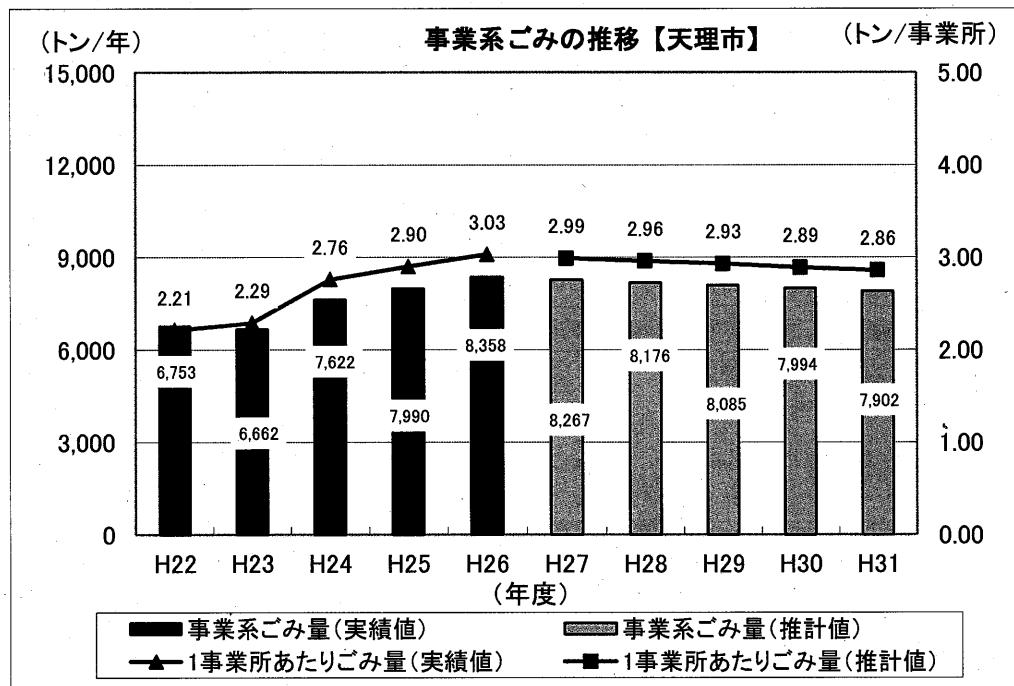
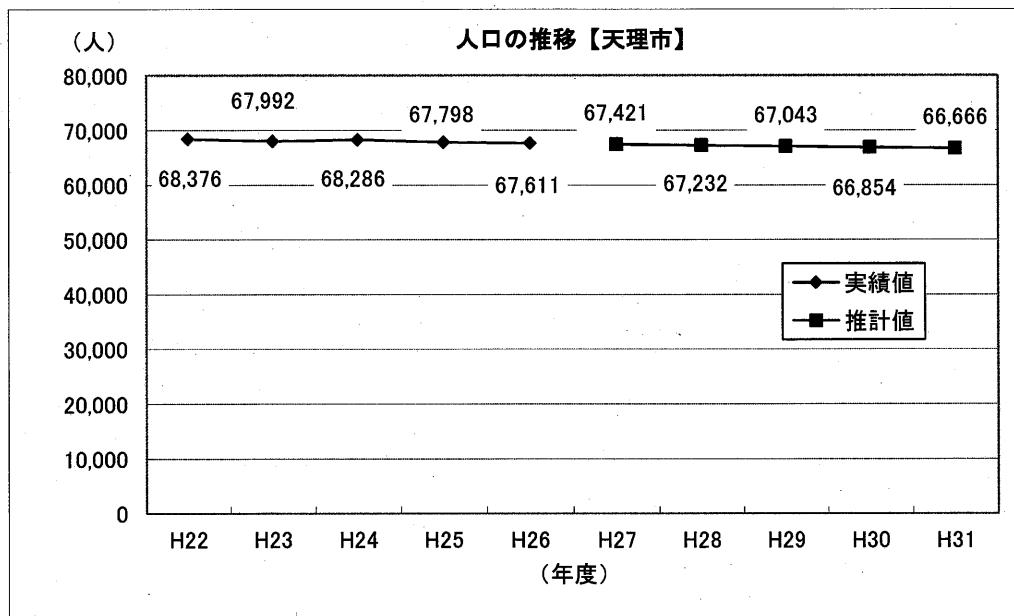
## ⑪河合町

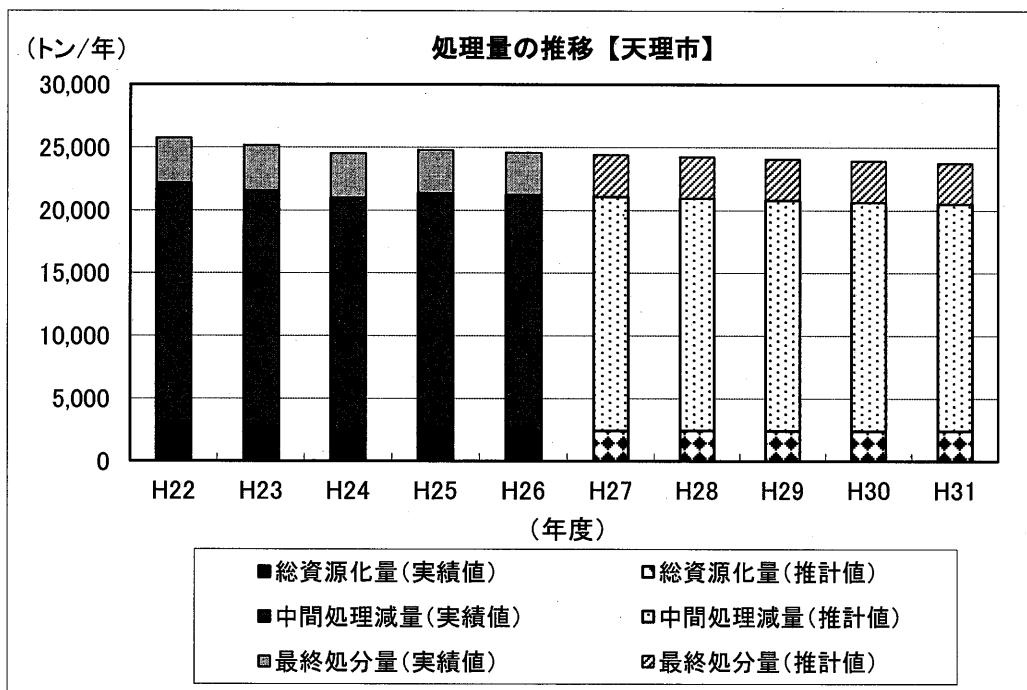
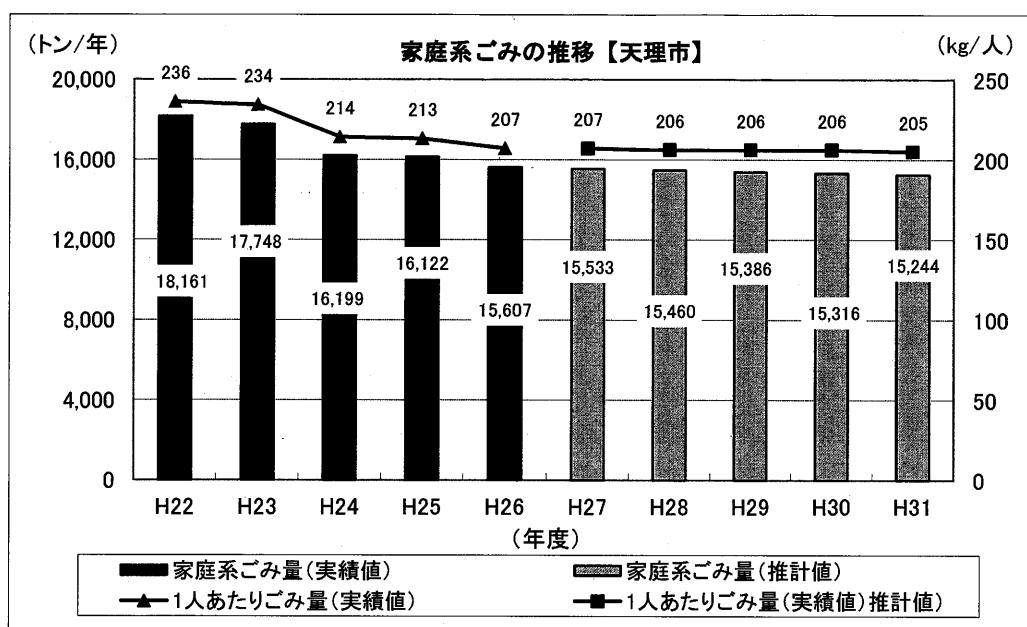
河合町 家庭ごみの分別区分と処理方法(現状・将来)

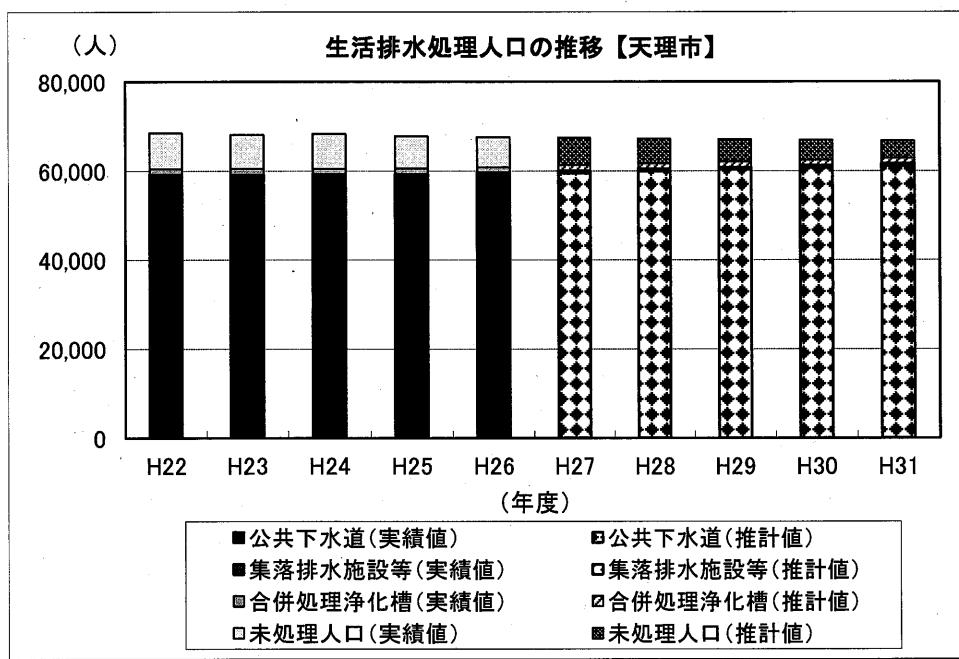
現 状(平成26年度)				今 後(平成31年度)					
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)		
						一次処理	二次処理		
燃やごみ	焼却	河合町清掃工場(焼却施設)	3,078	燃やごみ	焼却	—	河合町清掃工場(焼却施設)	(焼却灰)大阪湾フェニックス	2,928
燃やさないごみ	複合	河合町清掃工場	400	燃やさないごみ	複合	圧縮梱包	河合町清掃工場	委託	381
粗大ごみ	複合	河合町清掃工場(粗大ごみ処理施設)	111	粗大ごみ	複合	破碎・選別	河合町清掃工場(粗大ごみ処理施設)	可燃(焼却)、金属(資源化)、残渣(委託)	105
資源ごみ	かん、びん	資源化	200	かん、びん	資源化	選別・圧縮	河合町清掃工場(資源化施設)	委託	190
	ペットボトル			ペットボトル		圧縮・梱包			

## ●添付資料 10 現状と将来のトレンドグラフ

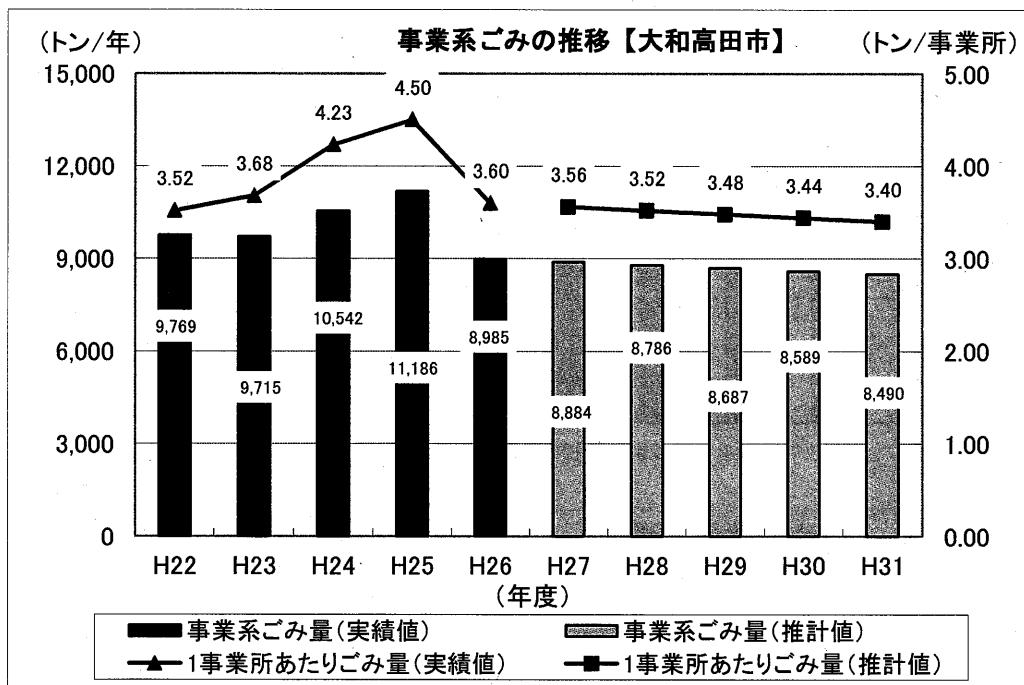
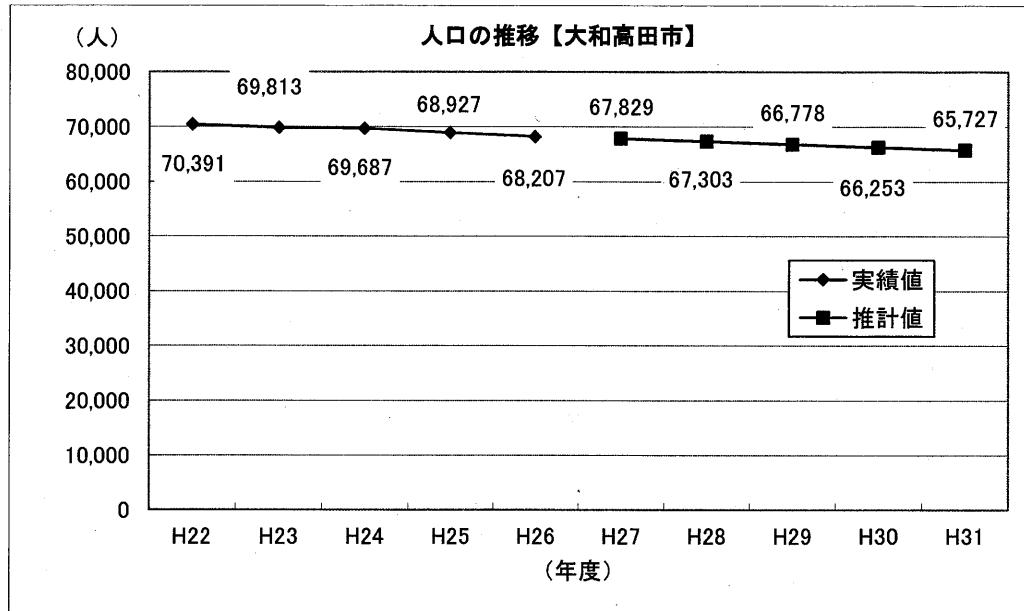
### ①天理市

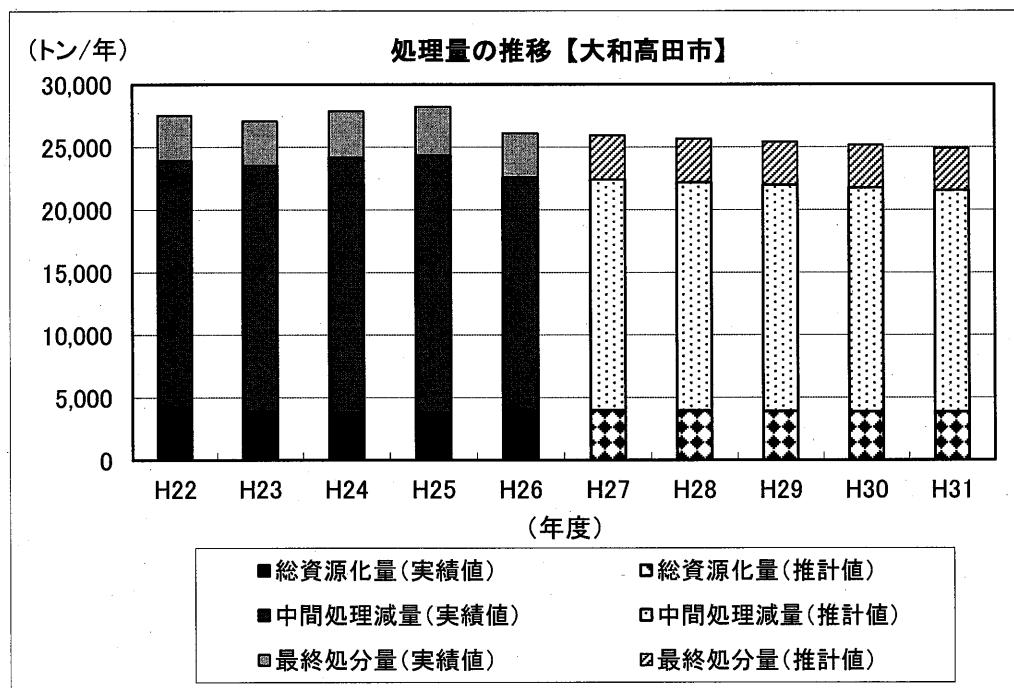
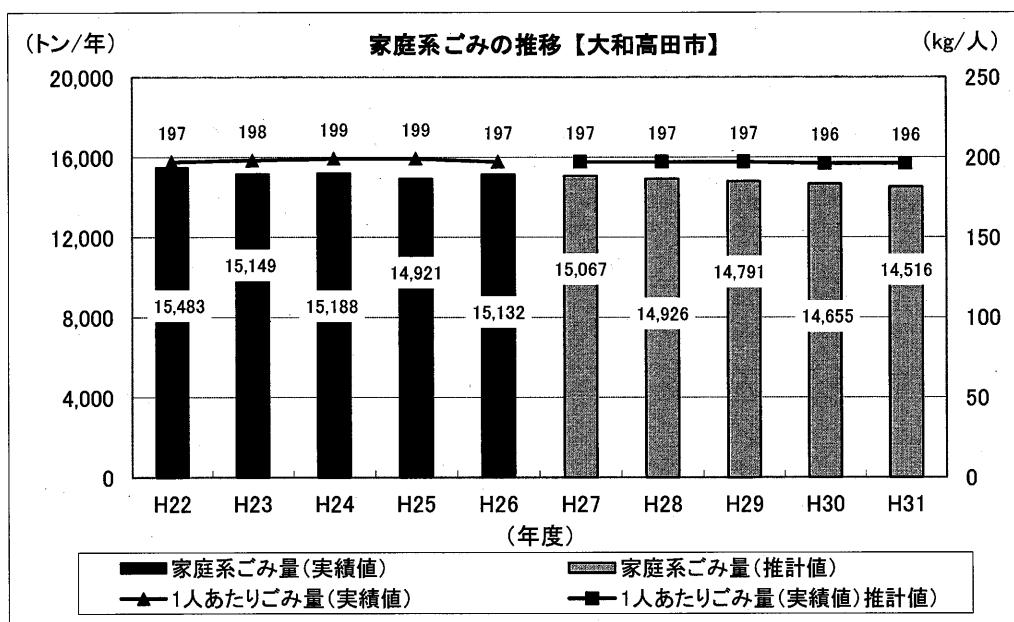




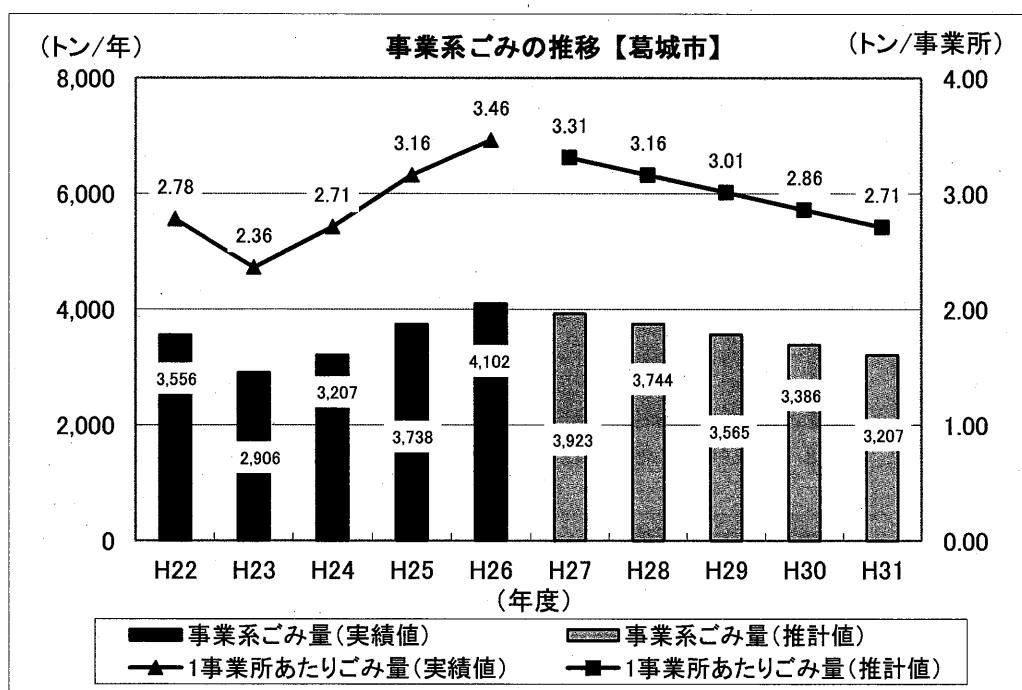
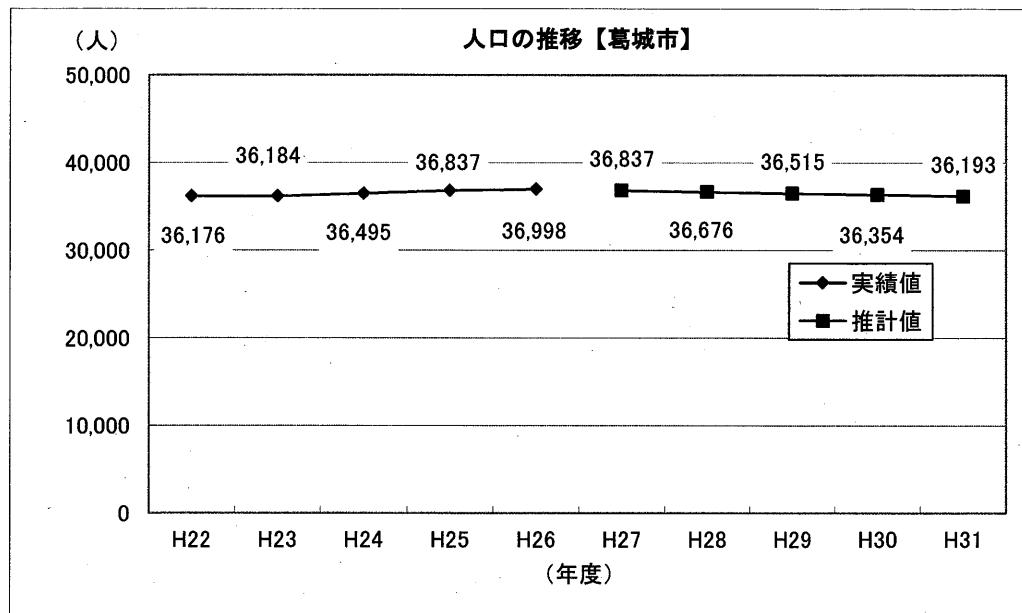


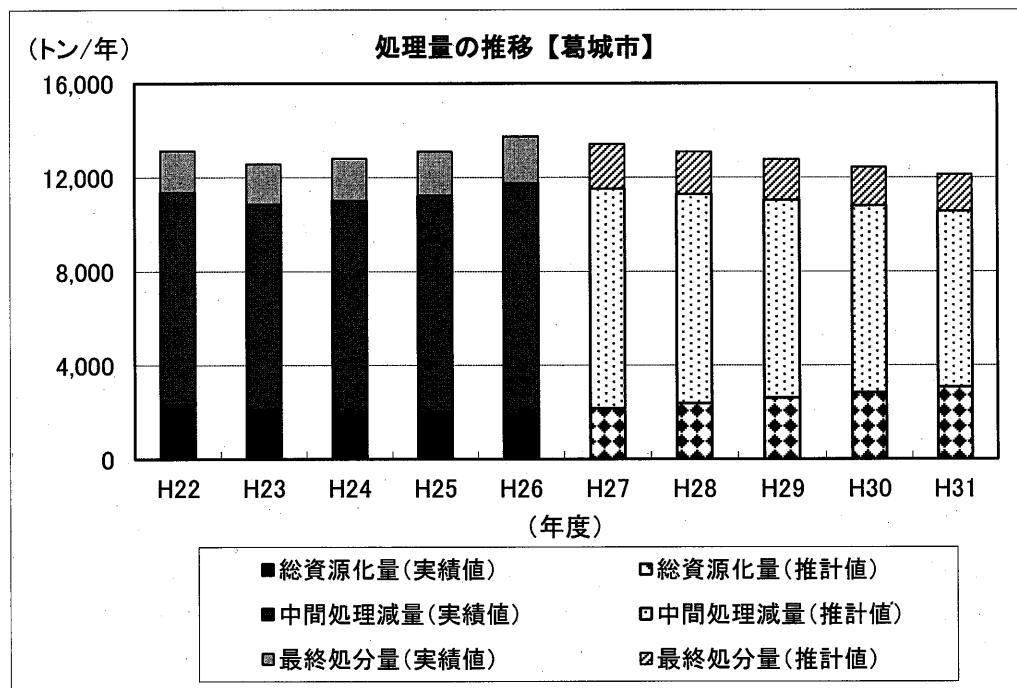
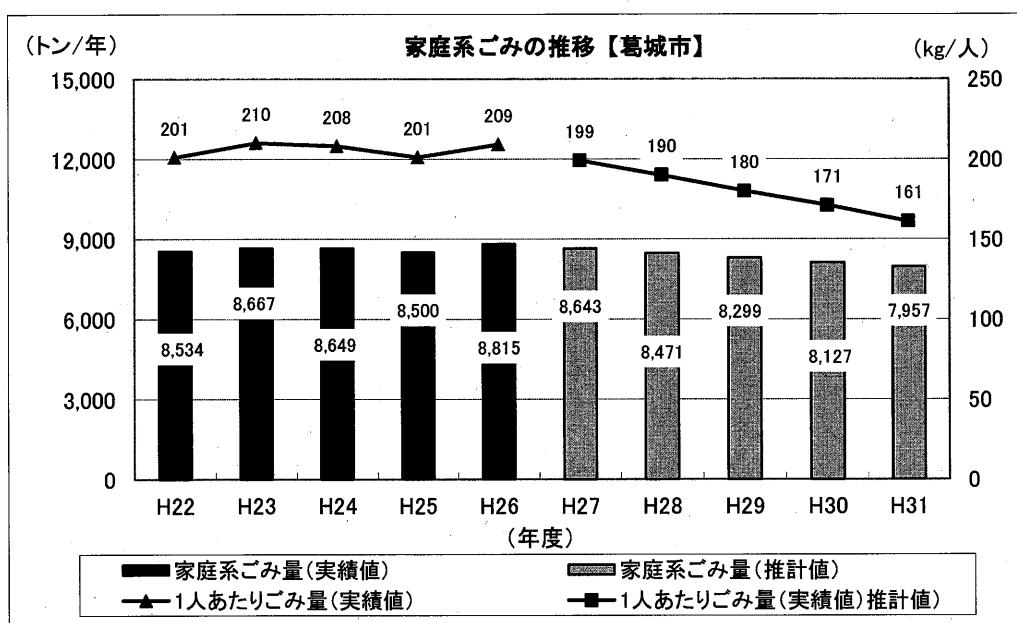
②大和高田市



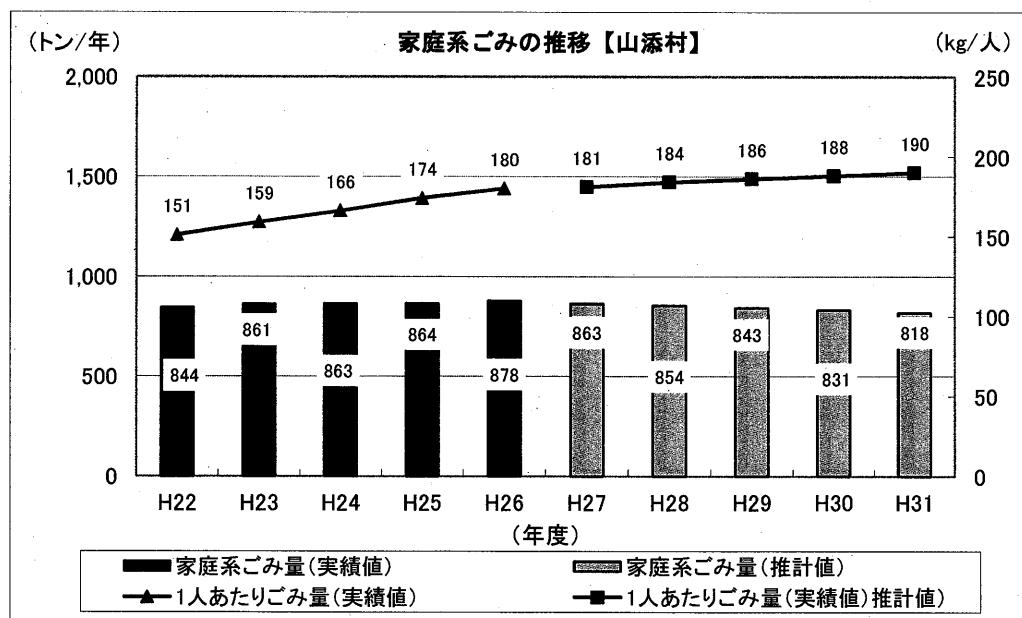
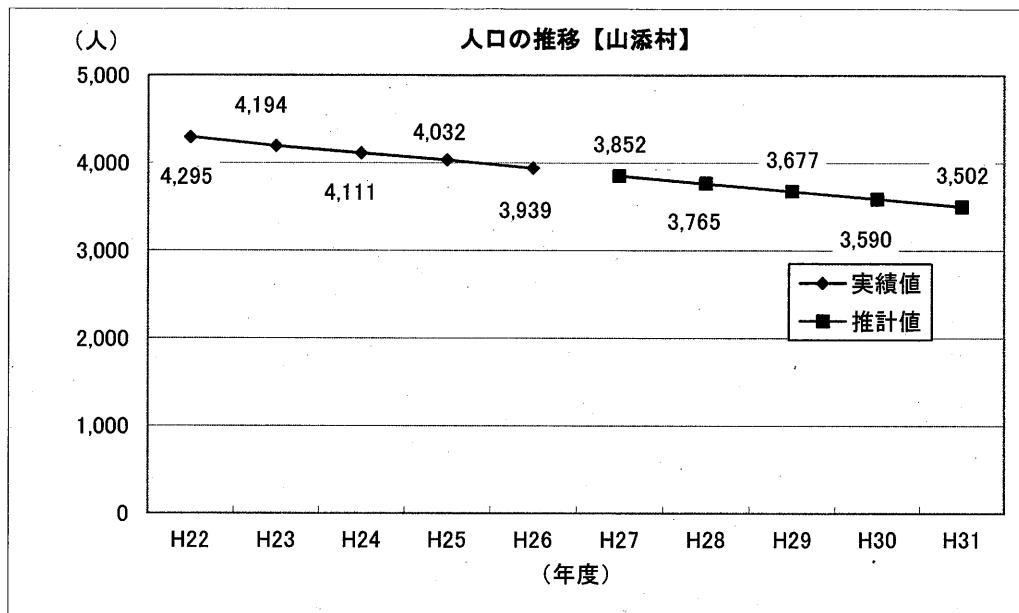


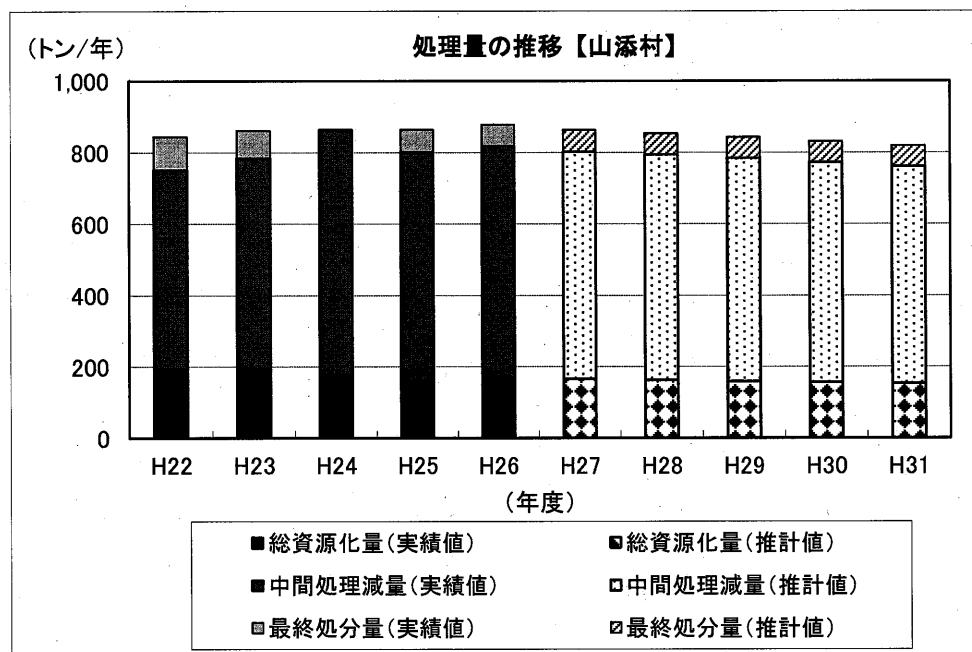
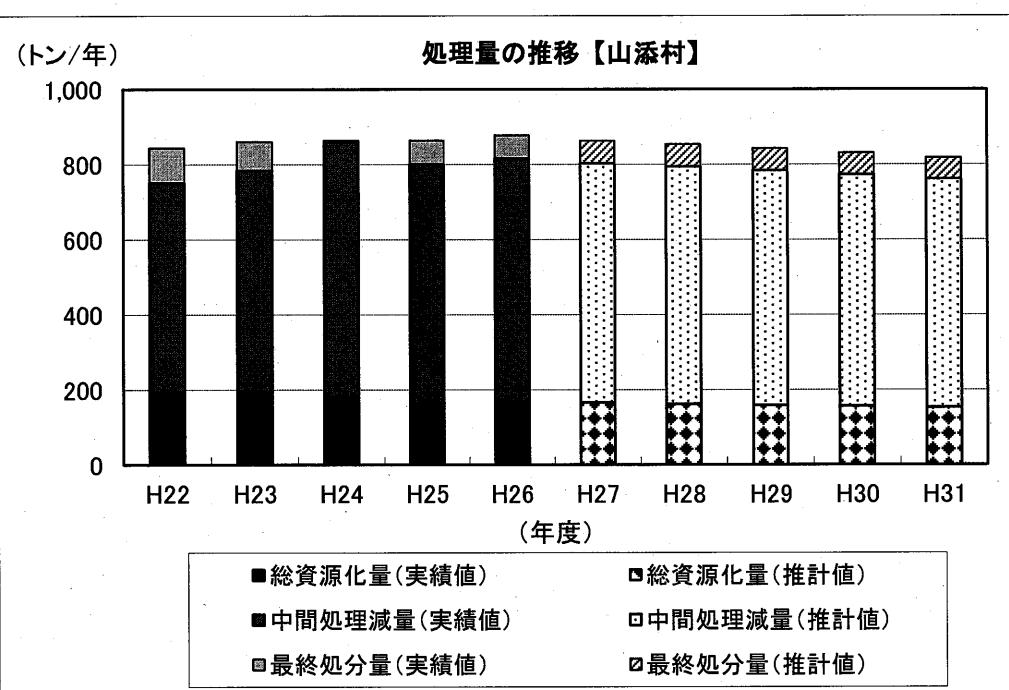
③葛城市



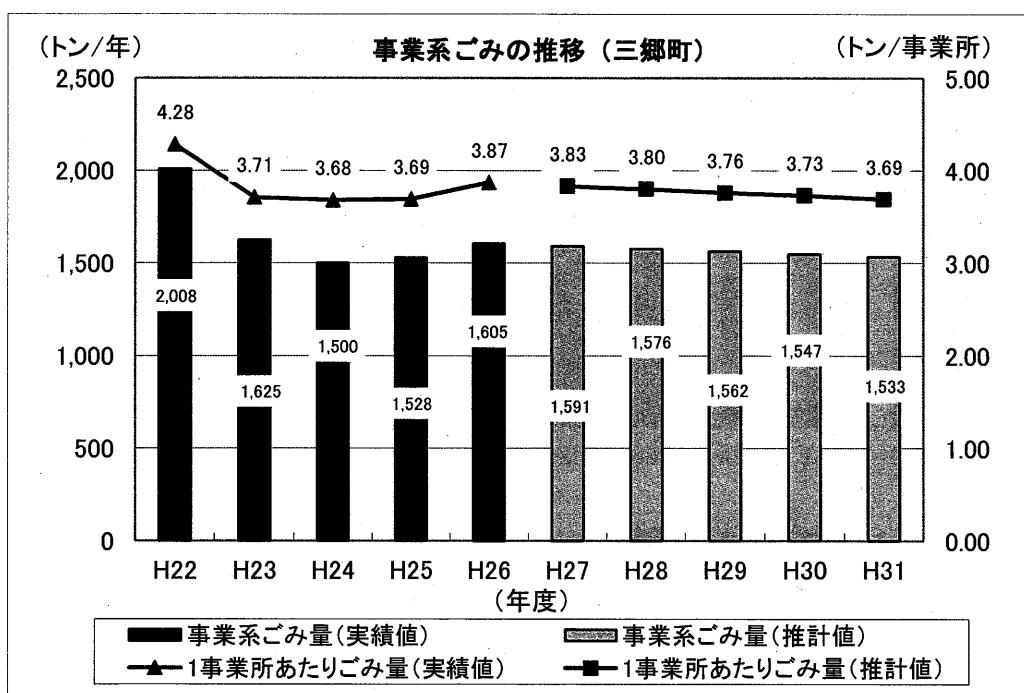
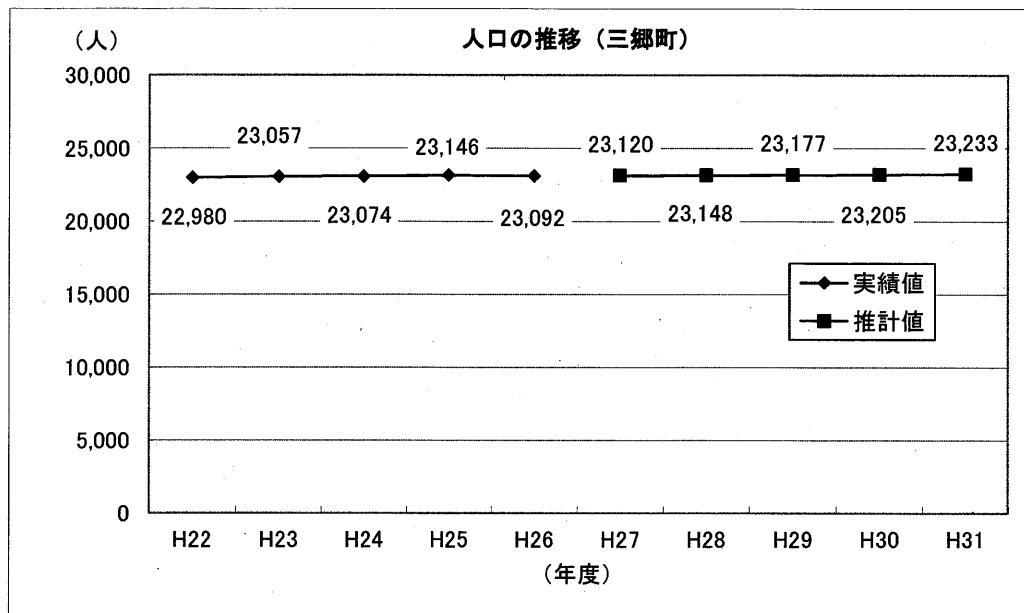


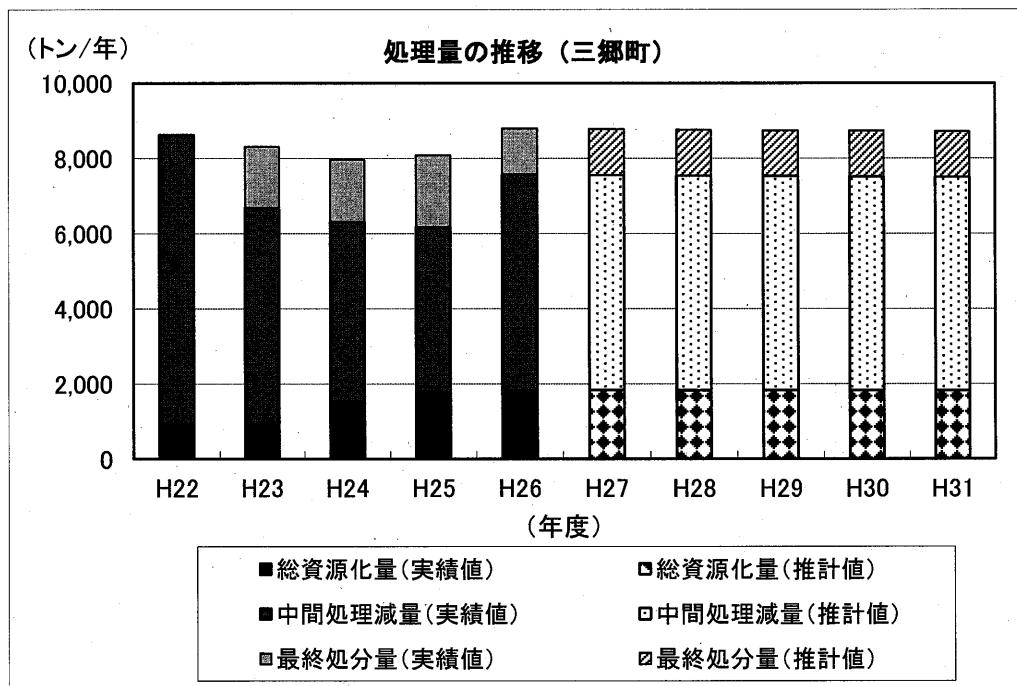
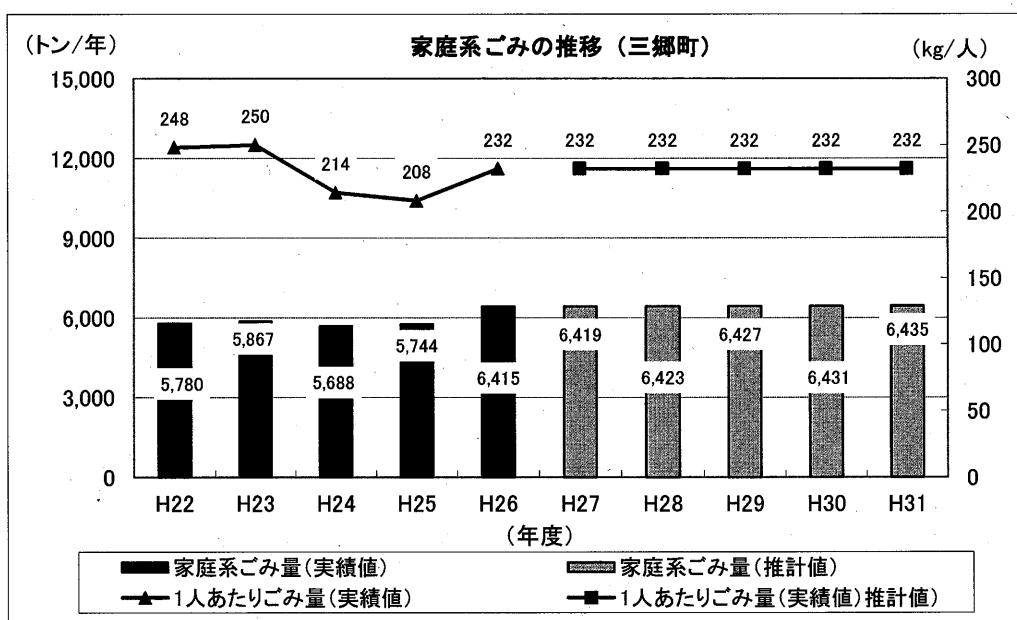
④山添村



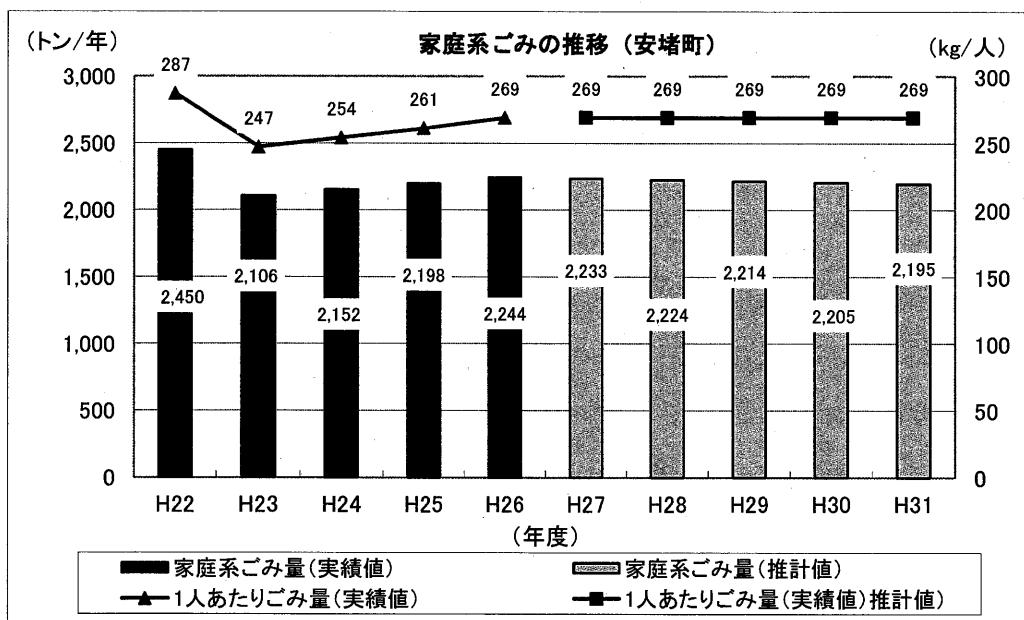
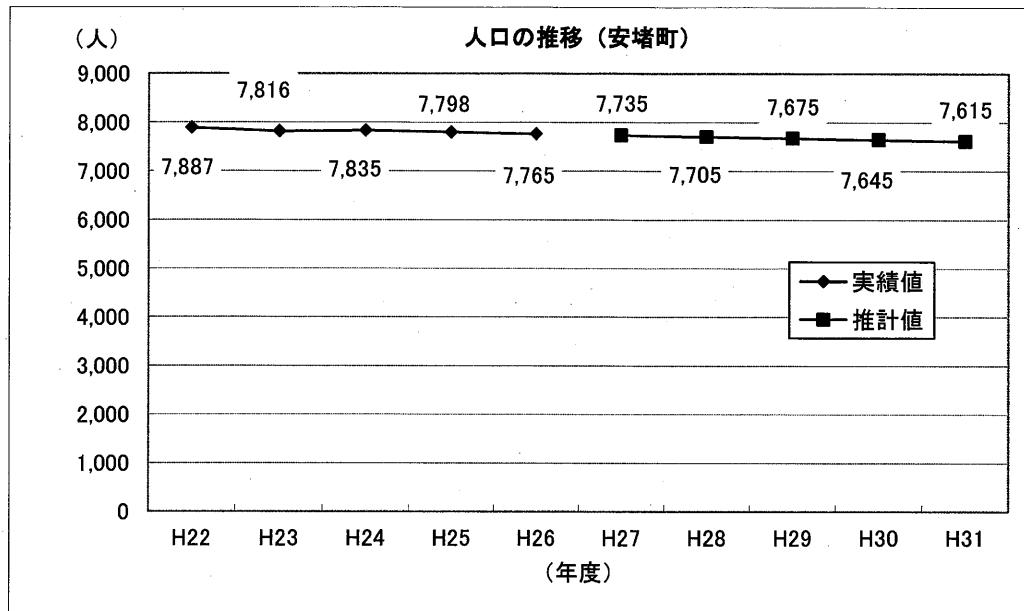


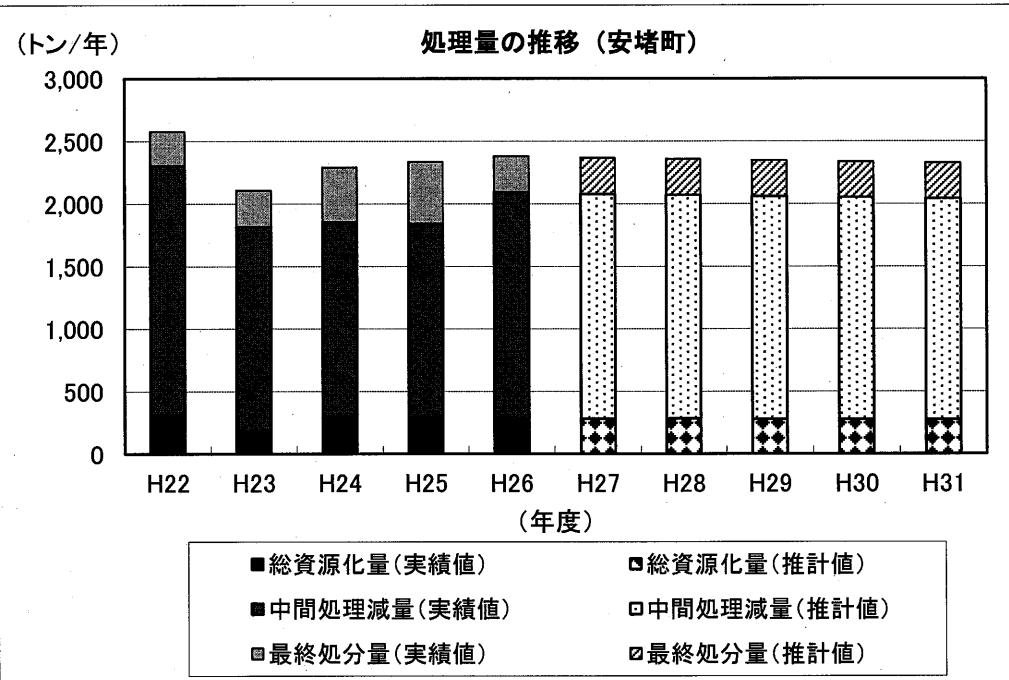
⑤三郷町



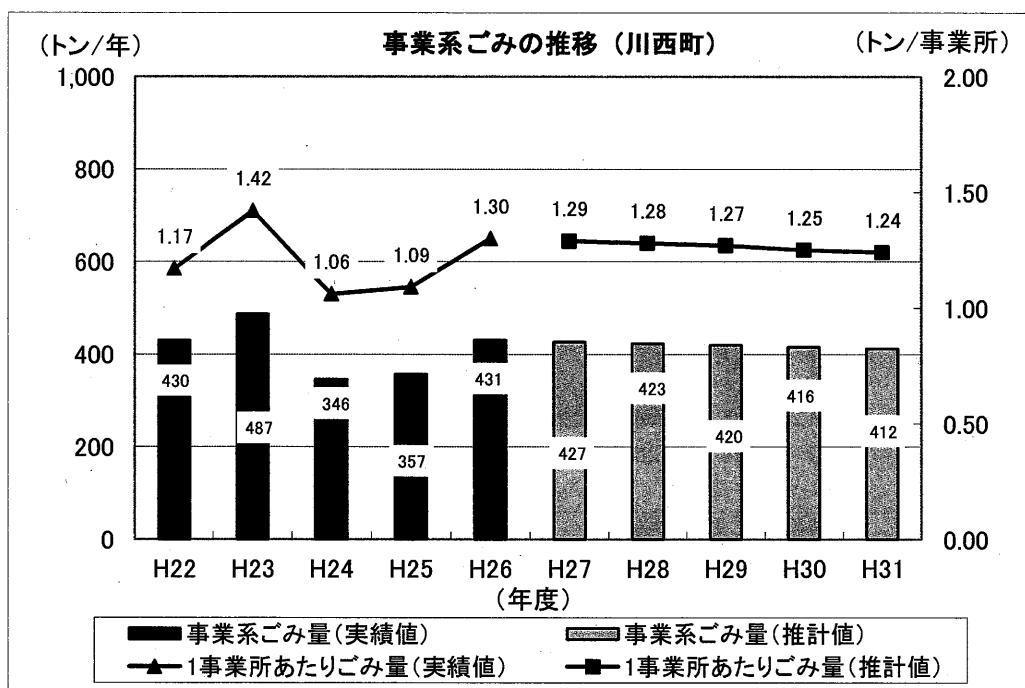
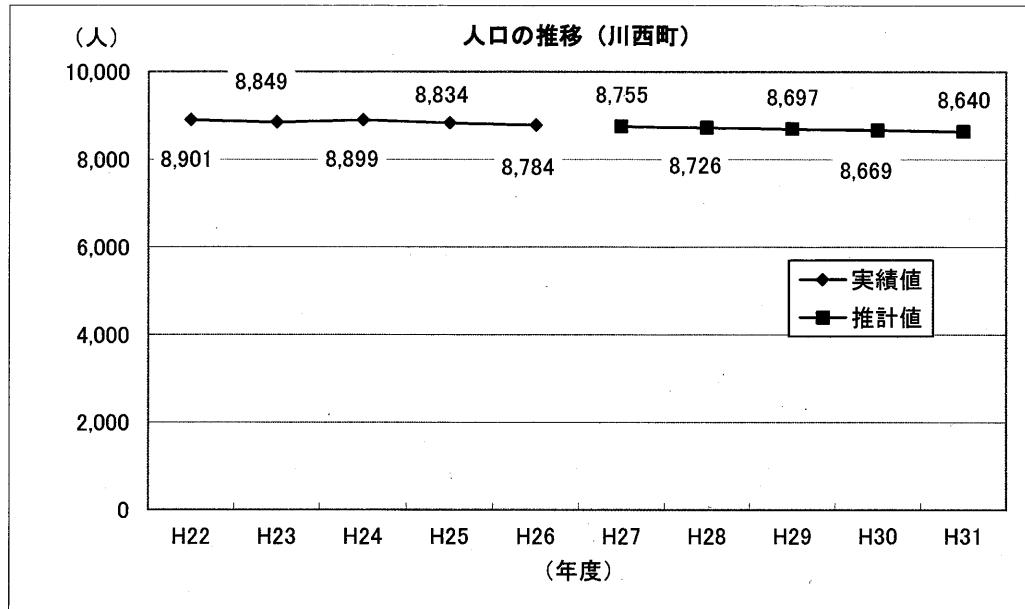


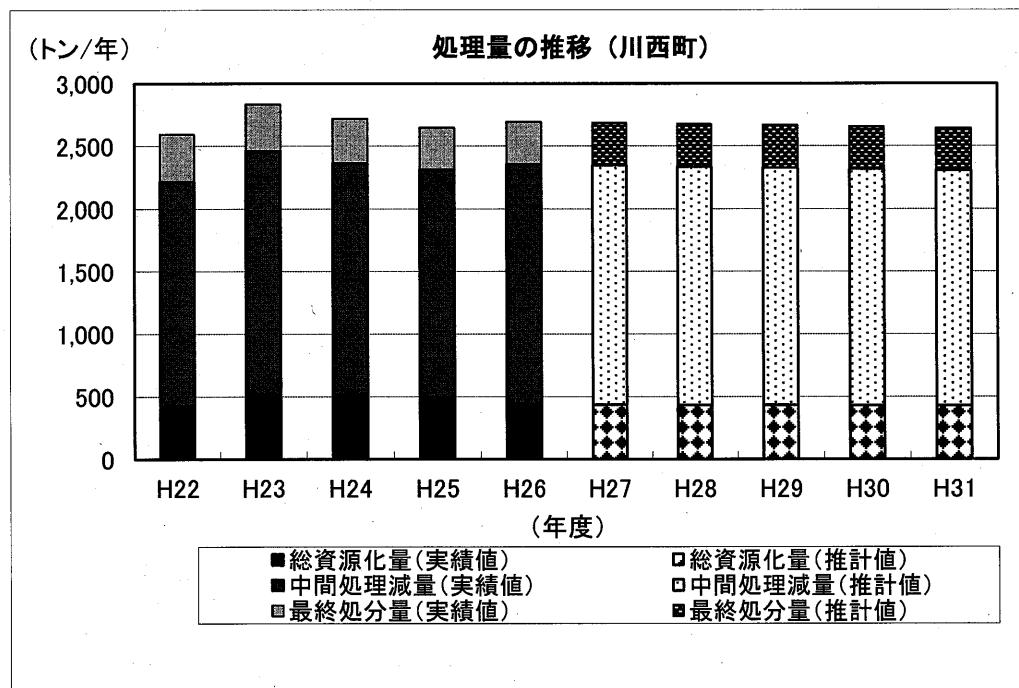
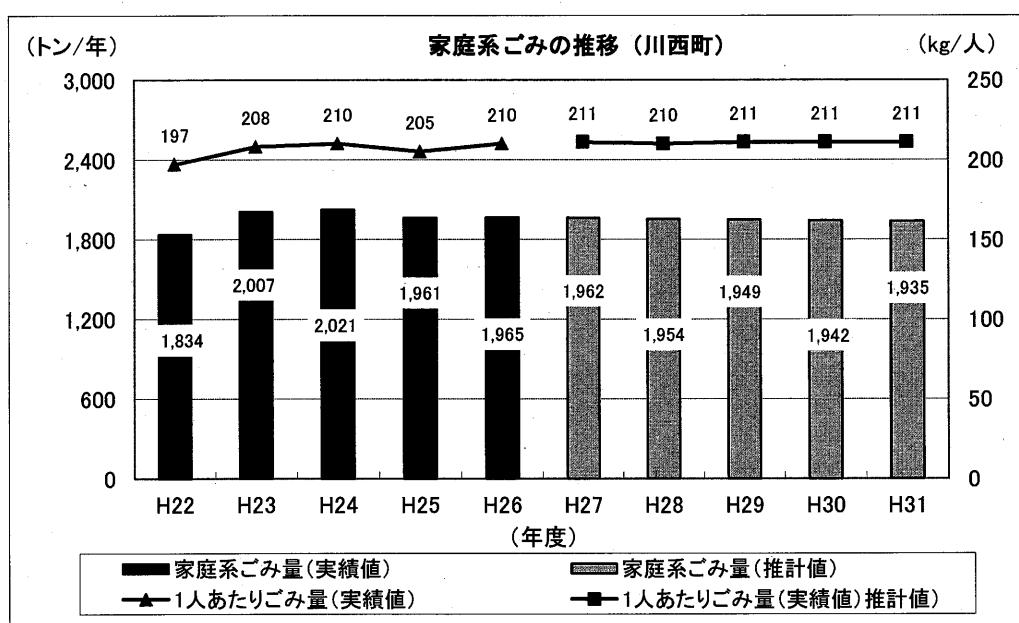
⑥安堵町



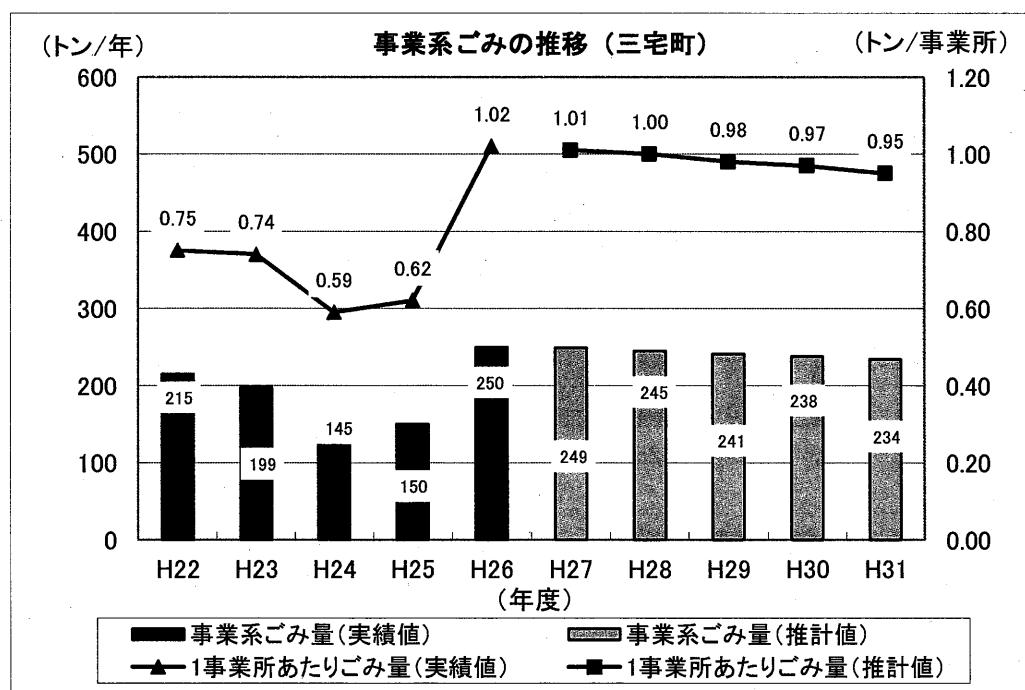
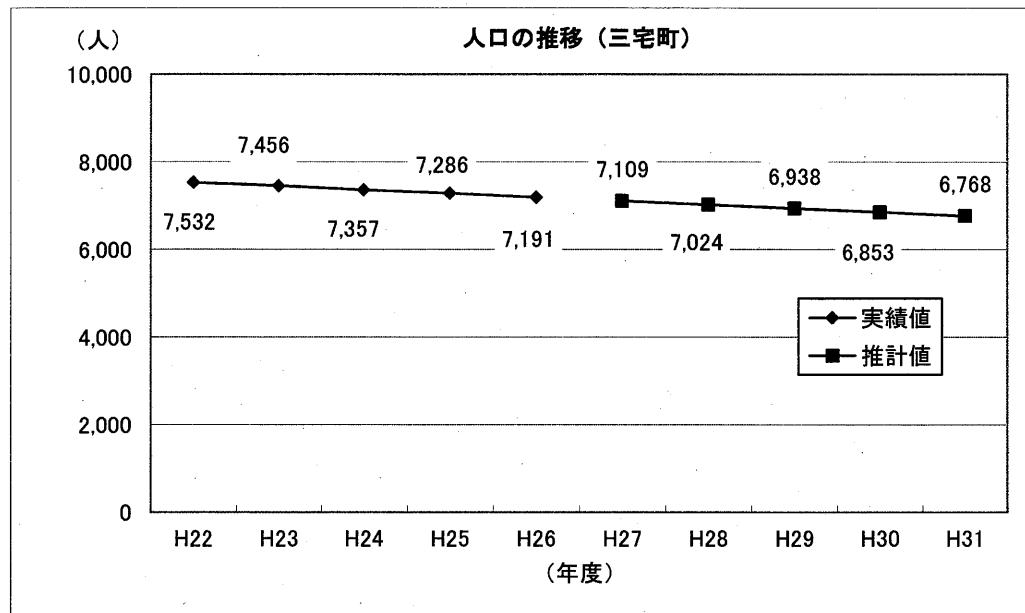


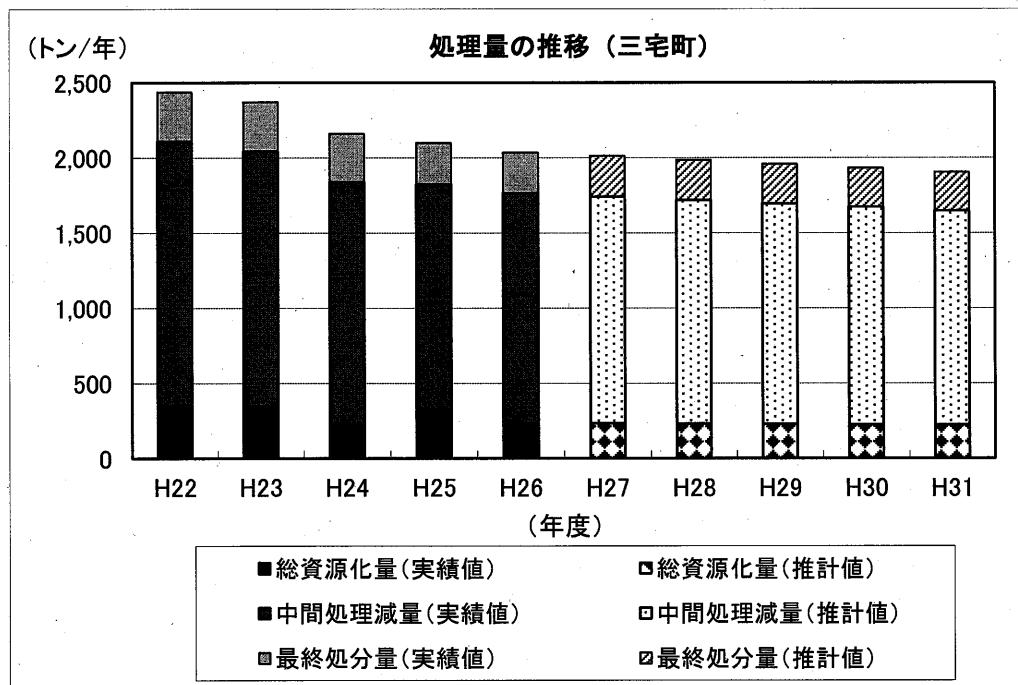
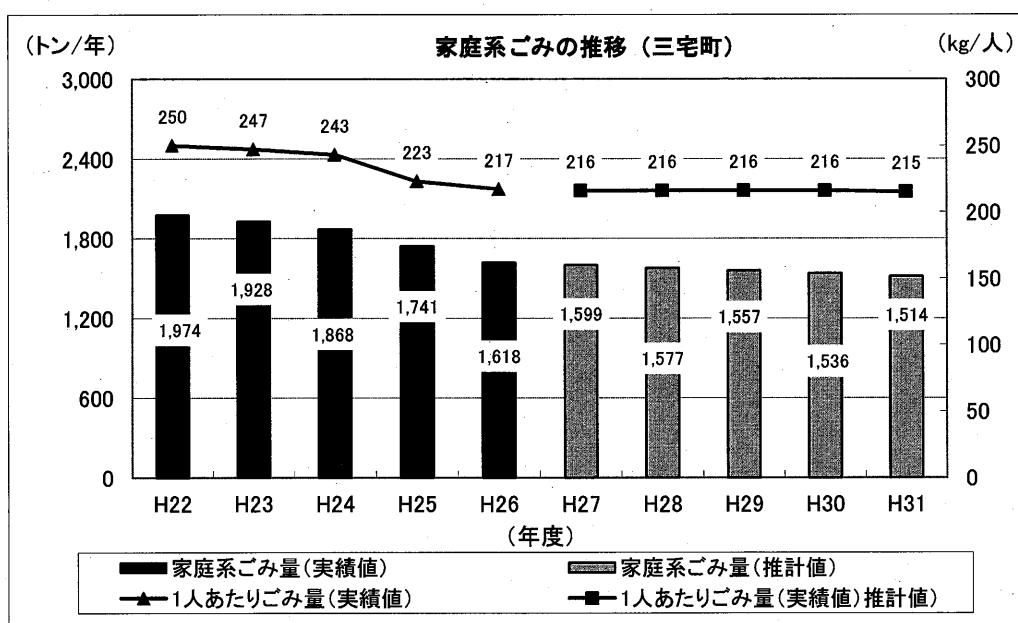
⑦川西町



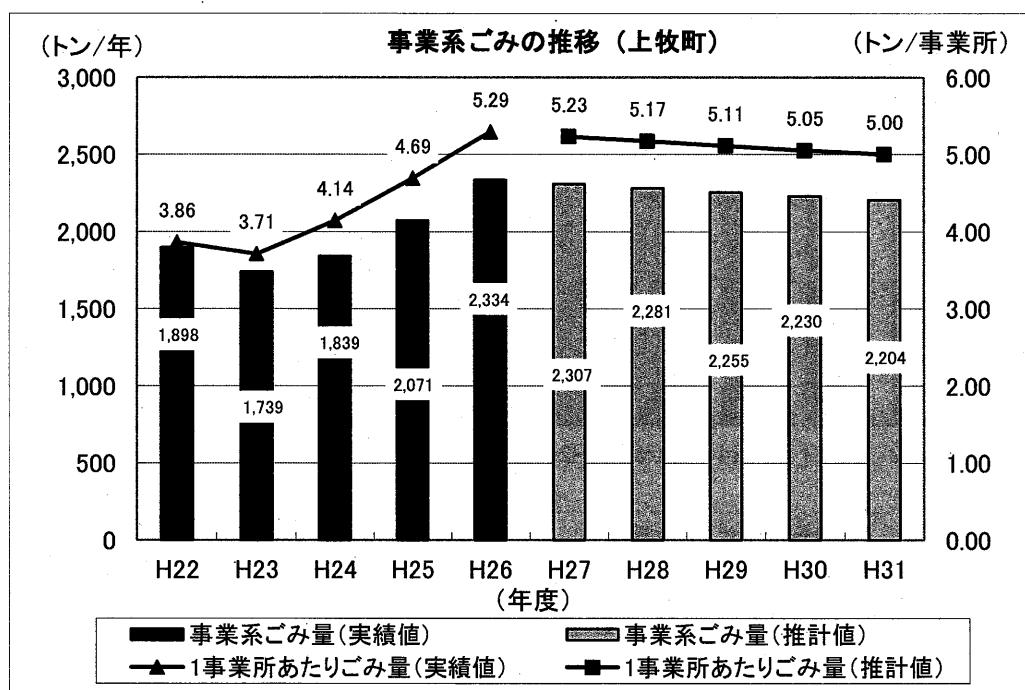
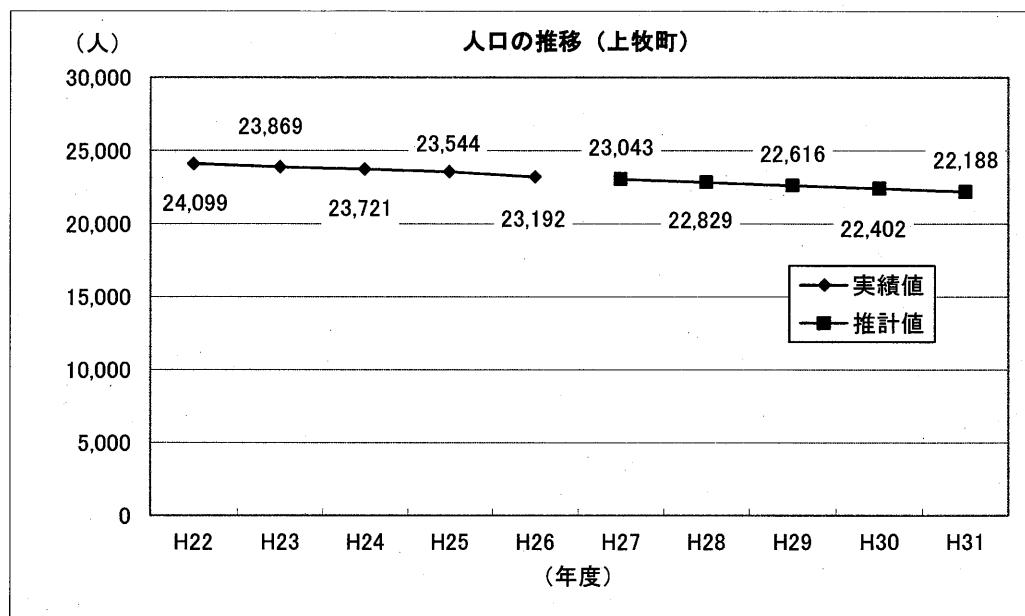


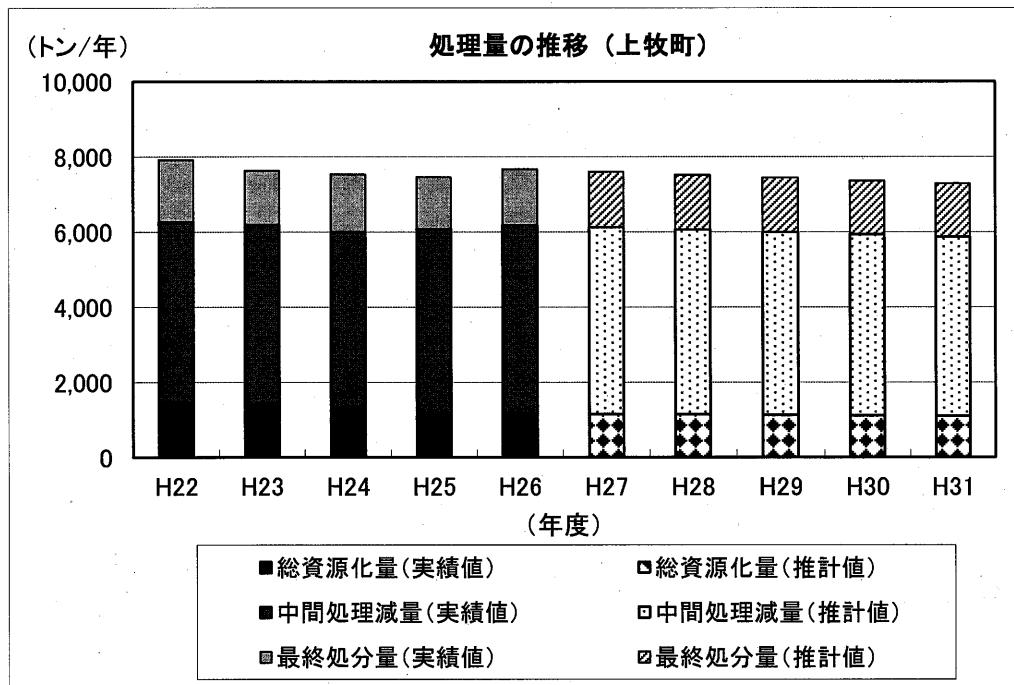
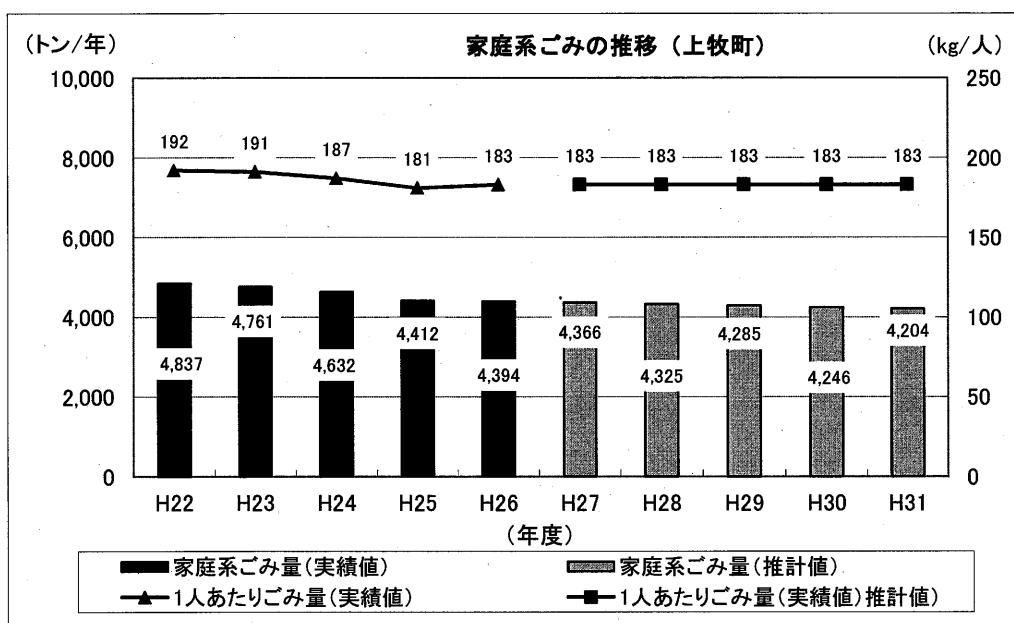
⑧三宅町



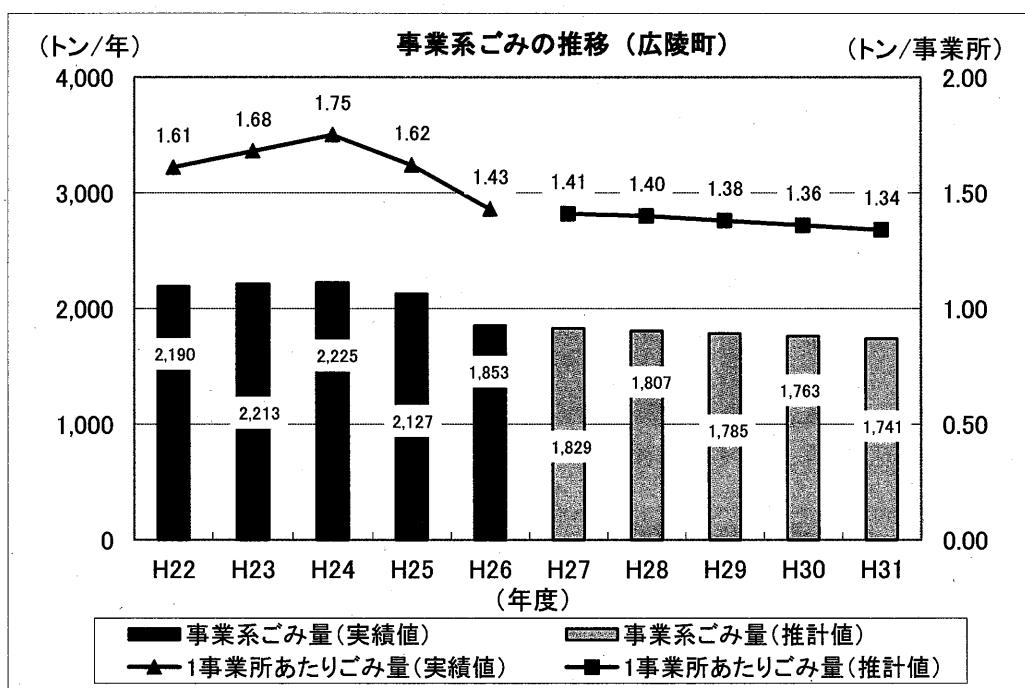
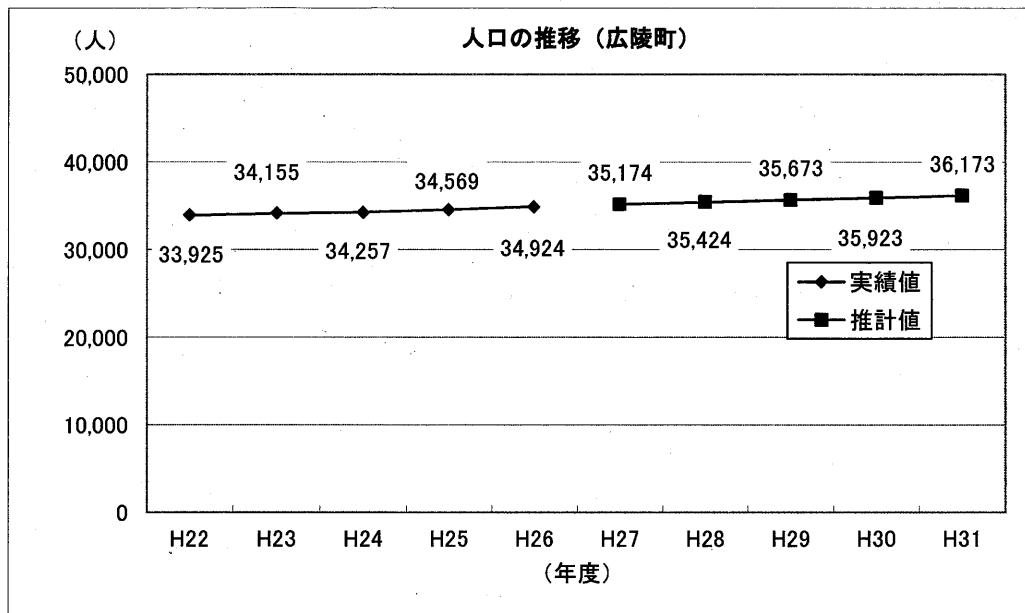


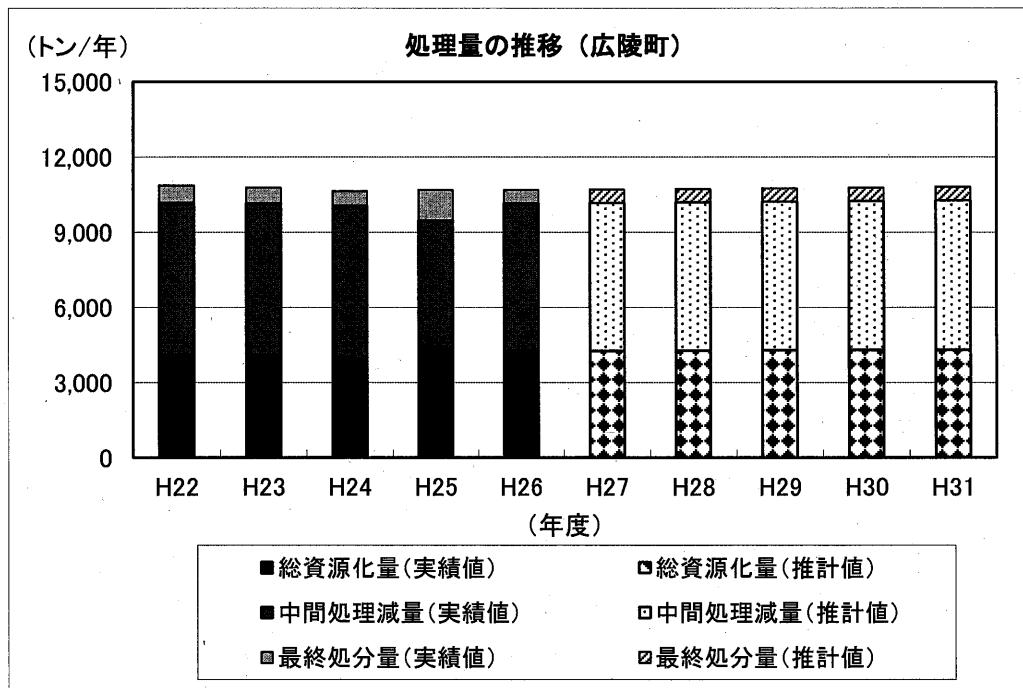
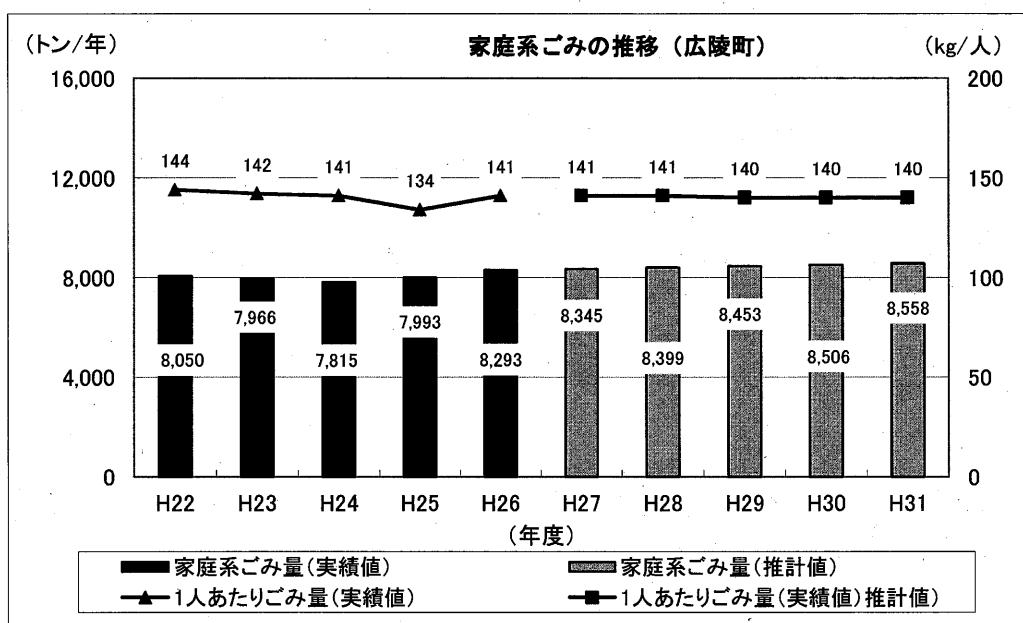
⑨上牧町





⑩広陵町





⑪河合町

